

Ⅱ 調査結果の分析

第 1 章

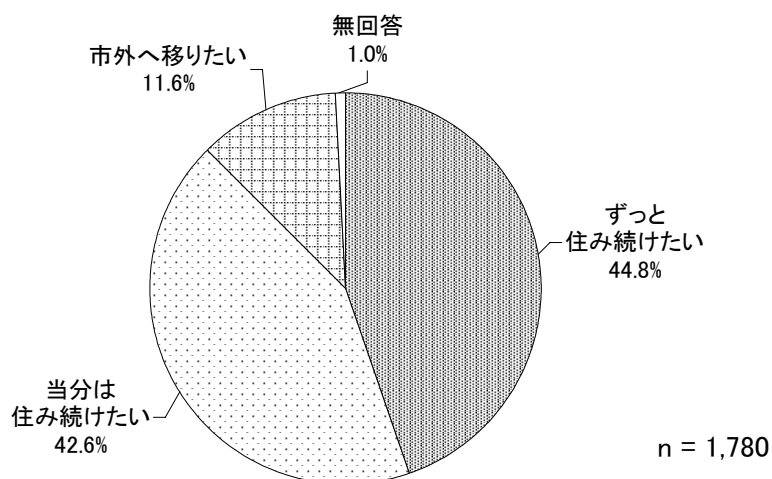
1. 定住意向

1-1 定住意向

◇『住み続けたい』が9割近く、「市外へ移りたい」が1割強

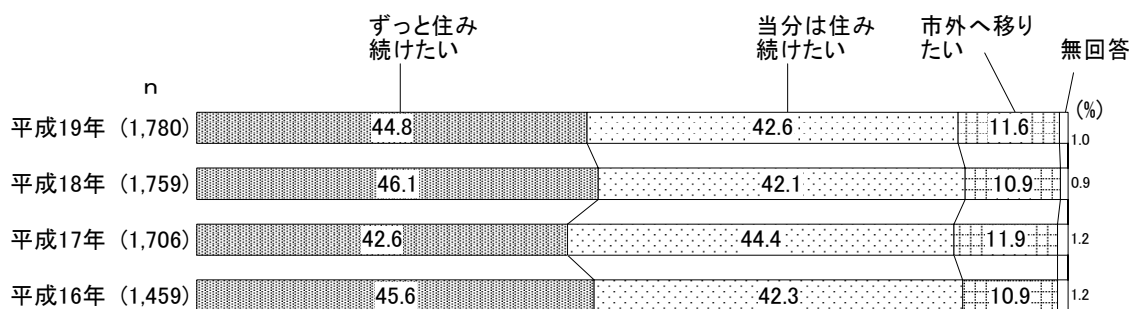
問1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

図 1-1-1



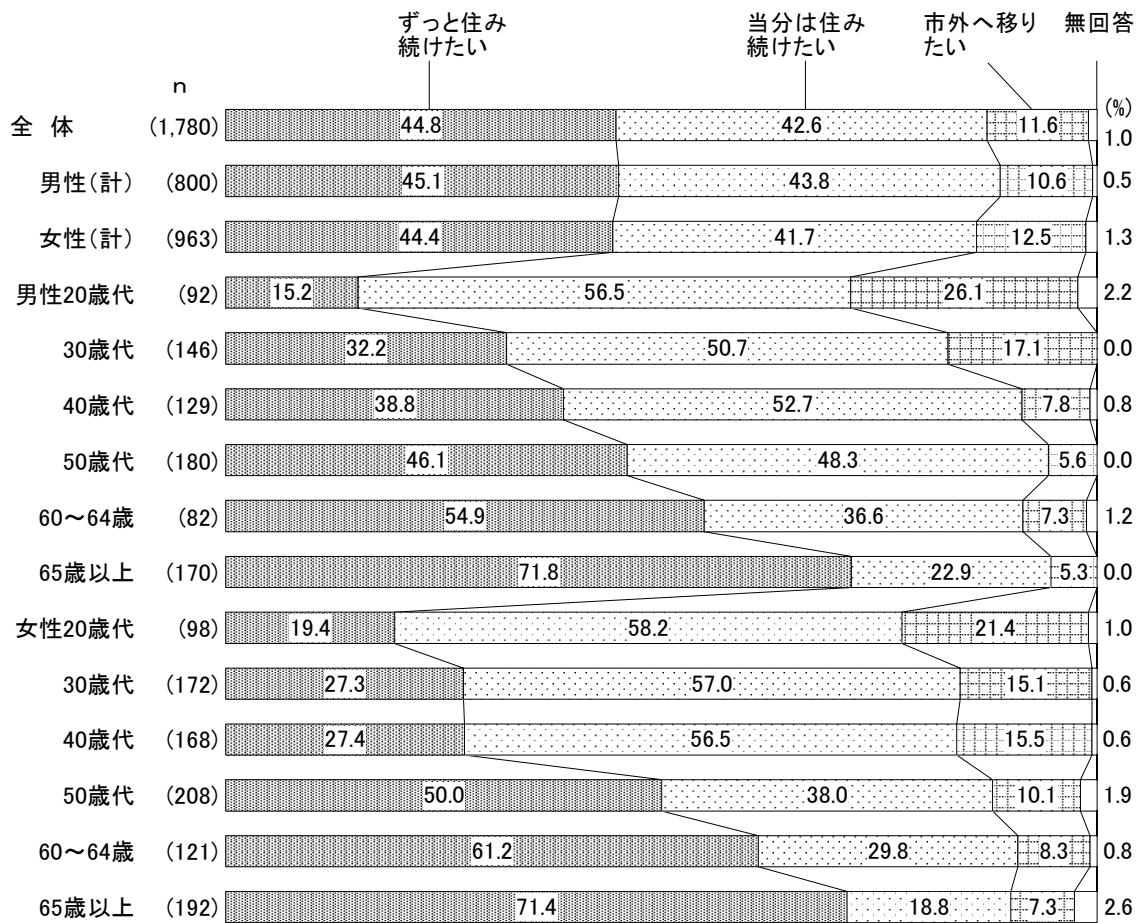
市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」が4割台半ば（44.8%）と最も高く、「当分は住み続けたい」（42.6%）と合わせた『住み続けたい』は9割近く（87.4%）を占める。また、「市外へ移りたい」は1割強（11.6%）にとどまっている。（図 1-1-1）

図 1-1-2 定住意向一経年比較



過去の調査と比較すると、今回は平成18年より「ずっと住み続けたい」は1.3ポイント減少し、「市外へ移りたい」は0.7ポイント増加している。なお、『住み続けたい』は、平成17年より0.8ポイント減少しているが、今回も9割近く（87.4%）と高い水準を維持している。（図 1-1-2）

図 1 - 1 - 3 定住意向－性別・年齢別

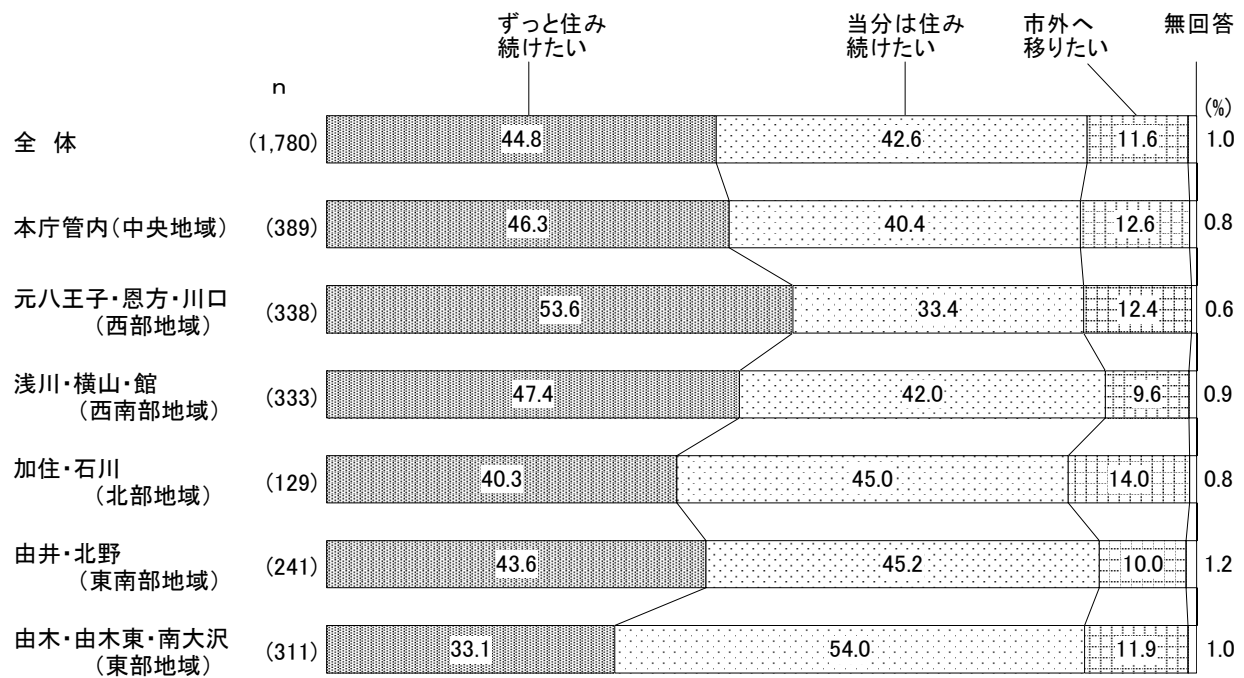


性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に男性65歳以上と女性65歳以上の年代においては、ともに7割以上と高くなっている。

また、「市外へ移りたい」は男性20歳代と女性20歳代で2割以上と、他の年齢層と比べ高くなっている。(図 1 - 1 - 3)

図 1－1－4 定住意向－居住地域別



居住地域別にみると、『住みたい』はすべての地域で8割以上を占め高くなっている。また、「ずっと住みたい」は元八王子・恩方・川口（西部地域）が5割以上と高くなっている。一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）は「ずっと住みたい」が3割強（33.1%）と、他の地域が4割を超えているのに比べ、低くなっている。（図 1－1－4）

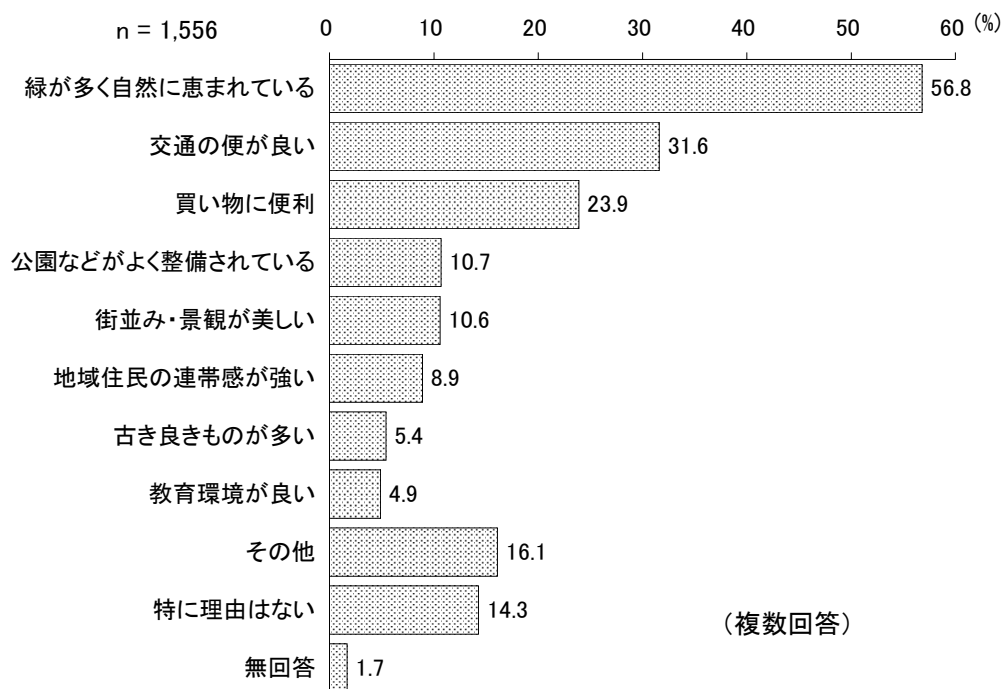
1-2 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が5割台半ばと突出

(問1で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」とお答えの方に)

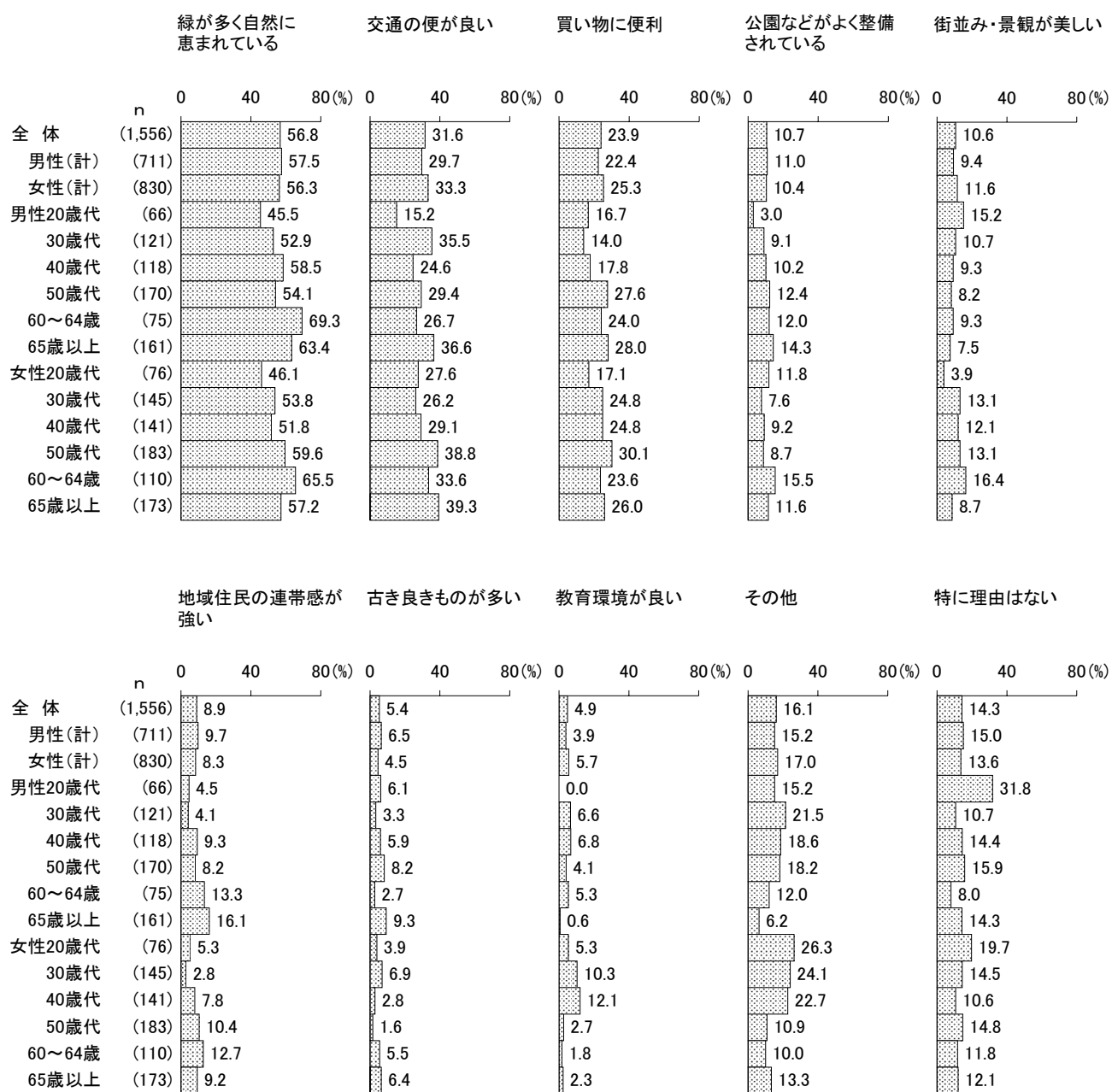
問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

図1-2-1



八王子市への定住意向で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と答えた人(1,556人)に、住み続けたい理由について聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」が5割台半ば(56.8%)と最も高く、ついで「交通の便が良い」(31.6%)、「買い物に便利」(23.9%)、「公園などがよく整備されている」(10.7%)と続いている。(図1-2-1)

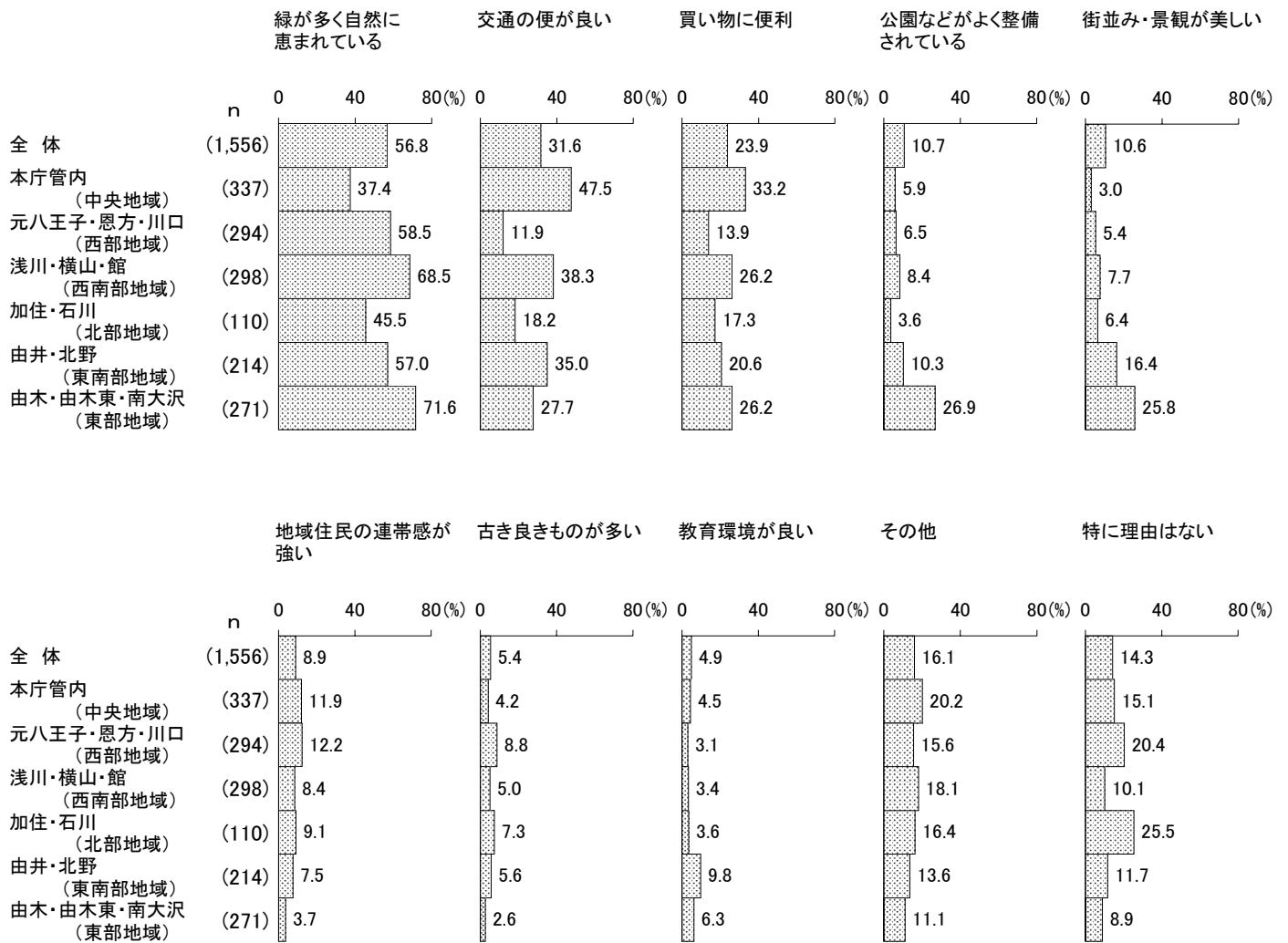
図 1－2－2 住み続けたい理由－性別・年齢別



性別にみると、女性は「交通の便が良い」が男性よりも3.6ポイント高い。一方、男性のほうが女性より有意に高い項目はみられない。

年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は男性の60歳以上、女性の60～64歳で6割以上と高くなっている。また、「交通の便が良い」は、男女とも65歳以上で最多であり、「特に理由はない」は、男女とも20歳代で最多となっている。(図1－2－2)

図 1－2－3 住み続けたい理由－居住地域別



居住地域別にみると、本庁管内（中央地域）では「交通の便が良い」が5割弱（47.5%）、「買い物に便利」が3割強（33.2%）と高くなっている。由木・由木東・南大沢（東部地域）では「緑が多く自然に恵まれている」が7割強（71.6%）、「公園などがよく整備されている」（26.9%）、「街並み・景観が美しい」が2割台半ば（25.8%）と高くなっている。（図1－2－3）

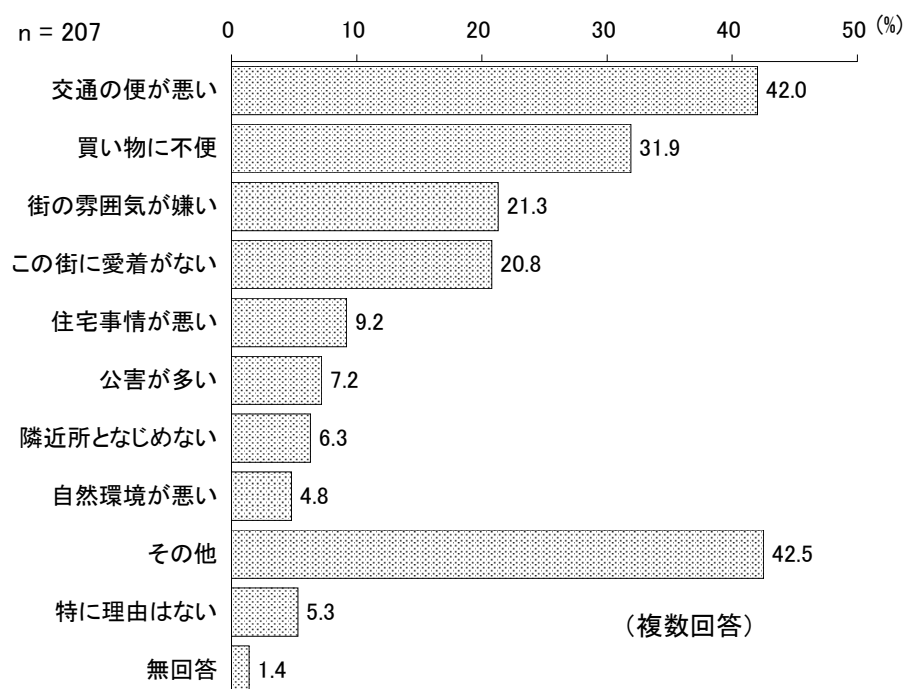
1－3 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が4割強、「買い物に不便」が3割強

(問1で「市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1－2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

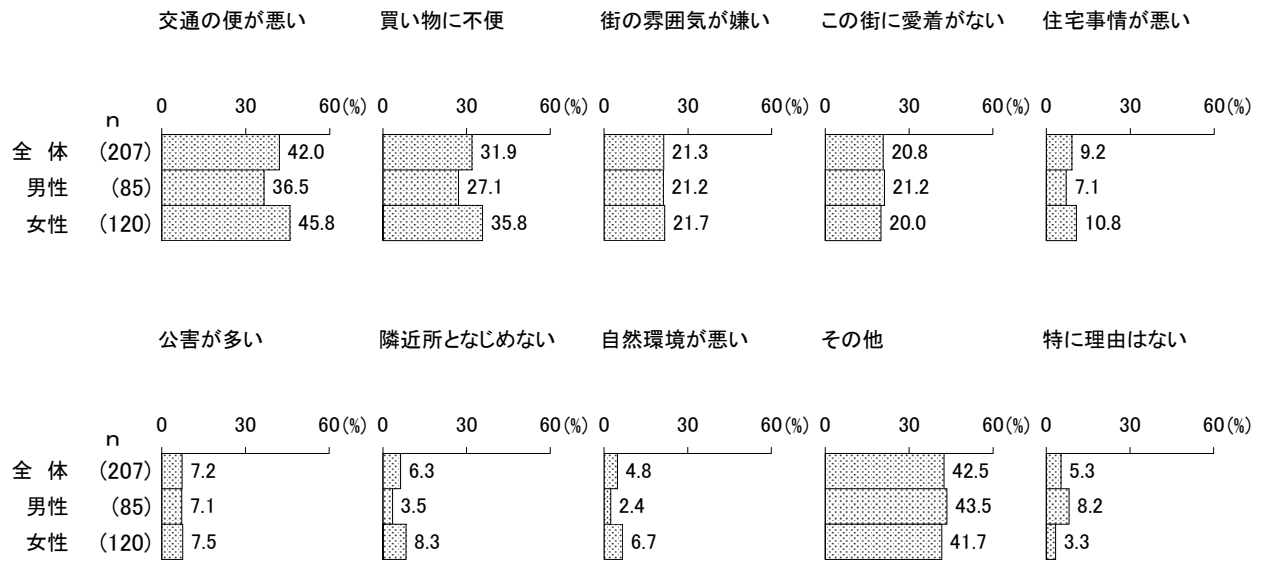
図1－3－1



八王子市への定住意向で「市外へ移りたい」と答えた人(207人)に、市外へ移りたい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」が4割強(42.0%)と最も高く、ついで「買い物に不便」(31.9%)、「街の雰囲気が嫌い」(21.3%)、「この街に愛着がない」(20.8%)と続いている。

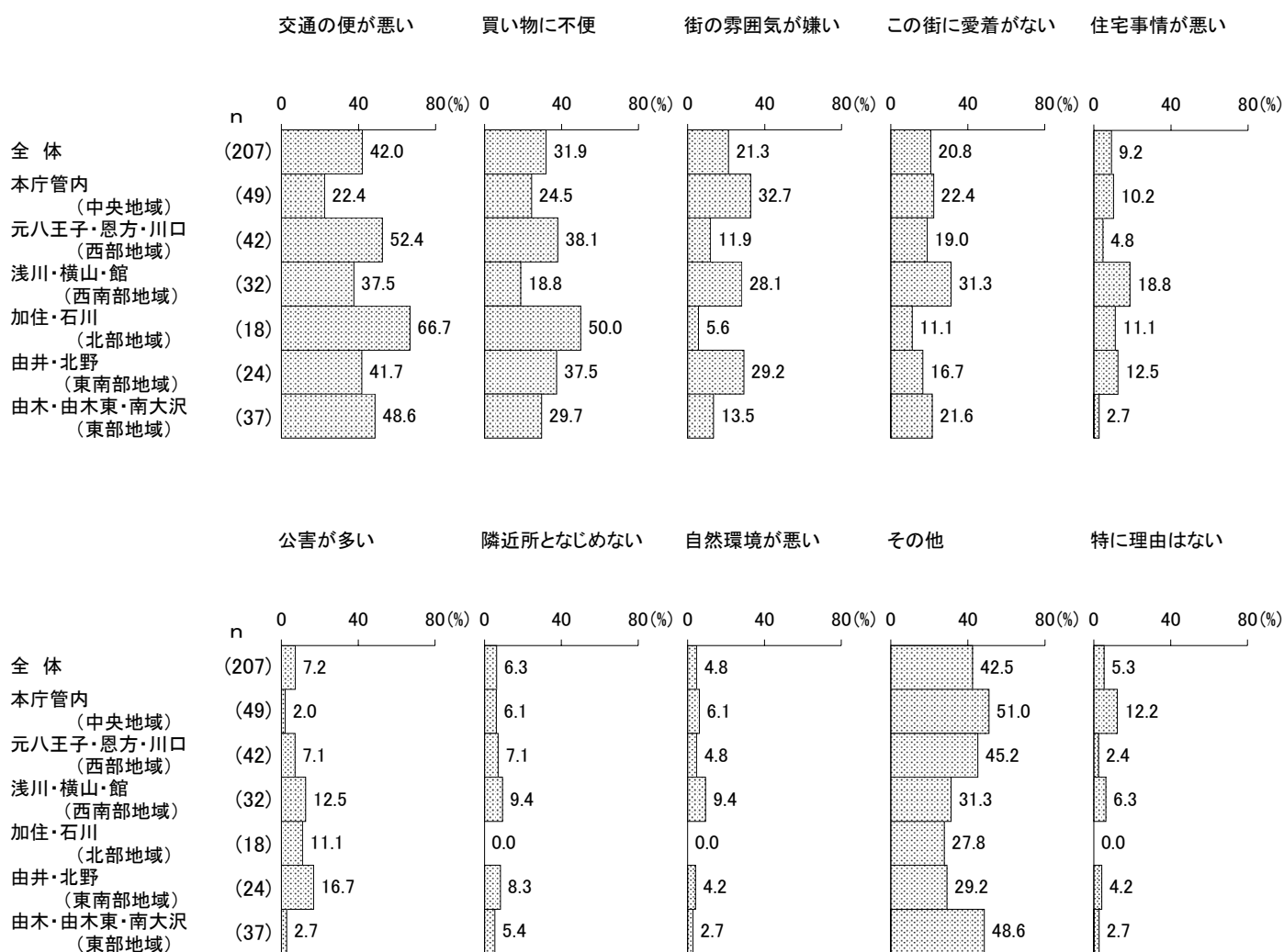
(図1－3－1)

図 1－3－2 市外へ移りたい理由－性別



性別にみると、「交通の便が悪い」で9.3ポイント、「買い物に不便」で8.7ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。(図 1－3－2)

図 1-3-3 市外へ移りたい理由－居住地域別



居住地域別にみると、加住・石川（北部地域）では、「交通の便が悪い」（66.7%）、「買い物に不便」（50.0%）が5割以上と高い。本庁管内（中央地域）では「街の雰囲気が悪い」が3割強（32.7%）、浅川・横山・館（西南部地域）では「この街に愛着がない」が3割強（31.3%）、「住宅事情が悪い」が2割弱（18.8%）と比較的高くなっている。（図1-3-3）

2. 生活環境

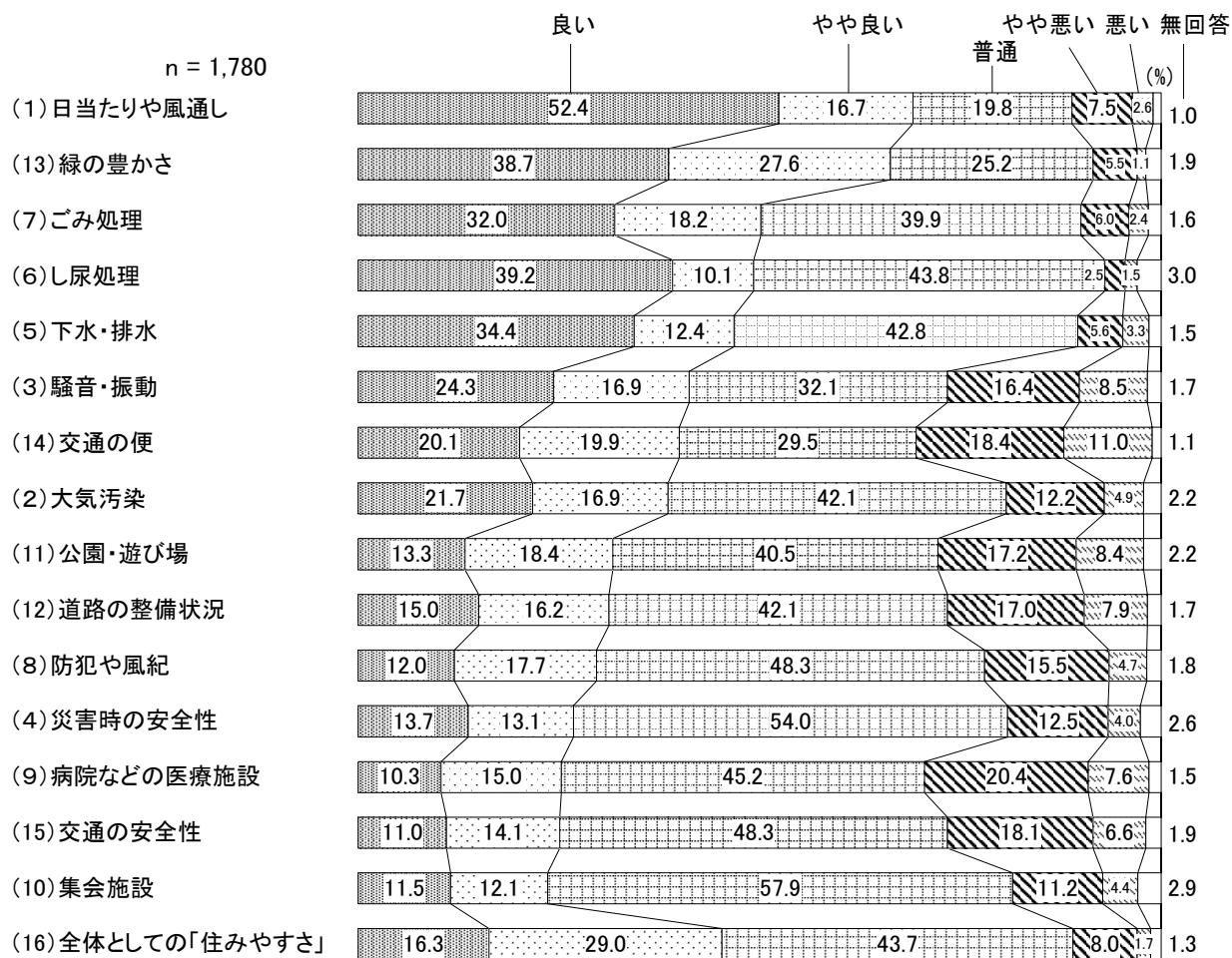
2-1 生活環境の評価

◇「日当たりや風通し」と「緑の豊かさ」の二項目の評価が高い

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

図2-1-1



※【(16) 全体としての「住みやすさ」】を除き、「良い」と「やや良い」の合算で比率の高い順に並べた

周囲の生活環境について聞いたところ、「(1) 日当たりや風通し」について「良い」が5割強 (52.4%) と最も高く、「やや良い」 (16.7%) と合わせた『良い』は7割弱 (69.1%) となっている。

一方で、「(14) 交通の便」と「(9) 病院などの医療施設」では、「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』が3割弱と他の項目に比べて高くなっている。(図2-1-1)

■評価順位

生活環境を15の項目に分け、それぞれの評価を聞いた。

「良い」と「やや良い」の合計を【良い】とし、「やや悪い」と「悪い」の合計を【悪い】とみなした場合の、それぞれ上位5項目をあげると次のようになっている。(図2-1-1)

【良 い】		【悪 い】	
①日当たりや風通し	(69.1%)	①交通の便	(29.4%)
②緑の豊かさ	(66.3%)	②病院などの医療施設	(28.0%)
③ごみ処理	(50.2%)	③公園・遊び場	(25.6%)
④し尿処理	(49.3%)	④騒音・振動	(24.9%)
⑤下水・排水	(46.8%)	④道路の整備状況	(24.9%)

なお、【(16) 全体としての「住みやすさ」】は、【良い】(45.3%) が4割を超え、【悪い】(9.7%) が約1割と、【良い】が35.6ポイント高くなっている。

加重平均値(満足度)

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{評価点} = (\text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} + \text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

この計算方法では、評価点は5.00点～1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に1.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

■満足度順位

以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの上位5項目は次のようになっている。

(図2-1-2)

【上 位】		【下 位】	
①日当たりや風通し	(4.10点)	①病院などの医療施設	(3.00点)
②緑の豊かさ	(3.99点)	②交通の便	(3.05点)
③し尿処理	(3.86点)	③公園・遊び場	(3.11点)
④ごみ処理	(3.73点)	④道路の整備状況	(3.14点)
⑤下水・排水	(3.70点)	⑤集会施設	(3.15点)

図 2-1-2 生活環境の評価点

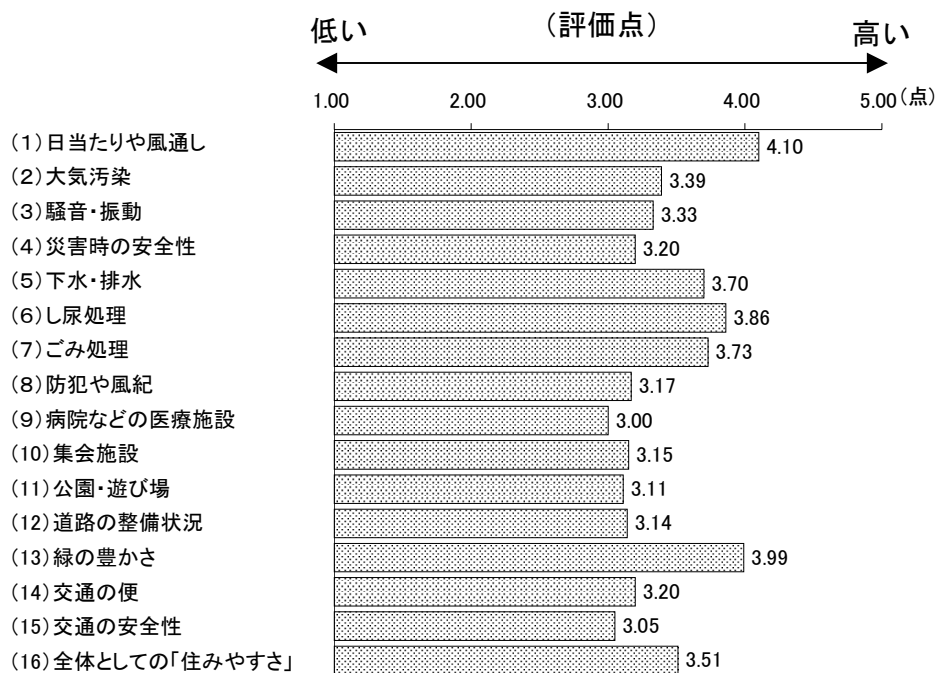


表 2-1-1 生活環境の評価点（加重平均）－居住地域別

	全 体	居住地域					
		本 庁 管 内 （ 中 央 地 域 ）	元 八 王 子 ・ 恩 方 ・ 川 口 （ 西 部 地 域 ）	浅 川 ・ 横 山 ・ 館 （ 西 南 部 地 域 ）	加 住 ・ 石 川 （ 北 部 地 域 ）	由 井 ・ 北 野 （ 東 南 部 地 域 ）	由 木 ・ 由 木 東 ・ 南 大 沢 （ 東 部 地 域 ）
(1) 日当たりや風通し	4.10	3.86	4.18	4.07	3.88	4.17	4.40
(2) 大気汚染	3.39	3.07	3.53	3.42	2.78	3.59	3.74
(3) 騒音・振動	3.33	2.95	3.64	3.40	2.67	3.44	3.55
(4) 災害時の安全性	3.20	3.03	3.32	3.19	3.06	3.13	3.45
(5) 下水・排水	3.70	3.62	3.58	3.76	3.40	3.73	3.97
(6) し尿処理	3.86	3.78	3.75	3.95	3.67	3.84	4.05
(7) ごみ処理	3.73	3.63	3.72	3.84	3.45	3.67	3.87
(8) 防犯や風紀	3.17	3.03	3.32	3.23	3.00	3.11	3.28
(9) 病院などの医療施設	3.00	3.19	2.70	3.25	2.97	2.89	2.91
(10) 集会施設	3.15	3.17	3.11	3.21	2.85	3.05	3.30
(11) 公園・遊び場	3.11	2.92	2.89	3.19	2.66	3.11	3.69
(12) 道路の整備状況	3.14	3.03	2.68	3.17	2.97	3.17	3.75
(13) 緑の豊かさ	3.99	3.40	4.17	4.08	3.80	4.09	4.46
(14) 交通の便	3.20	3.68	2.41	3.40	2.73	3.42	3.26
(15) 交通の安全性	3.05	2.95	2.68	3.18	2.75	3.10	3.53
(16) 全体としての「住みやすさ」	3.51	3.42	3.39	3.61	3.25	3.51	3.76



は項目内での最高値



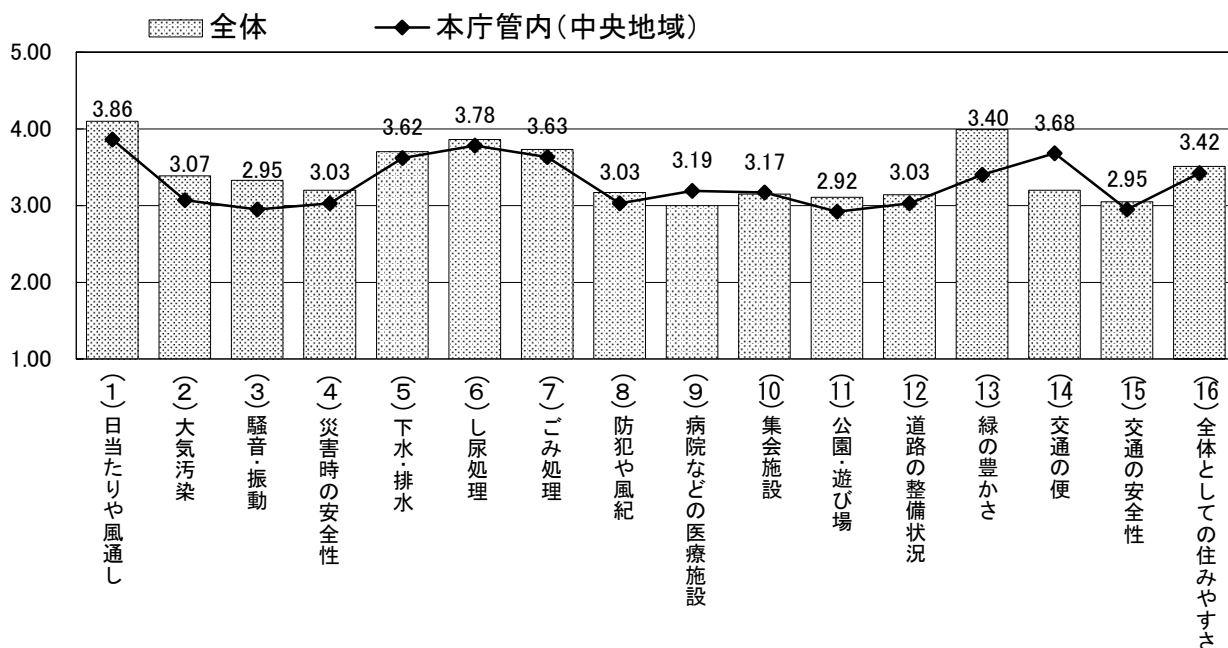
は項目内での最低値

次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中3項目で、最も差が大きいのは、「交通の便」（+0.48ポイント）となっている。下回っているのは、13項目で、最も差が大きいのは、「緑の豊かさ」（-0.59ポイント）で、他に差が大きいのは、騒音・振動（-0.38ポイント）、大気汚染（-0.32ポイント）となっている。（図2-1-3）

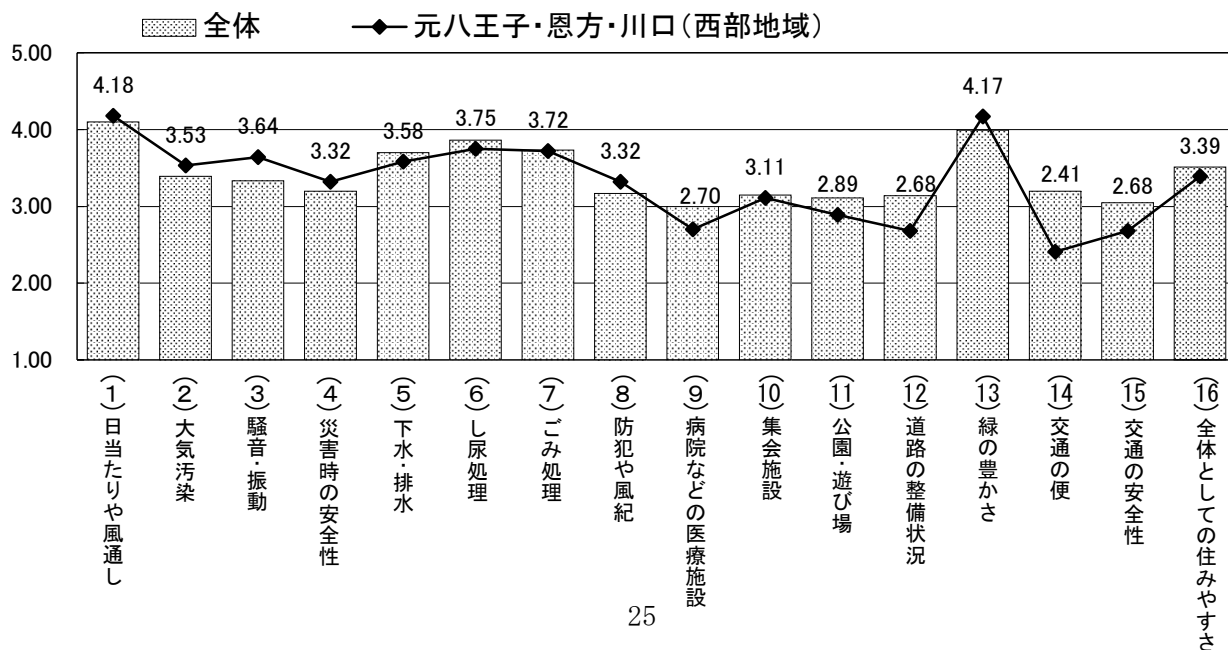
図2-1-3 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中6項目で、最も差が大きいのは、「騒音・振動」（+0.31ポイント）となっている。下回っているのは10項目で、最も差が大きいのは「交通の便」（-0.79ポイント）で、他に差が大きいのは、道路の整備状況（-0.46ポイント）、交通の安全性（-0.37ポイント）となっている。（図2-1-4）

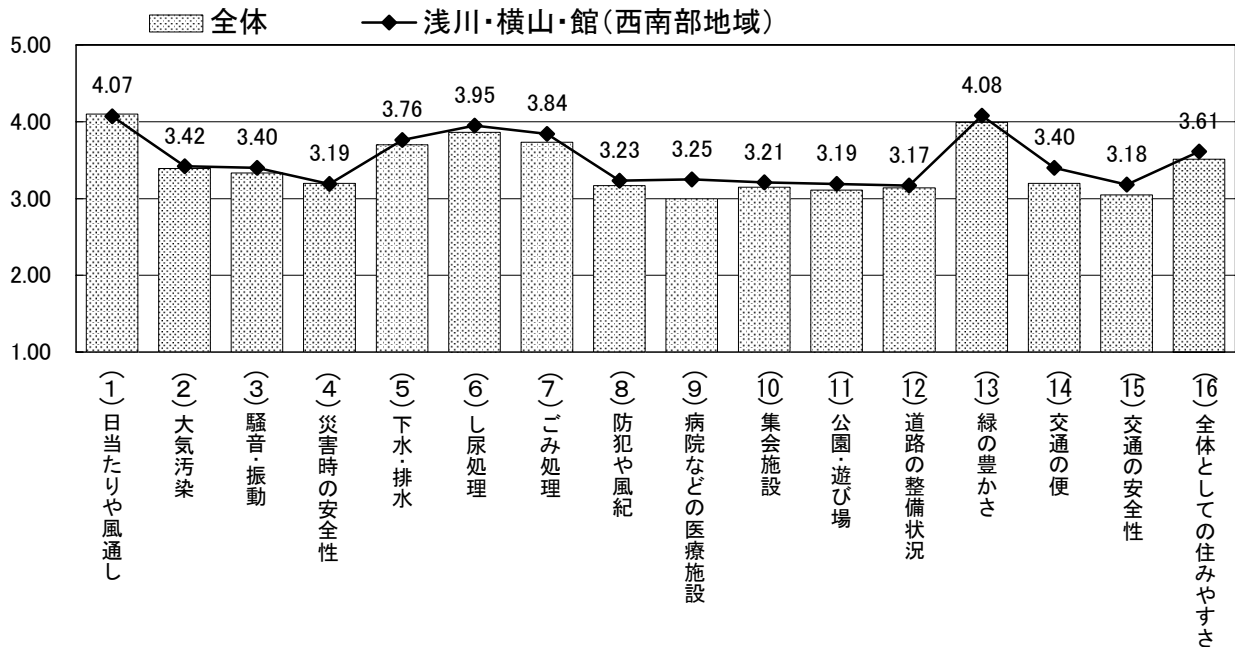
図2-1-4 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中14項目で、最も差が大きいのは「病院などの医療施設」(+0.25ポイント)で、他に差が大きいのは「交通の便」(+0.20ポイント)となっている。
(図2-1-5)

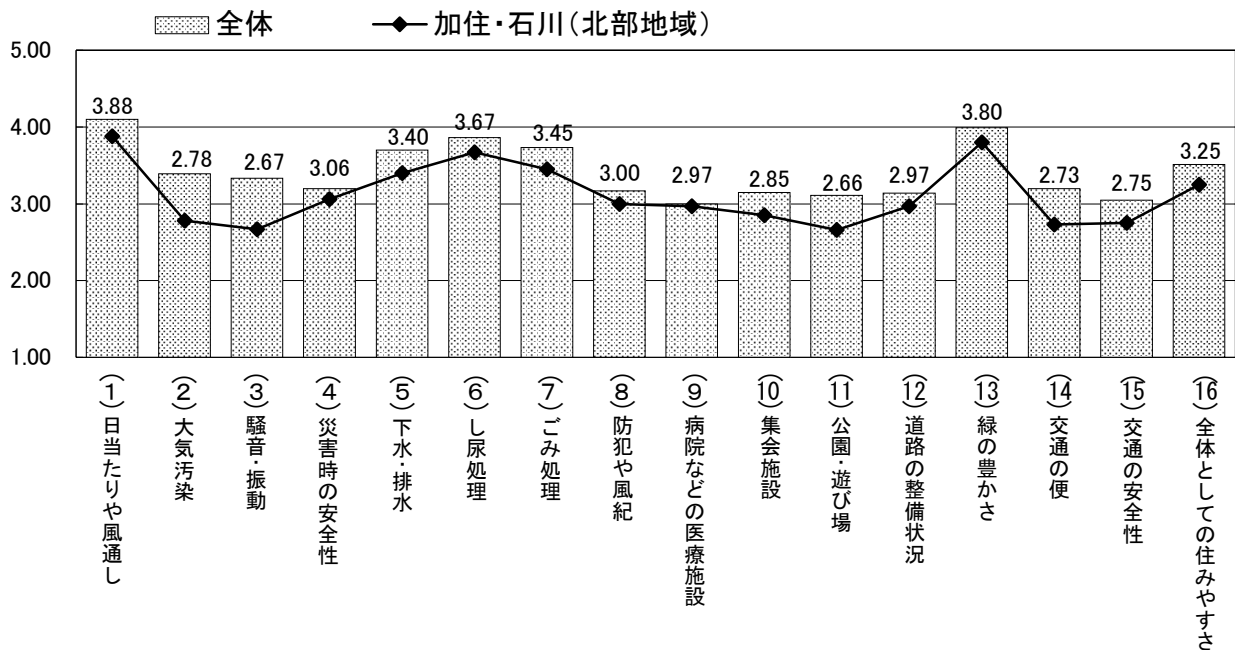
図2-1-5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」



【加住・石川（北部地域）】

市全体より上回っている項目はみられない。下回っている項目で、最も差が大きいのは「騒音・振動」(-0.66ポイント)で、他に差が大きいのは、「大気汚染」(-0.61ポイント)、「交通の便」(-0.47ポイント)、「公園・遊び場」(-0.45ポイント)となっている。(図2-1-6)

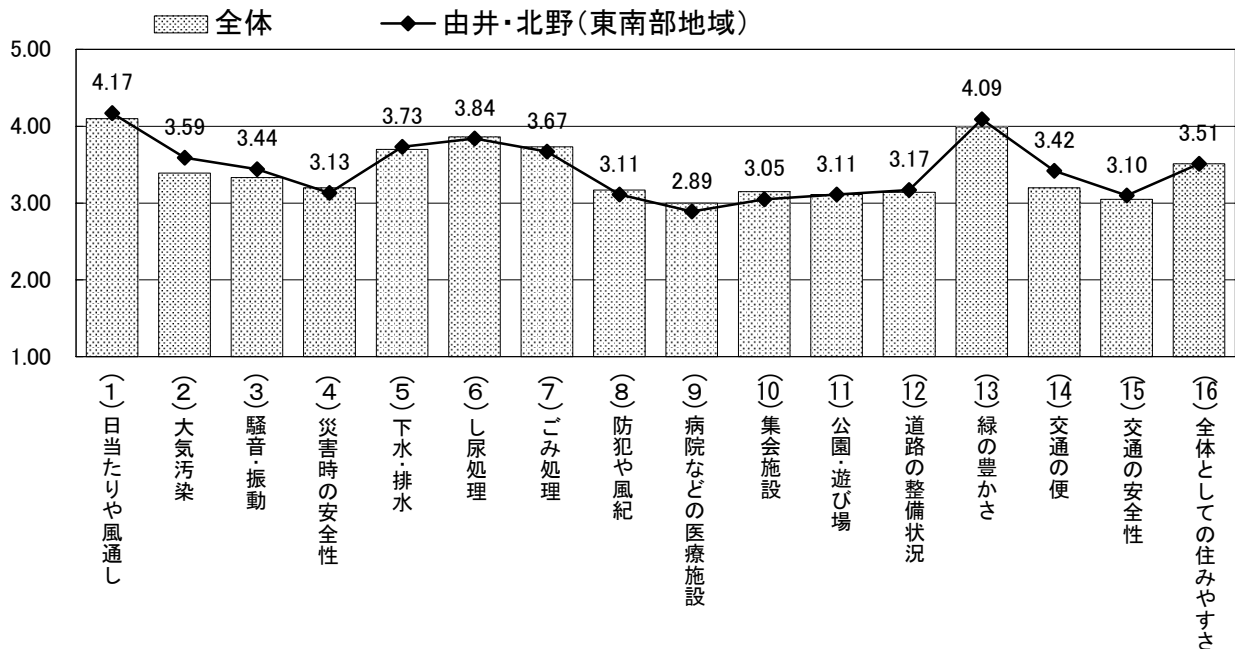
図2-1-6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」



【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中10項目、下回っているのは6項目で、いずれも差が大きくなっている項目はみられない。（図2-1-7）

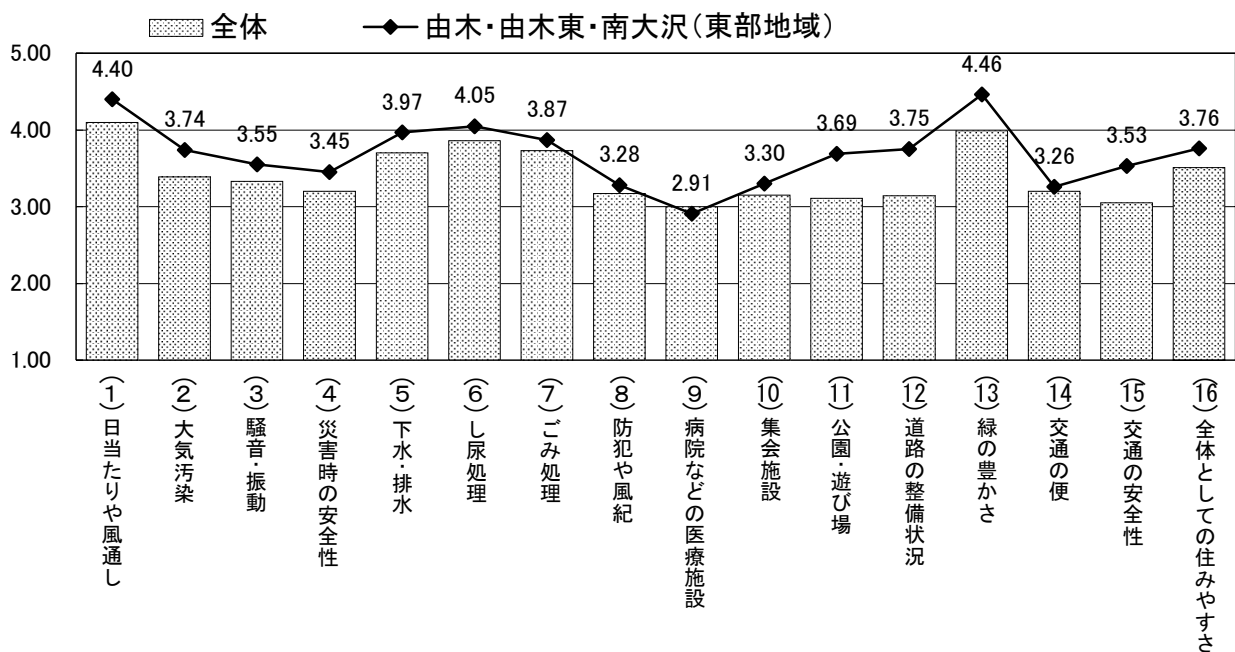
図2-1-7 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中15項目で、最も差が大きいのは「道路の整備状況」（+0.61ポイント）で、他に差が大きいのは、「公園・遊び場」（+0.58ポイント）、「交通の安全性」（+0.48ポイント）、「緑の豊かさ」（+0.47ポイント）となっている。下回っているのは、「病院などの医療施設」（-0.09ポイント）となっている。（図2-1-8）

図2-1-8 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」



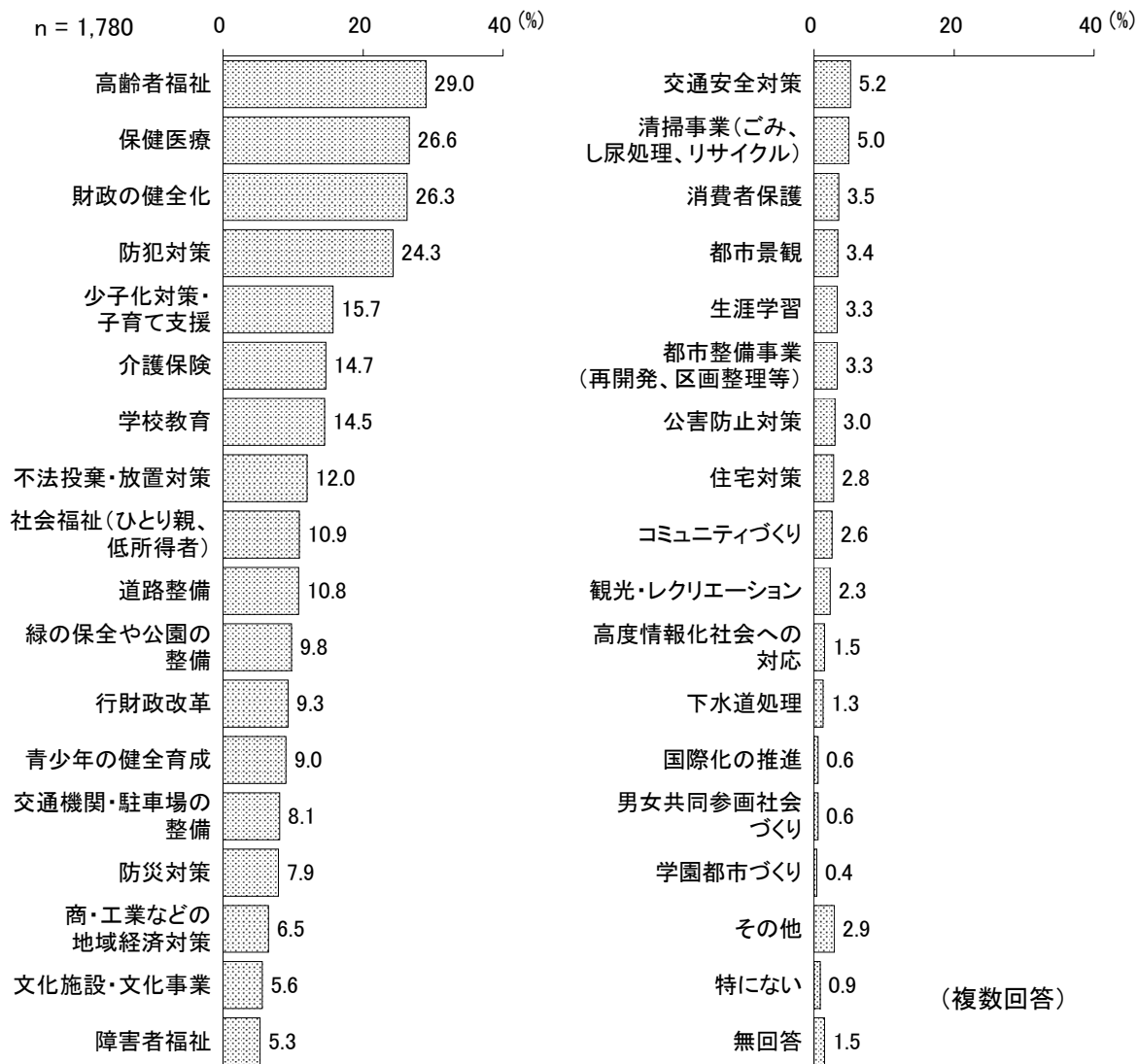
3. 市政への要望

3-1 重点施策要望

◇「高齢者福祉」「保健医療」「財政の健全化」の三項目が3割弱

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～35の中から3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。

図3-1-1



市政全般において特に力を入れてほしいと思う施策について聞いたところ、「高齢者福祉」(29.0%)、「保健医療」(26.6%)、「財政の健全化」(26.3%)の三項目が3割弱で高い。ついで「防犯対策」(24.3%)、「少子化対策・子育て支援」(15.7%)、「介護保険」(14.7%)と続いている。

(図3-1-1)

経年での変化を見ると、前回から引き続き第1位は「高齢者福祉」であり、数値もほとんど同じである。第2位には前回第3位だった「保健医療」が入り、前回第2位の「防犯対策」は今回第4位に下がっている。また、前回第5位だった「財政再建」が「財政の健全化」として今回第3位に入っており、数値も13.6ポイントから26.3ポイントと2倍近く増加している。

(表3-1-1)

表3-1-1 重点施策要望一経年比較

(%)

順位	年	平成17年	平成18年	平成19年
第1位		防犯対策 (29.7)	高齢者福祉 (28.7)	高齢者福祉 (29.0)
第2位		高齢者福祉 (23.7)	防犯対策 (27.3)	保健医療 (26.6)
第3位		保健医療 (22.6)	保健医療 (26.2)	財政の健全化 (26.3)
第4位		少子化対策・ 子育て支援 (14.3)	少子化対策・ 子育て支援 (15.4)	防犯対策 (24.3)
第5位		不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、 バイク、ごみ等) (14.2)	財政再建 (13.6)	少子化対策・ 子育て支援 (15.7)
第6位		財政再建 (13.4)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、 バイク、ごみ等) (12.8)	介護保険 (14.7)
第7位		学校教育 (13.3)	介護保険 (12.2)	学校教育 (14.5)
第8位		緑の保全や公園の 整備 (12.1)	学校教育 (11.9)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、 バイク、ごみ等) (12.0)
第9位		行財政改革 (12.0)	行財政改革 (11.6)	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (10.9)
第10位		青少年の健全育成 (11.0)	緑の保全や公園の 整備 (10.4)	道路整備 (10.8)

性別にみると、男性の第1位は「財政の健全化」(29.8%)で、女性の第1位は「高齢者福祉」(30.6%)となっている。第2位及び第3位については、男性が「高齢者福祉」(27.0%)、「防犯対策」(26.9%)、女性が「保健医療」(28.8%)、「財政の健全化」(23.6%)となっている。また、「財政の健全化」については、男性のほうが6.2ポイント高くなっている。

性・年齢別に第1位をみると男性30歳代・40歳代と女性20歳代では「防犯対策」、60歳以上の年代では男女とも「高齢者福祉」が第1位となっている。

「防犯対策」は男女ともすべての年代で第5位までに入っている。「高齢者福祉」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性60歳以上と女性65歳以上では4割以上を占めている。
(表3-1-2)

表3-1-2 重点施策要望一性別・年齢別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男 性	財政の健全化 (29.8)	高齢者福祉 (27.0)	防犯対策 (26.9)	保健医療 (24.1)	不法投棄・ 放置対策 (13.4)
女 性	高齢者福祉 (30.6)	保健医療 (28.8)	財政の健全化 (23.6)	防犯対策 (22.3)	少子化対策・ 子育て支援 (18.1)
男 性 20 歳 代	財政の健全化 (29.3)	防犯対策 (23.9)	交通機関・ 駐車場の整備 (20.7)	少子化対策・ 子育て支援 (18.5)	社会福祉／不法 投棄・放置対策 (16.3)
30 歳 代	防犯対策 (34.2)	財政の健全化／少子化対策・ 子育て支援 (28.8)		保健医療 (20.5)	学校教育 (17.8)
40 歳 代	防犯対策 (33.3)	財政の健全化／保健医療 (23.3)		学校教育／高齢者福祉 (20.9)	
50 歳 代	財政の健全化 (33.3)	高齢者福祉 (30.0)	保健医療／防犯対策 (25.0)		行財政改革 (18.3)
60 ～ 64 歳	高齢者福祉 (42.7)	財政の健全化 (34.1)	防犯対策 (26.8)	保健医療 (23.2)	行財政改革 (18.3)
65 歳 以 上	高齢者福祉 (42.4)	保健医療 (33.5)	財政の健全化 (30.0)	介護保険 (21.8)	防犯対策 (19.4)
女 性 20 歳 代	防犯対策 (33.7)	少子化対策・ 子育て支援 (29.6)	財政の健全化／保健医療 (20.4)		社会福祉／交通 機関・駐車場の 整備 (16.3)
30 歳 代	少子化対策・ 子育て支援 (47.7)	学校教育 (32.6)	保健医療 (31.4)	防犯対策 (29.1)	財政の健全化 (18.0)
40 歳 代	学校教育 (28.0)	高齢者福祉 (26.2)	保健医療 (25.0)	財政の健全化 (24.4)	防犯対策 (19.6)
50 歳 代	高齢者福祉 (33.2)	保健医療 (31.3)	財政の健全化 (27.9)	介護保険／防犯対策 (20.7)	
60 ～ 64 歳	高齢者福祉 (34.7)	保健医療 (30.6)	財政の健全化 (28.9)	介護保険／防犯対策 (22.3)	
65 歳 以 上	高齢者福祉 (54.2)	保健医療 (30.2)	介護保険 (29.2)	財政の健全化 (21.4)	防犯対策 (15.1)

居住地域別で第1位をみると、本庁管内（中央地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）では「高齢者福祉」、元八王子・恩方・川口（西部地域）、由井・北野（東南部地域）では「財政の健全化」、浅川・横山・館（西南部地域）、加住・石川（北部地域）では「保健医療」となっている。また、すべての居住地域で「高齢者福祉」が第3位までに入っている。（表3－1－3）

表3－1－3 重点施策要望－居住地域別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
本 庁 管 内 （ 中 央 地 域 ）	高齢者福祉 (27.2)	財政の健全化 (26.2)	保健医療 (26.0)	防犯対策 (25.2)	少子化対策・ 子育て支援 (15.2)
元八王子・恩方・川口 （ 西 部 地 域 ）	財政の健全化 (29.9)	保健医療／高齢者福祉 (26.6)		道路整備 (20.4)	防犯対策 (17.5)
浅 川 ・ 横 山 ・ 館 （ 西 南 部 地 域 ）	保健医療 (27.9)	防犯対策 (27.6)	高齢者福祉 (26.4)	財政の健全化 (21.9)	少子化対策・ 子育て支援 (18.6)
加 住 ・ 石 川 （ 北 部 地 域 ）	保健医療 (28.7)	高齢者福祉 (27.1)	財政の健全化 (24.8)	防犯対策 (24.0)	少子化対策・ 子育て支援 (19.4)
由 井 ・ 北 野 （ 東 南 部 地 域 ）	財政の健全化 (27.8)	保健医療 (27.0)	高齢者福祉／防犯対策 (26.6)		少子化対策・ 子育て支援 (15.8)
由木・由木東・南大沢 （ 東 部 地 域 ）	高齢者福祉 (39.5)	財政の健全化 (28.0)	防犯対策 (26.0)	保健医療 (25.4)	学校教育 (20.3)

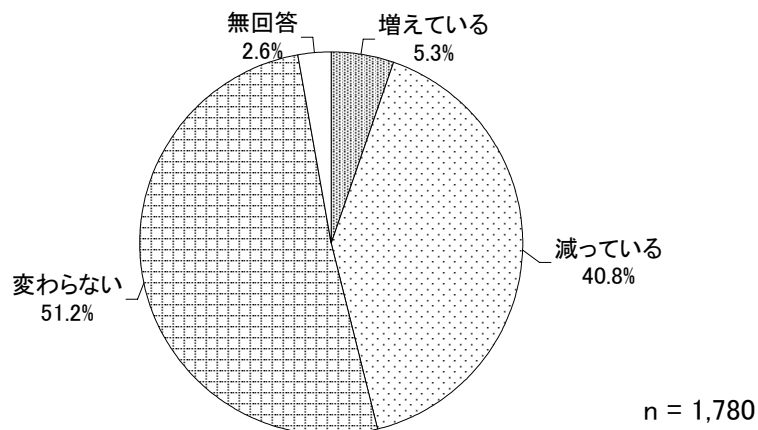
4. みどりに関する意識について

4-1 みどりの増減

◇「変わらない」が5割強、「減っている」が約4割

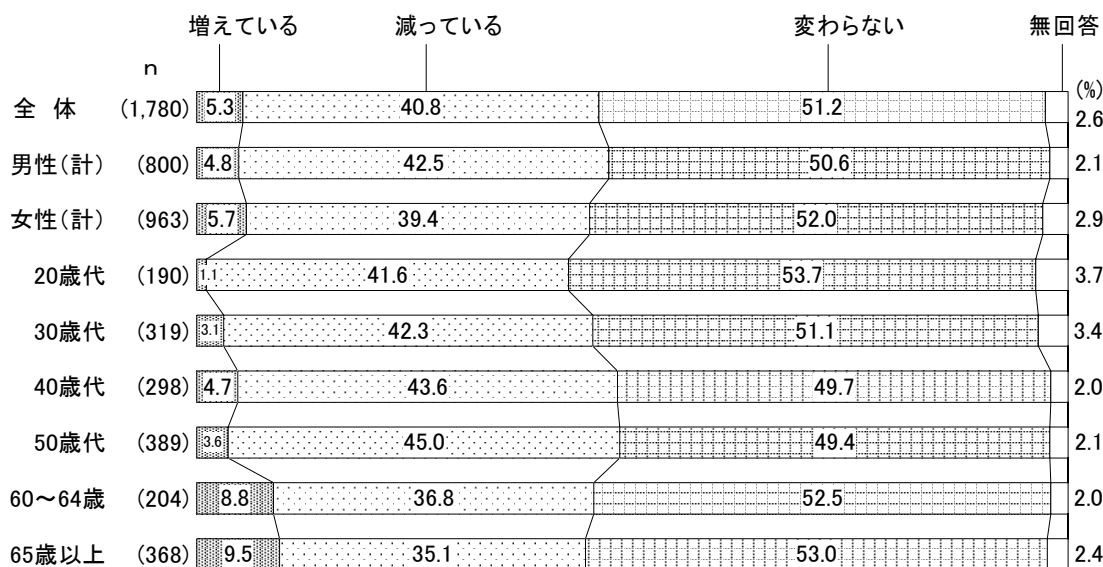
問4 お住まい周辺の樹木や草花のみどりは、5年くらい前に比べてどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

図4-1-1



5年くらい前に比べてのみどりの増減を聞いたところ、「変わらない」が5割強（51.2%）で最も高く、「減っている」は約4割（40.8%）、「増えている」は5.3%とわずかであった。（図4-1-1）

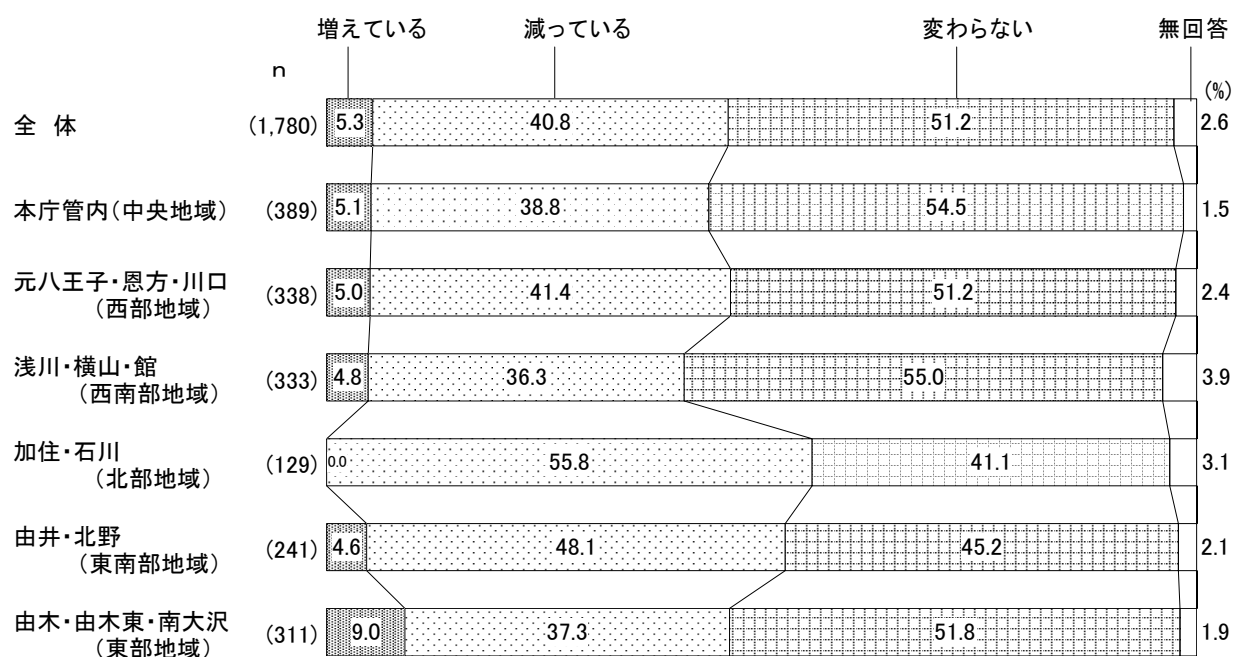
図4-1-2 みどりの増減－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるほど「増えている」が増加し、65歳以上では約1割（9.5%）を占めている。（図4-1-2）

図４－１－３ みどりの増減－居住地域別



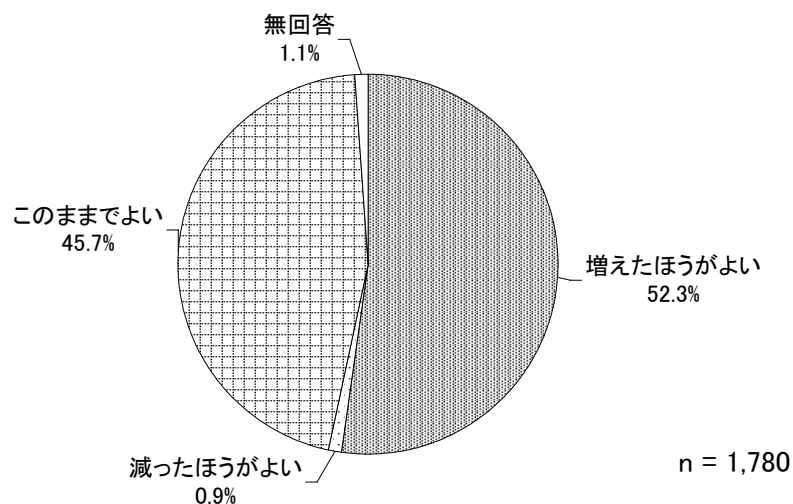
居住地域別にみると、「増えている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約１割（9.0%）と最も高く、加住・石川（北部地域）では逆に「増えている」という回答はなく、「減っている」が過半数（55.8%）を占めている。（図４－１－３）

4-2 今後のみどりの増減

◇「増えたほうがよい」が5割強

問5 お住まい周辺のみどりは、今後どのようになるとよいと思いますか。(○は1つだけ)

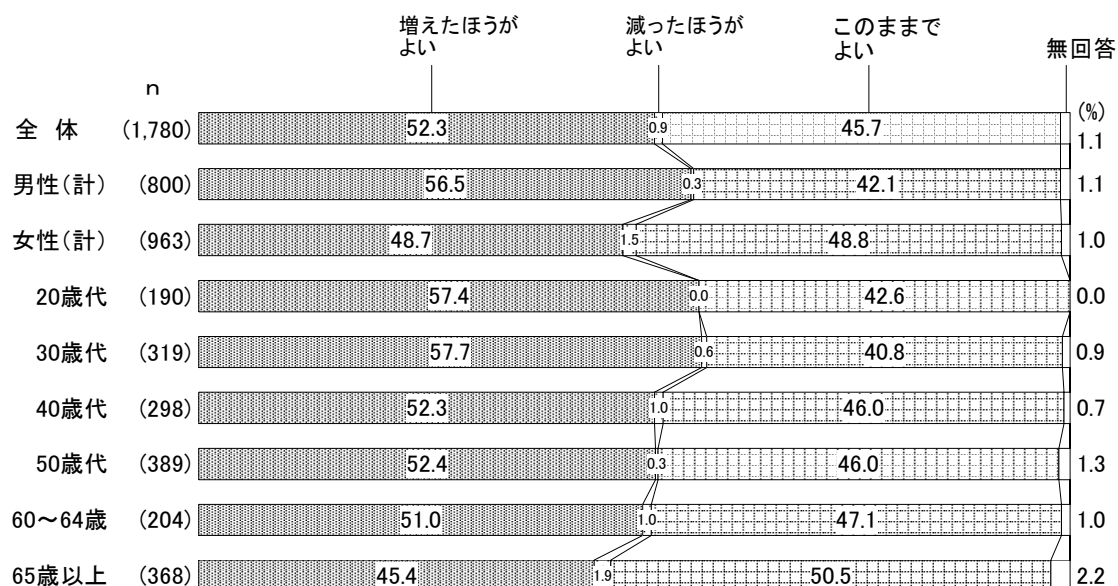
図4-2-1



今後のみどりの増減の希望を聞いたところ、「増えたほうがよい」が5割強（52.3%）で最も高く、「このままでよい」は4割台半ば（45.7%）、「減ったほうがよい」は0.9%とわずかであった。

（図4-2-1）

図4-2-2 今後のみどりの増減－性別・年齢別

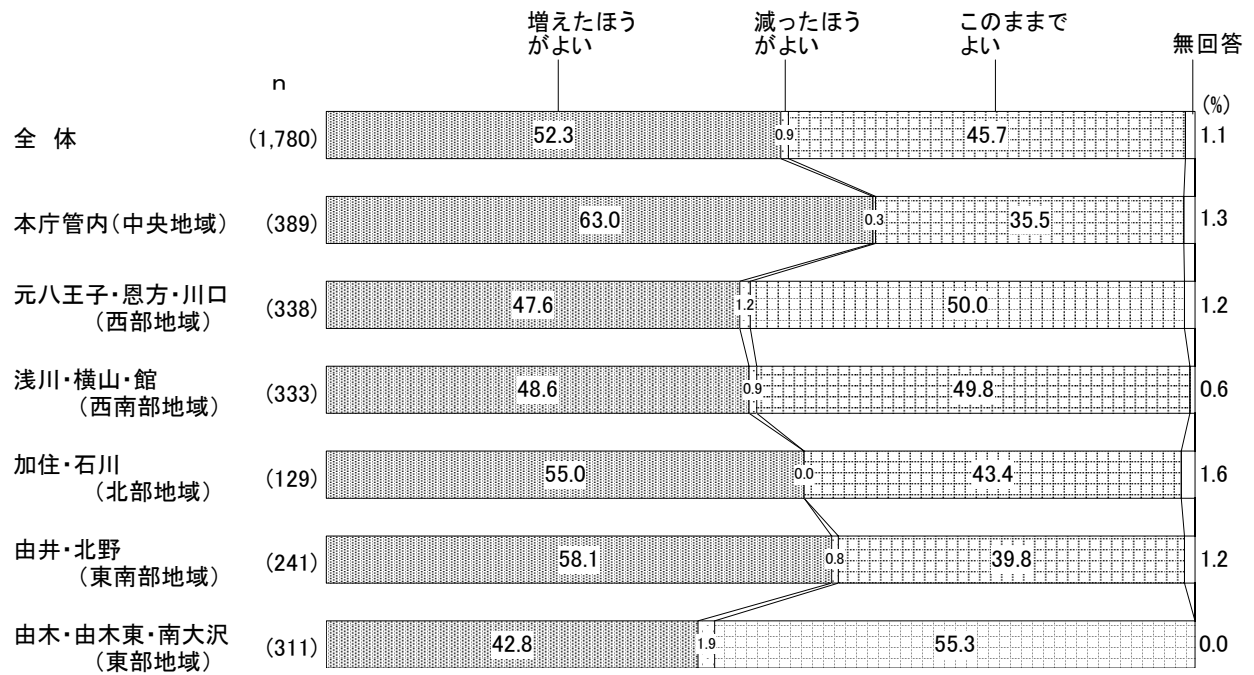


性別にみると、男性のほうが「増えたほうがよい」が7.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「増えたほうがよい」が増加する傾向がみられる。

（図4-2-2）

図 4－2－3 今後のみどりの増減－居住地域別



居住地域別にみると、「増えたほうがよい」は本庁管内（中央地域）で6割強（63.0%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割強（42.8%）と低くなっている。（図 4－2－3）

4-3 みどりが増えてほしい場所

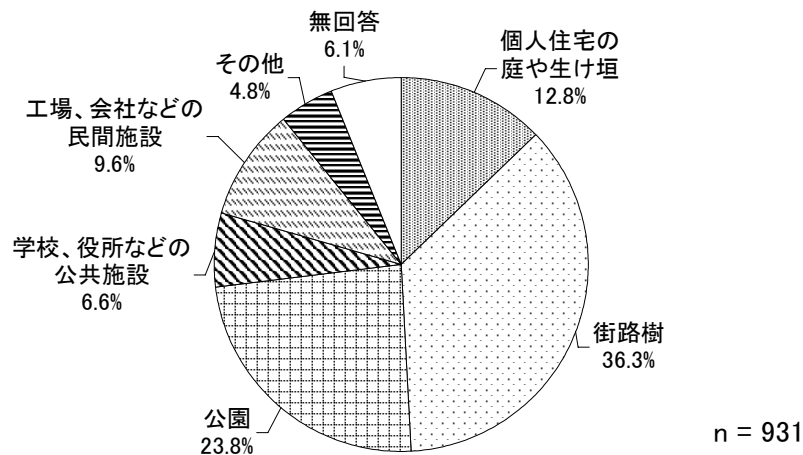
◇「街路樹」「公園」「個人住宅の庭や生け垣」の順で高い

(問5で「増えたほうがよい」とお答えの方に)

問5-1 市内にみどりを増やそうとする場合に、最も効果的だと思われる場所はどこですか。

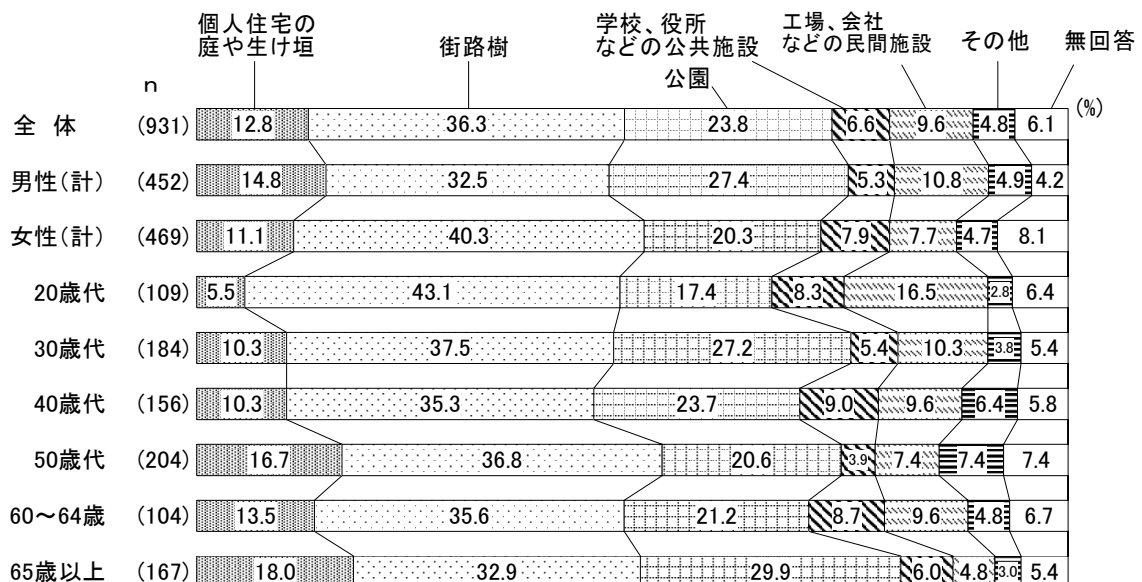
(○は1つだけ)

図4-3-1



今後のみどりの増減について、「増えたほうがよい」と答えた人(931人)に、市内にみどりを増やそうとする場合に、最も効果的だと思われる場所を聞いたところ、「街路樹」が3割台半ば(36.3%)で最も高く、以下、「公園」(23.8%)、「個人住宅の庭や生け垣」(12.8%)、「工場、会社などの民間施設」(9.6%)の順で続いている。(図4-3-1)

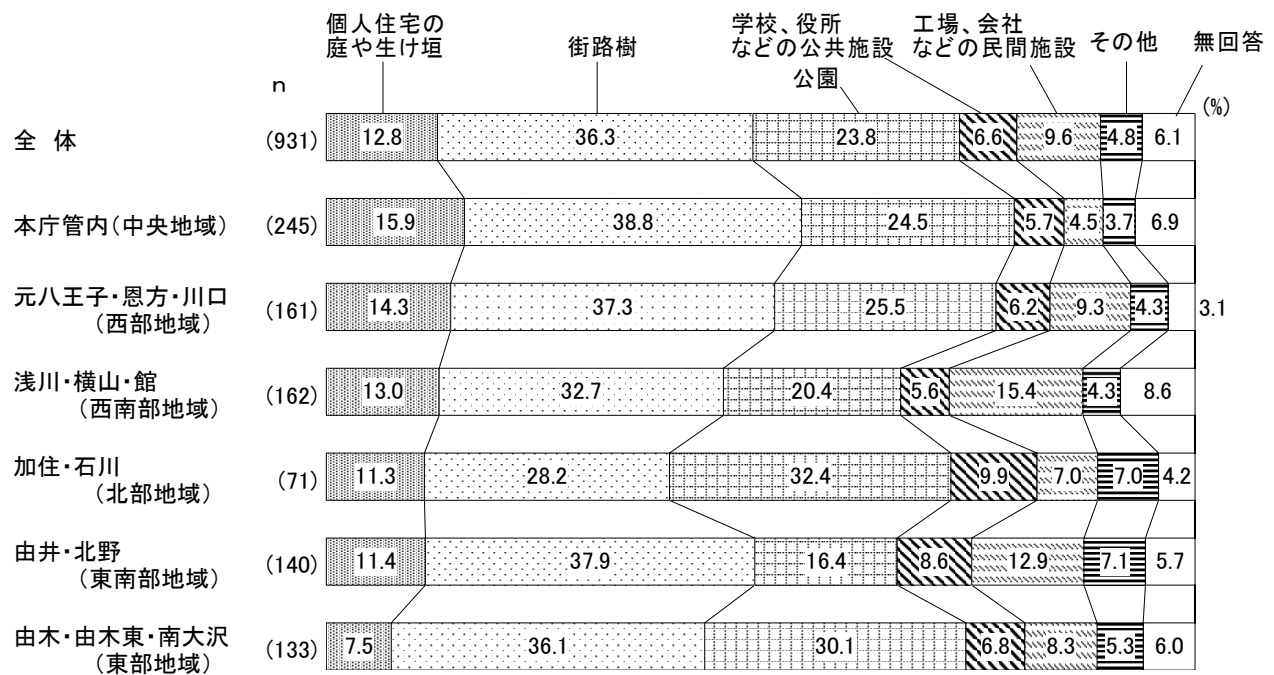
図4-3-2 みどりが増えてほしい場所—性別・年齢別



性別にみると、「街路樹」は女性のほうが7.8ポイント高く、「公園」は男性のほうが7.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳以上で「個人住宅の庭や生け垣」が比較的高く、20歳代で「工場、会社などの民間施設」が16.5%と比較的高くなっている。(図4-3-2)

図 4-3-3 みどりが増えてほしい場所—居住地域別



居住地域別にみると、「公園」は加住・石川（北部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割を超えて高く、「工場、会社などの民間施設」は浅川・横山・館（西南部地域）で15.4%と比較的高くなっている。（図 4-3-3）

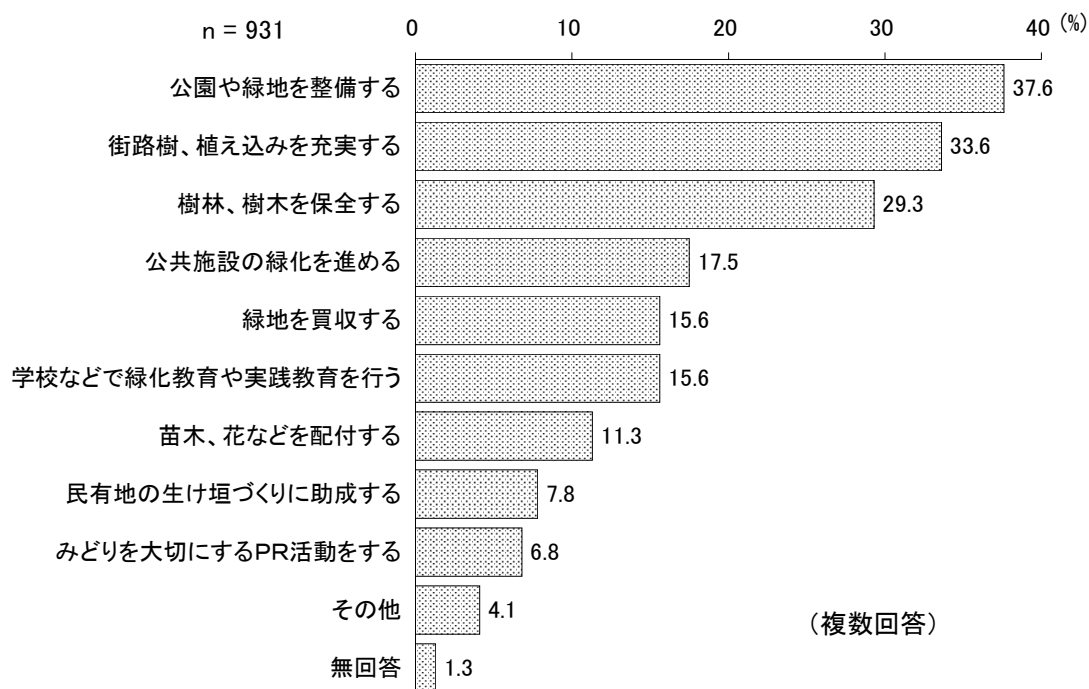
4-4 みどりを守るために市がすべきこと

◇「公園や緑地を整備する」「街路樹、植え込みを充実する」が3割以上

(問5で「増えたほうがよい」とお答えの方に)

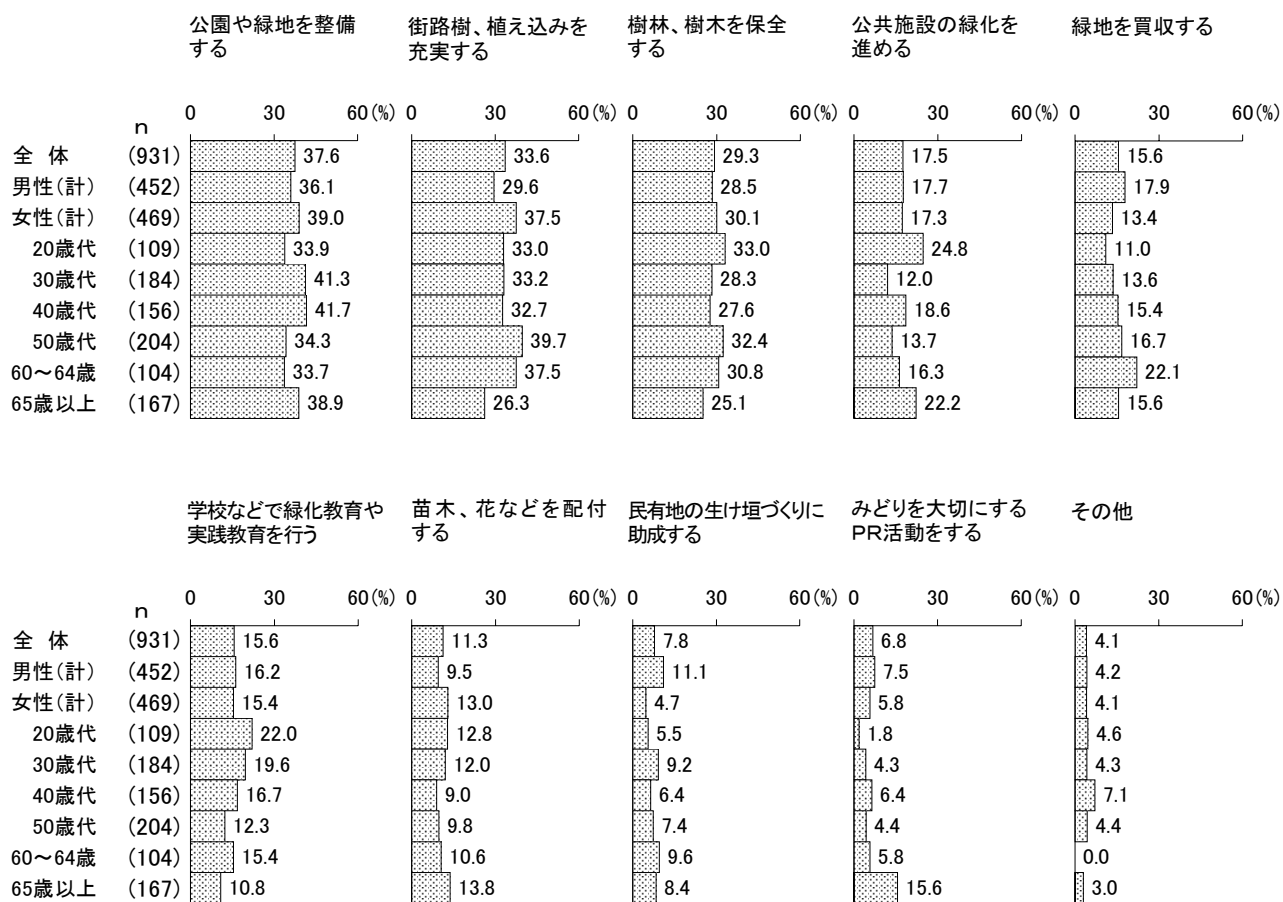
問5-2 みどりを守り育てていくために、今後、市はどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(○は2つまで)

図4-4-1



今後のみどりの増減について、「増えたほうがよい」と答えた人(931人)に、みどりを守るために市がすべきことを聞いたところ、「公園や緑地を整備する」が4割弱(37.6%)で最も高く、以下、「街路樹、植え込みを充実する」(33.6%)、「樹林、樹木を保全する」(29.3%)、「公共施設の緑化を進める」(17.5%)の順で続いている。(図4-4-1)

図 4-4-2 みどりを守るために市がすべきこと－性別・年齢別

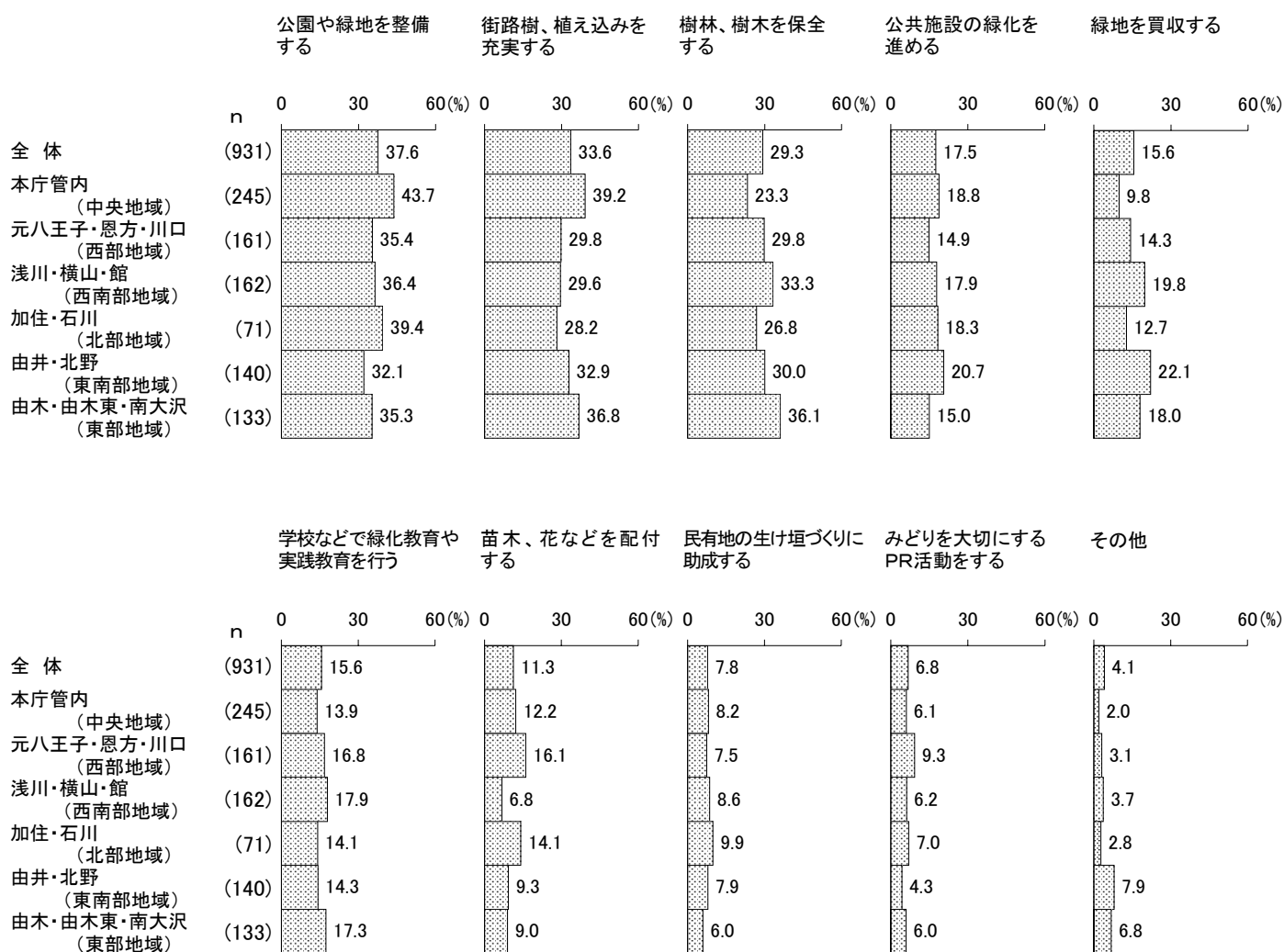


性別にみると、「街路樹、植え込みを充実する」は女性のほうが7.9ポイント高く、「民有地の生け垣づくりに助成する」は男性のほうが6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「みどりを大切にするPR活動をする」は65歳以上で15.6と比較的高く、「学校などで緑化教育や実践教育を行う」は概ね年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられる。

(図 4-4-2)

図 4-4-3 みどりを守るために市がすべきこと－居住地域別



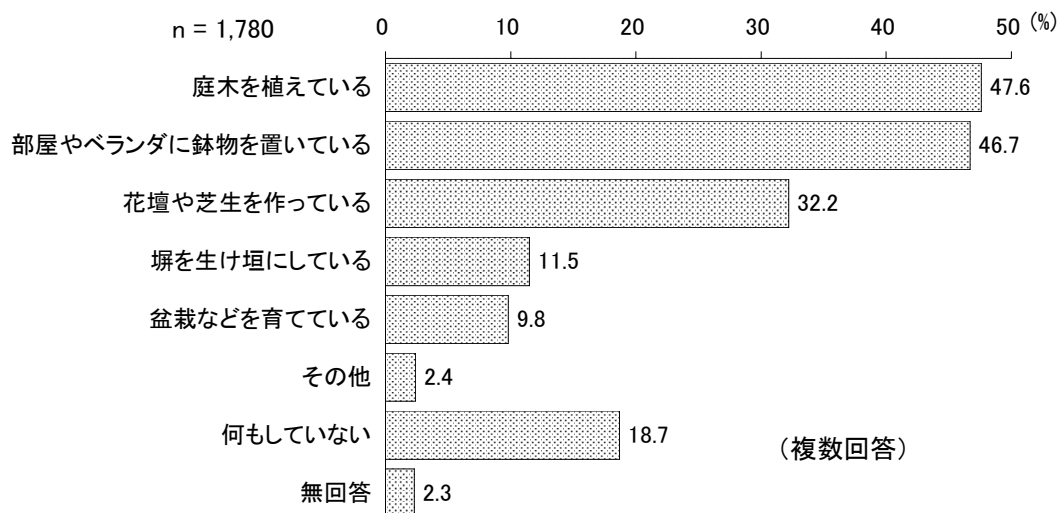
居住地域別にみると、「公園や緑地を整備する」「街路樹、植え込みを充実する」は本庁管内（中央地域）で4割前後と高く、「樹林、樹木を保全する」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で36.1%と高くなっている。（図4-4-3）

4－5 日頃行っているみどりを増やすこと

◇半数近くが「庭木を植えている」「部屋やベランダに鉢物を置いている」

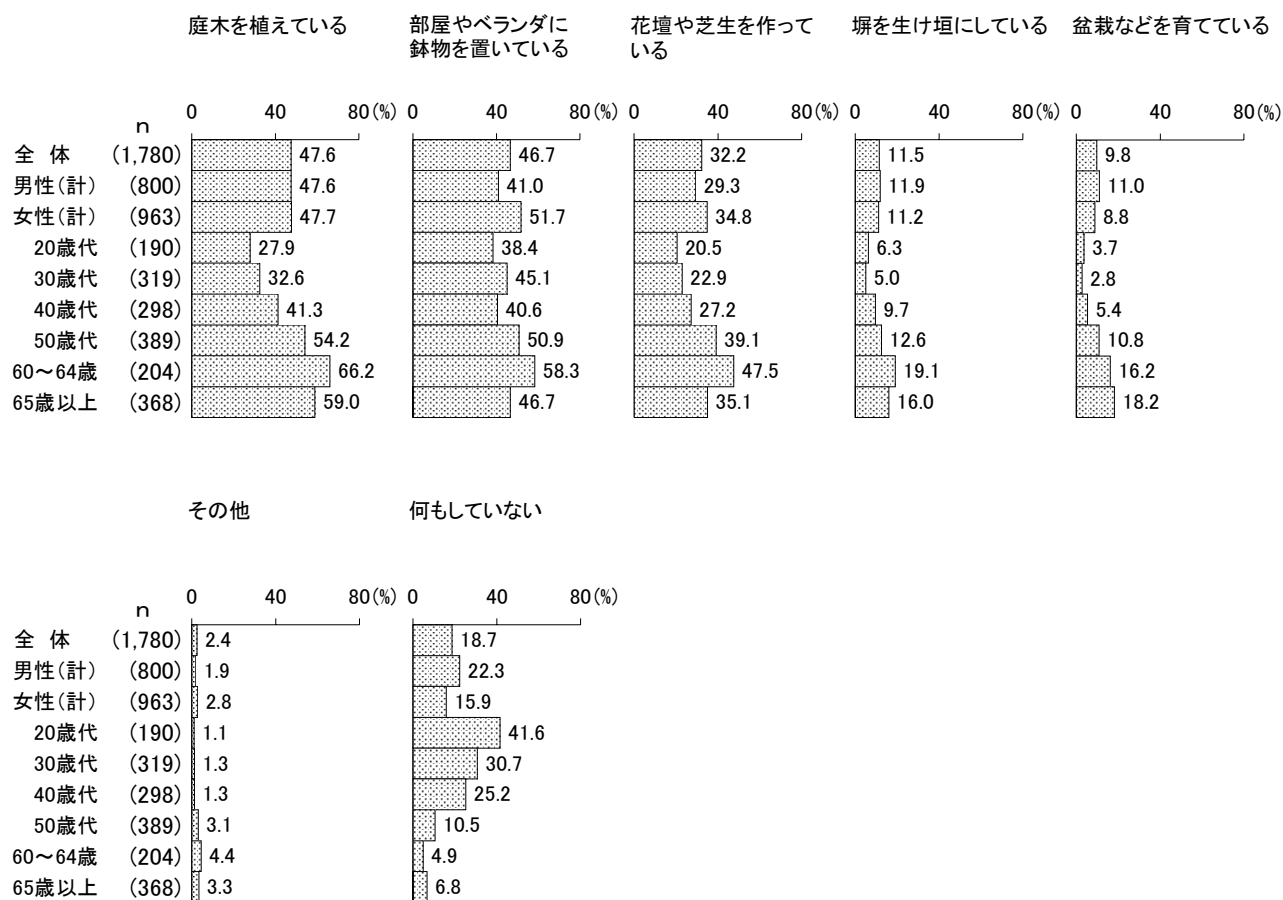
問6 日頃からみどりを増やすことをしていますか。(○はいくつでも)

図4－5－1



日頃行っているみどりを増やすことについて聞いたところ、「庭木を植えている」(47.6%)、「部屋やベランダに鉢物を置いている」(46.7%)の2項目が5割弱で並び、以下、「花壇や芝生を作っている」(32.2%)、「塀を生け垣にしている」(11.5%)の順が続いている。(図4－5－1)

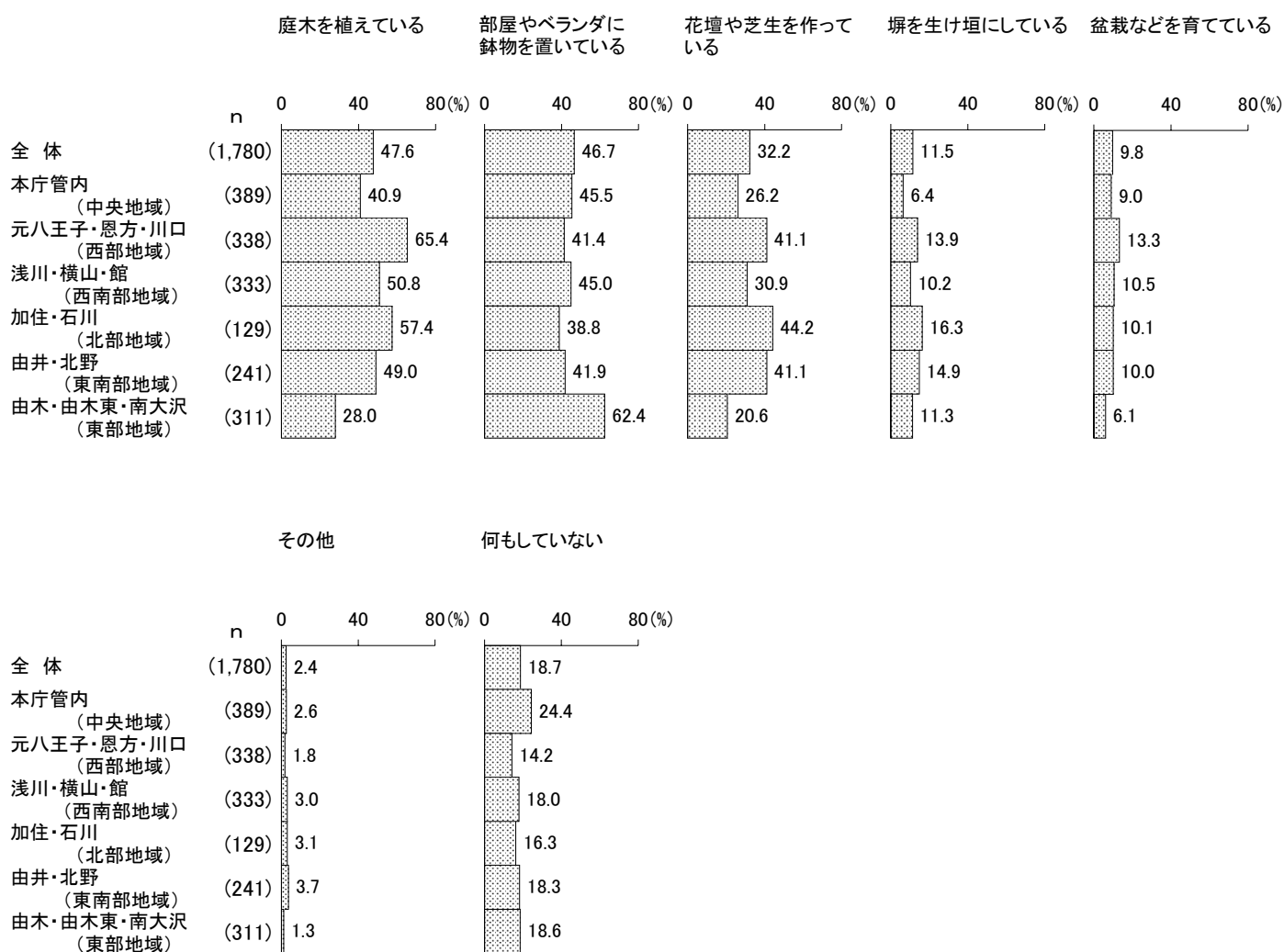
図４－５－２ 日頃行っているみどりを増やすこと－性別・年齢別



性別にみると、「部屋やベランダに鉢物を置いている」は女性のほうが10.7ポイント高く、「何もしていない」は男性のほうが6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、多くの項目で64歳までは年齢が高くなるほど割合も高くなっており、年齢が低くなるほど「何もしていない」の割合が増加する傾向がみられる。(図４－５－２)

図 4-5-3 日頃行っているみどりを増やすこと一居住地地域別



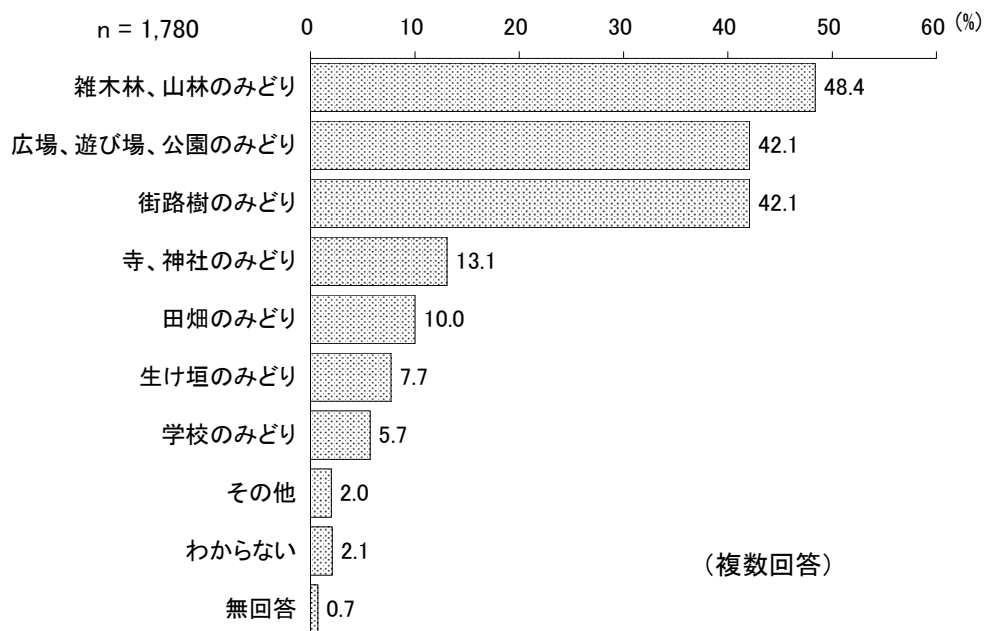
居住地地域別にみると、「庭木を植えている」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で6割台半ば（65.4%）と最も高く、「部屋やベランダに鉢物を置いている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で6割強（62.4%）と最も高くなっている。（図4-5-3）

4－6 「美しいみどり」で思いうかべること

◇「雑木林、山林のみどり」「広場、遊び場、公園のみどり」「街路樹のみどり」がそれぞれ4割以上

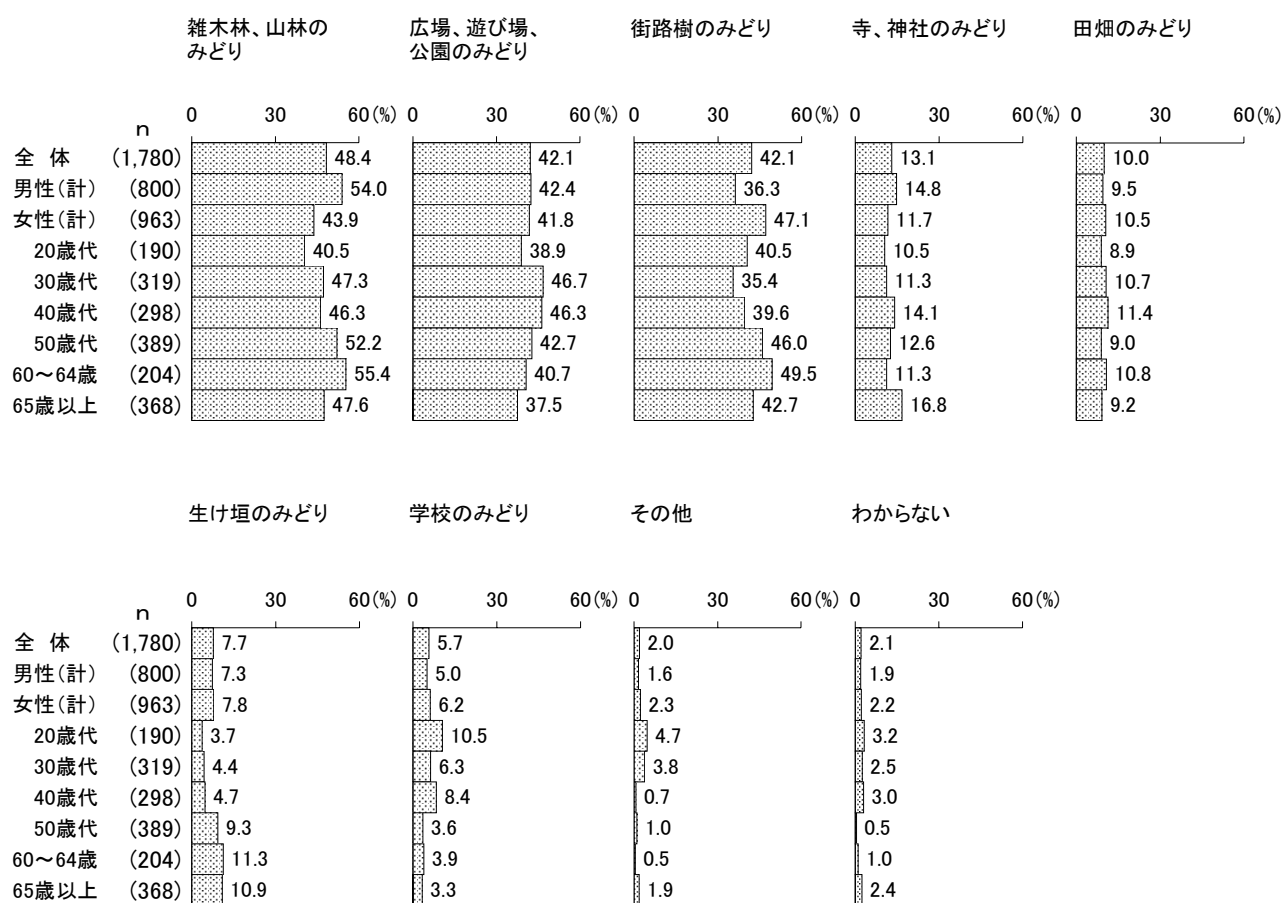
問7 お住まいの地域で「美しいみどり」といえば何を思いうかべますか。(○は2つまで)

図4－6－1



「美しいみどり」で思いうかべることを聞いたところ、「雑木林、山林のみどり」が5割弱(48.4%)で最も高く、以下、「広場、遊び場、公園のみどり」(42.1%)、「街路樹のみどり」(42.1%)の順で続いている。(図4－6－1)

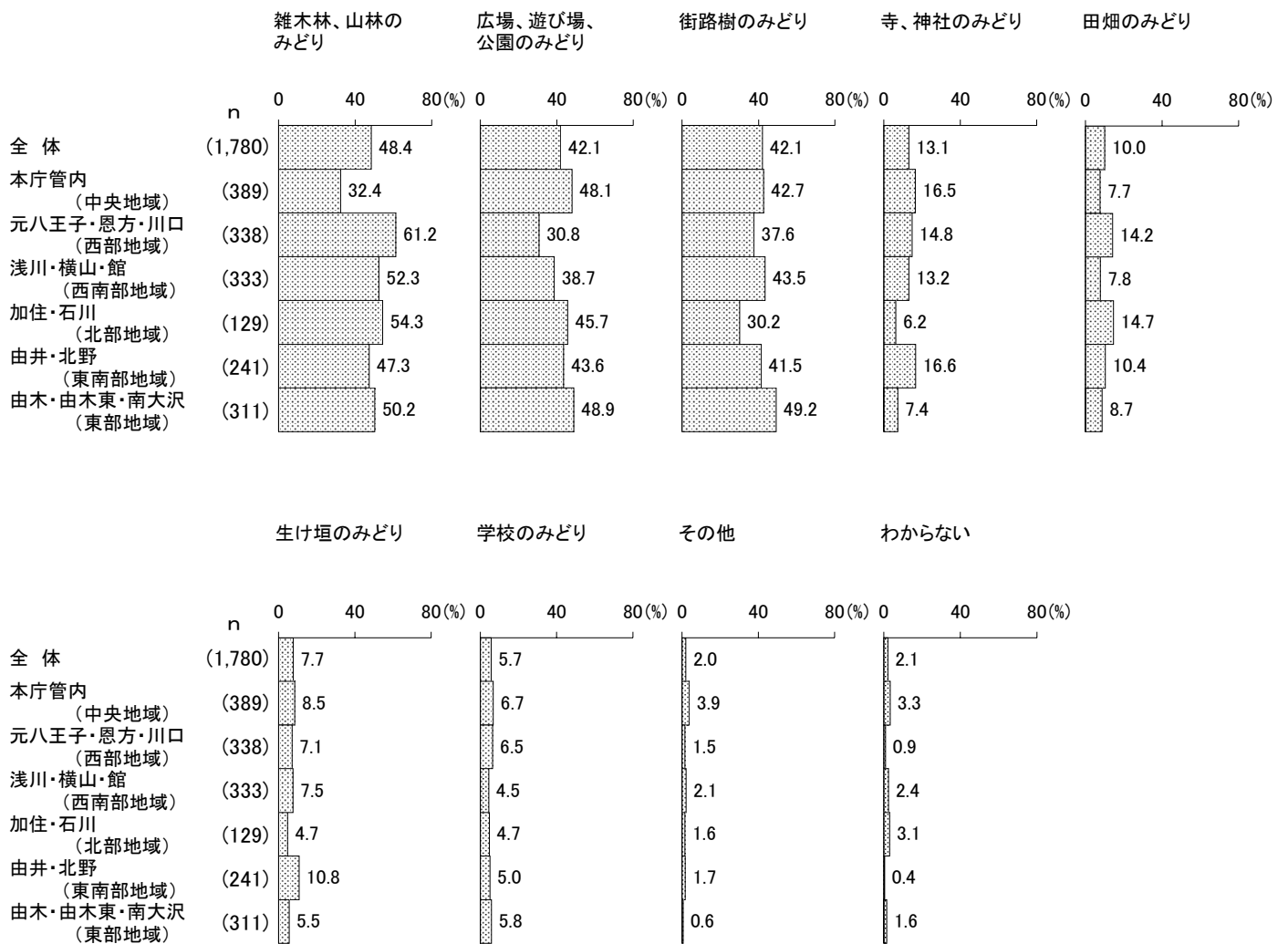
図 4-6-2 「美しいみどり」で思いうかべること－性別・年齢別



性別にみると、「雑木林、山林のみどり」は男性のほうが10.1ポイント高く、「街路樹のみどり」は女性のほうが10.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広場、遊び場、公園のみどり」は30歳以降、年齢が高くなるほど割合が減少する傾向がみられる。(図4-6-2)

図 4-6-3 「美しいみどり」で思いうかべることー居住地域別



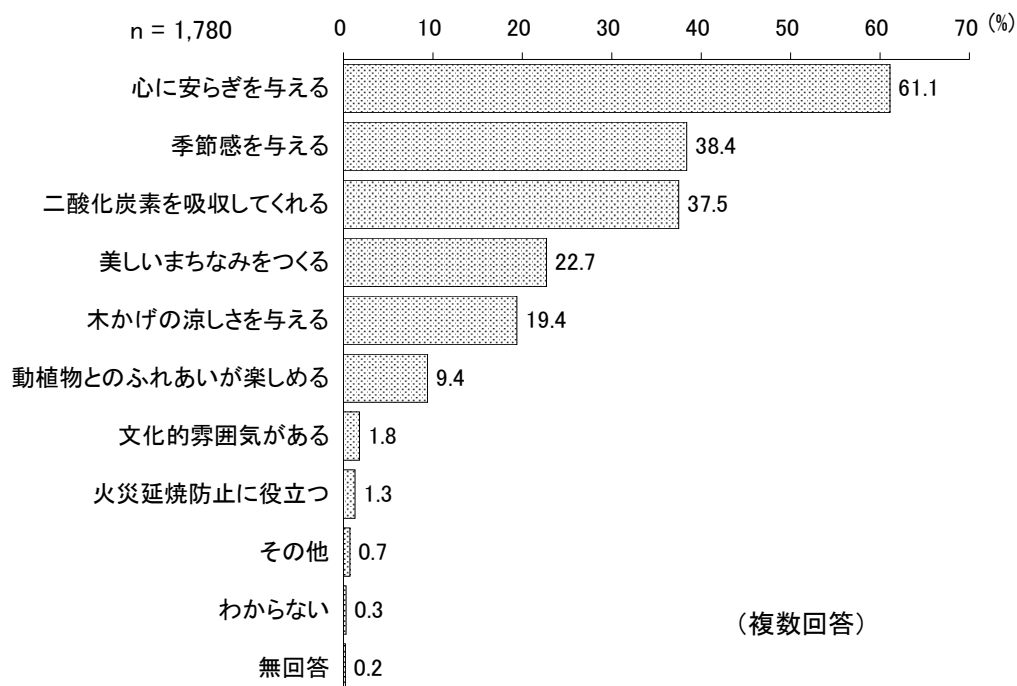
居住地域別にみると、「雑木林、山林のみどり」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で6割強（61.2%）と最も高く、「街路樹のみどり」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約5割（49.2%）と高くなっている。（図4-6-3）

4-7 みどりの役割

◇「心に安らぎを与える」が6割強と突出

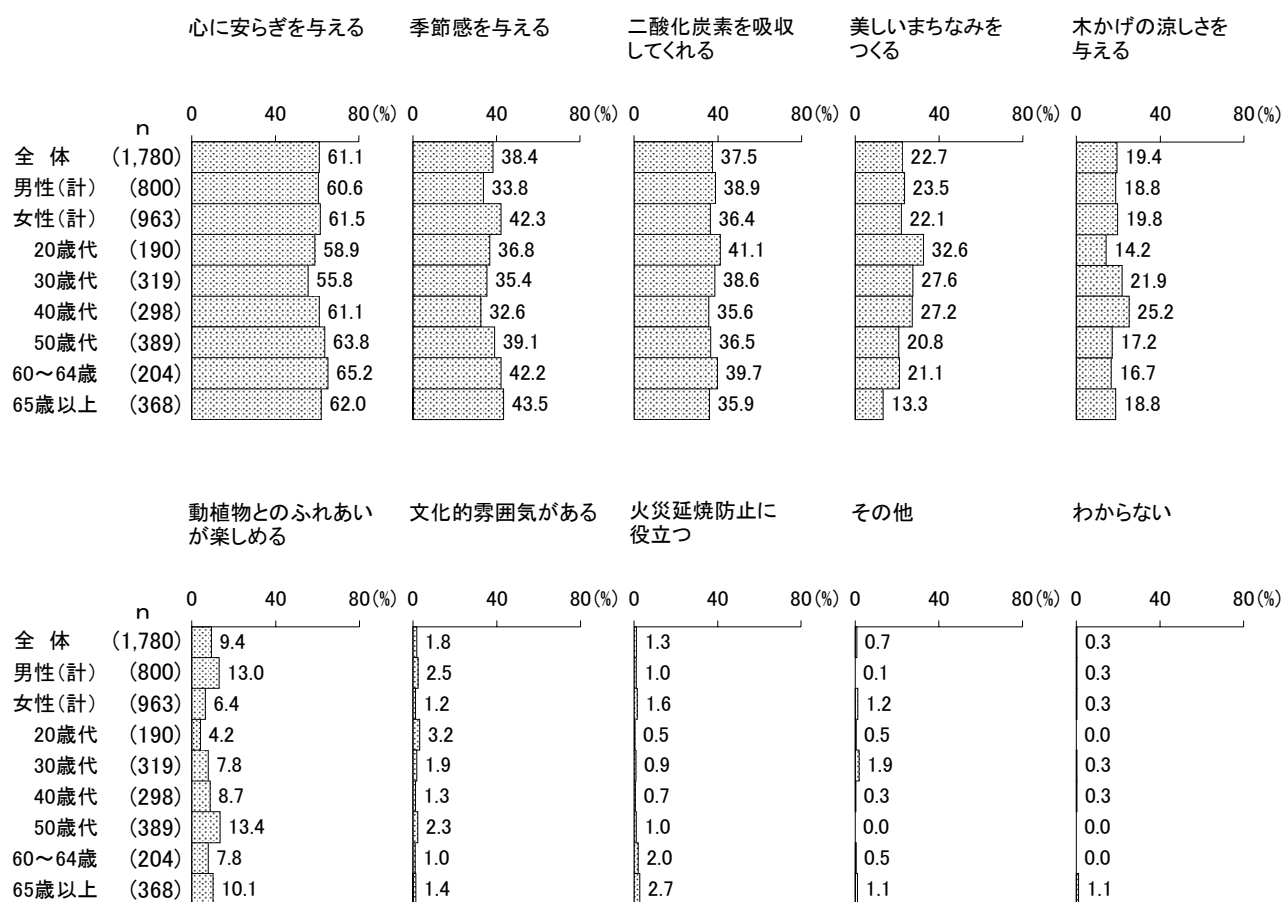
問8 みどりには、いろいろな役割があると思いますが、あなたが大切だと思うのはどれですか。(〇は2つまで)

図4-7-1



大切だと思うみどりの役割を聞いたところ、「心に安らぎを与える」が6割強（61.1%）と突出して高く、以下、「季節感を与える」（38.4%）、「二酸化炭素を吸収してくれる」（37.5%）、「美しいまちなみをつくる」（22.7%）の順で続いている。（図4-7-1）

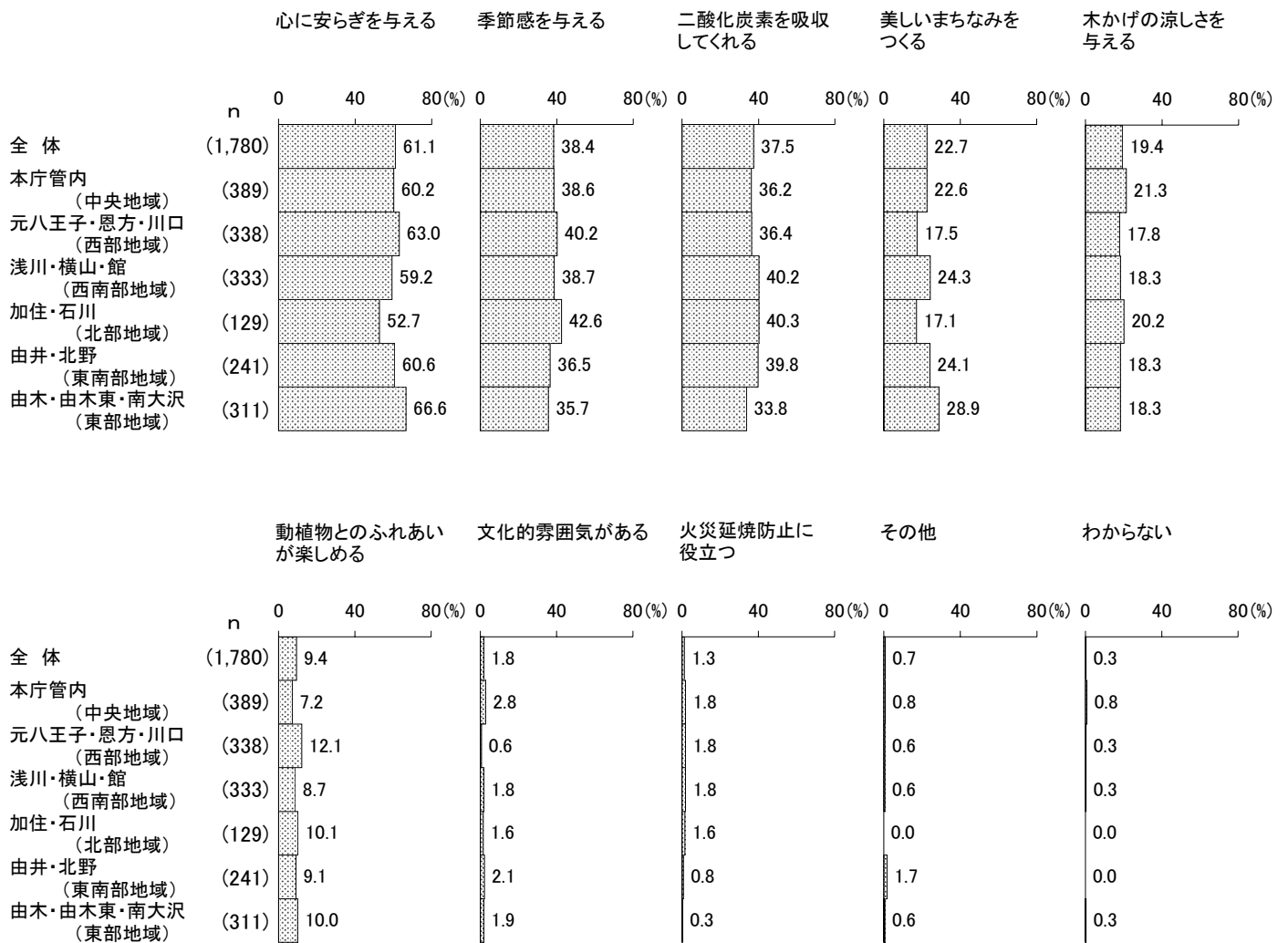
図４－７－２ みどりの役割－性別・年齢別



性別にみると、「季節感を与える」は女性のほうが8.5ポイント高く、「動植物とのふれあいが楽しめる」は男性のほうが6.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「美しいまちなみをつくる」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられる。(図４－７－２)

図 4-7-3 みどりの役割—居住地域別



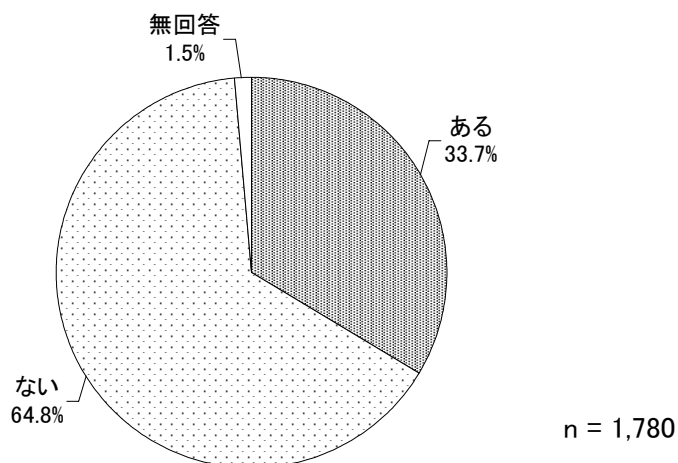
居住地域別にみると、「心に安らぎを与える」「美しいまちなみをつくる」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で比較的高くなっている。（図 4-7-3）

4－8 みどりがあつたために迷惑だと思ふときの有無

◇「ない」が6割台半ば

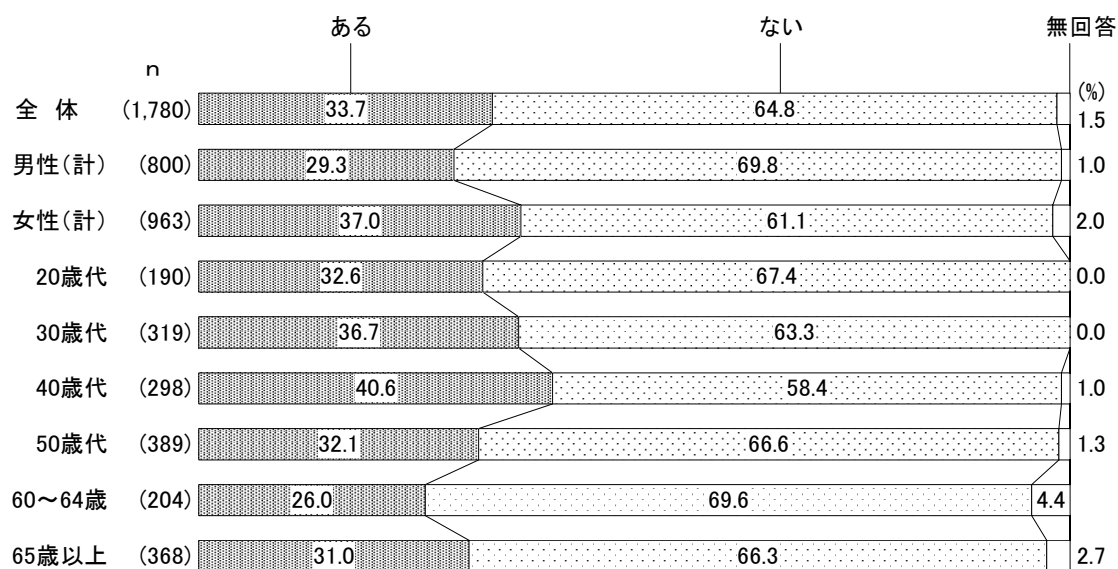
問9 みどりがあつたために迷惑だと思ふときがありますか。(○は1つだけ)

図4－8－1



みどりがあつたために迷惑だと思ふときの有無は、「ない」が6割台半ば(64.8%)で、「ある」(33.7%)を大きく上回っている。(図4－8－1)

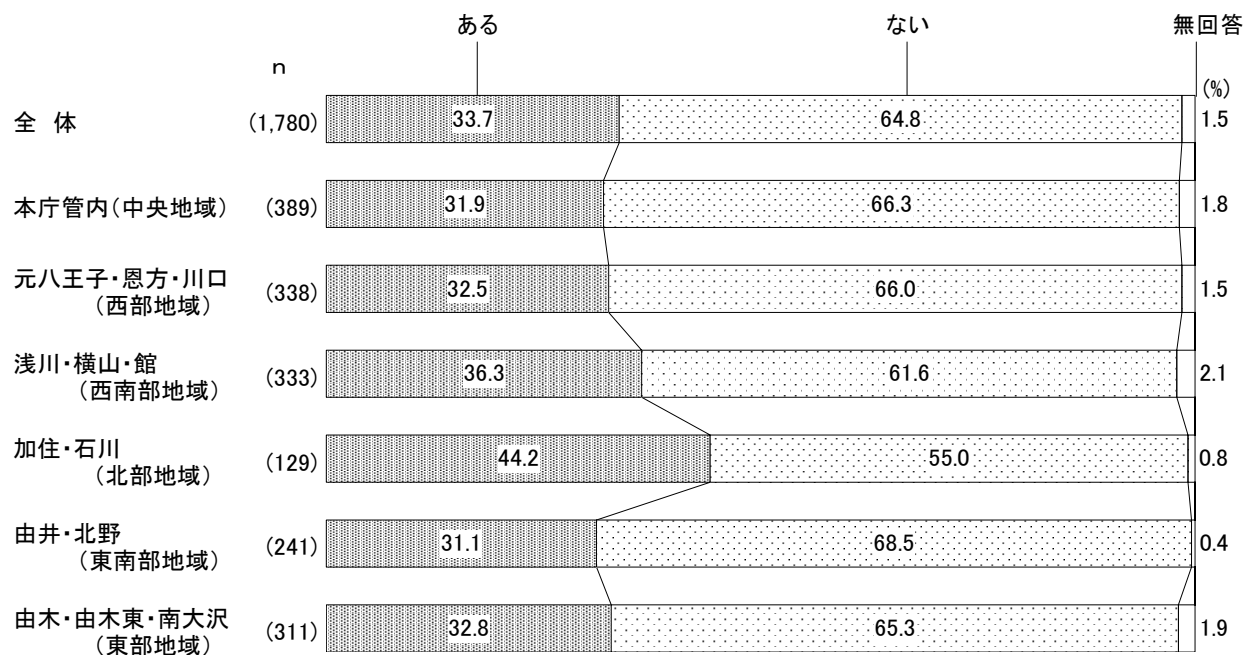
図4－8－2 みどりがあつたために迷惑だと思ふときの有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「ある」が7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代で「ある」が約4割(40.6%)と最も高くなっている。(図4－8－2)

図４－８－３ みどりがあるために迷惑だと思ふときの有無－居住地域別



居住地域別にみると、加住・石川（北部地域）で「ある」が４割台半ば（44.2%）と最も高くなっている。（図４－８－３）

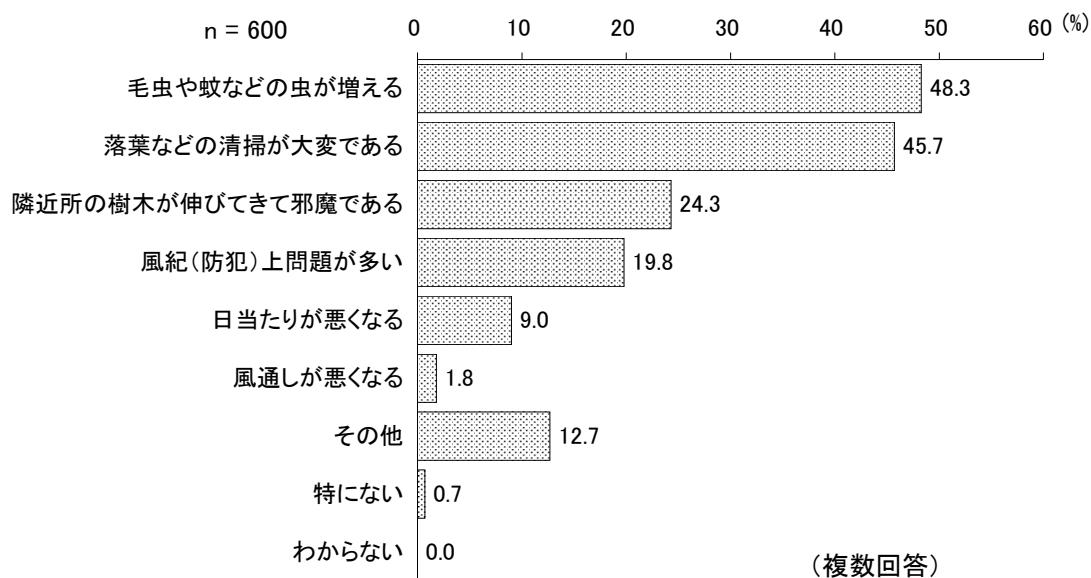
4－9 みどりで迷惑と思うこと

◇「毛虫や蚊などの虫が増える」「落葉などの清掃が大変である」が突出

（問9で「ある」とお答えの方に）

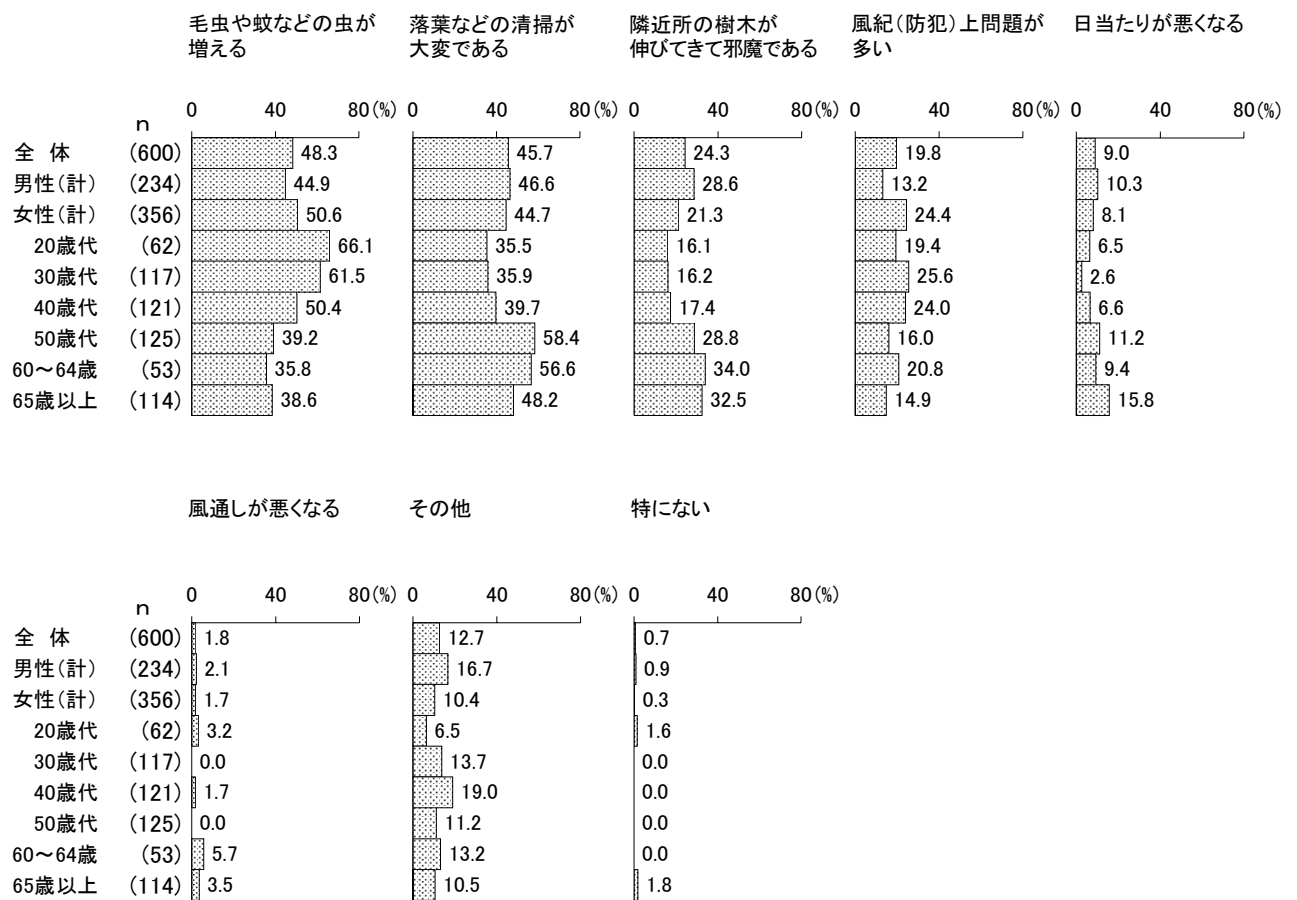
問9－1 迷惑と思うのはどのようなことですか。（○は2つまで）

図4－9－1



みどりがあるために迷惑だと思うときに「ある」と答えた人（600人）に、みどりで迷惑と思うことを聞いたところ、「毛虫や蚊などの虫が増える」（48.3%）、「落葉などの清掃が大変である」（45.7%）の2項目が4割台で突出して高く、以下、「隣近所の樹木が伸びてきて邪魔である」（24.3%）、「風紀（防犯）上問題が多い」（19.8%）の順で続いている。（図4－9－1）

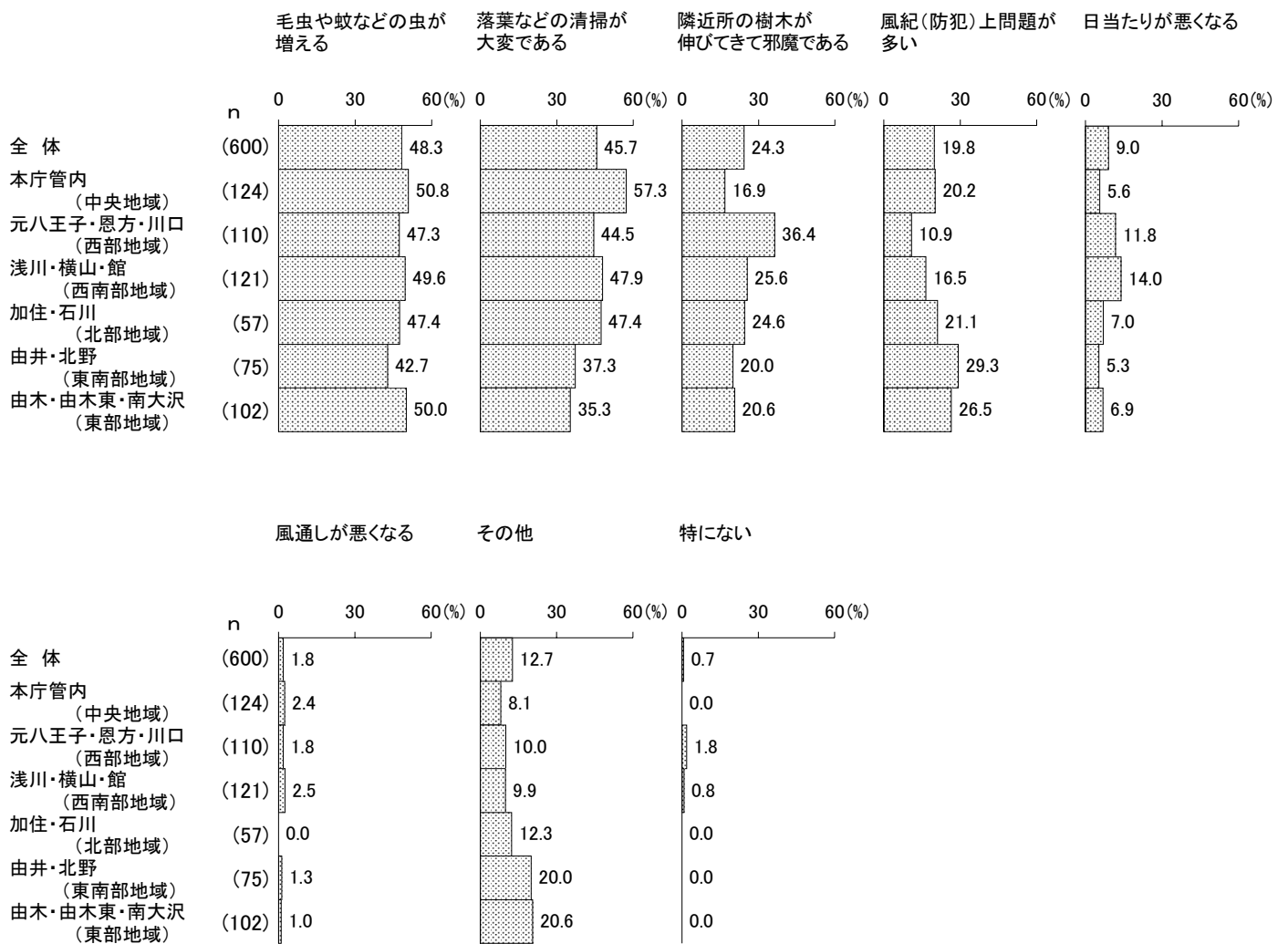
図 4-9-2 みどりで迷惑と思うこと一性別・年齢別



性別にみると、「隣近所の樹木が伸びてきて邪魔である」は男性のほうが7.3ポイント高く、「風紀(防犯)上問題が多い」は女性のほうが11.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳以上では「落葉などの清掃が大変である」が5割弱～6割弱と高く、20歳代～40歳代では「毛虫や蚊などの虫が増える」が過半数を占めている。(図4-9-2)

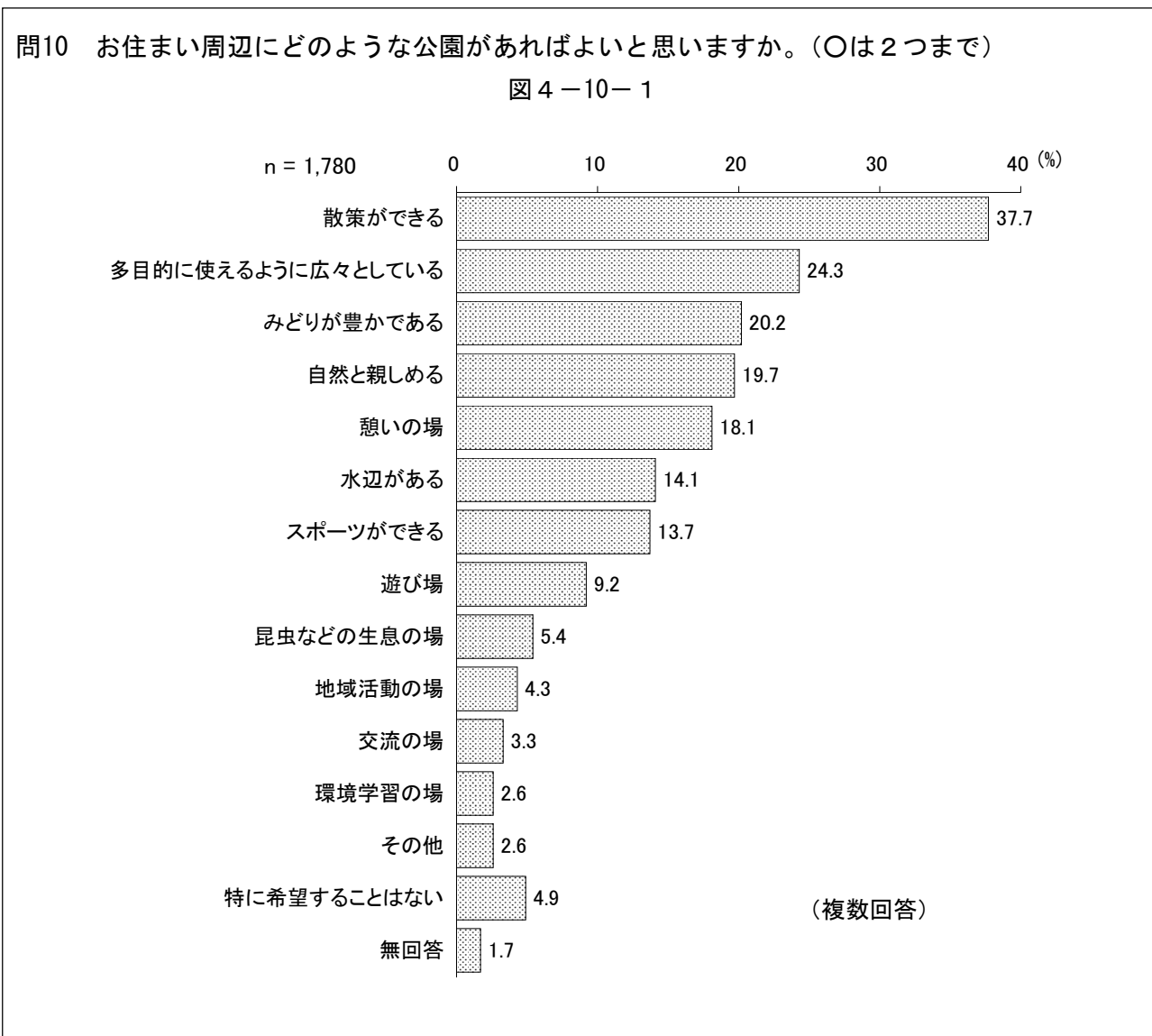
図４－９－３ みどりで迷惑と思うこと－居住地域別



居住地域別にみると、「落葉などの清掃が大変である」は本庁管内（中央地域）で6割弱（57.3%）と高く、「隣近所の樹木が伸びてきて邪魔である」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で3割台半ば（36.4%）と比較的高くなっている。（図４－９－３）

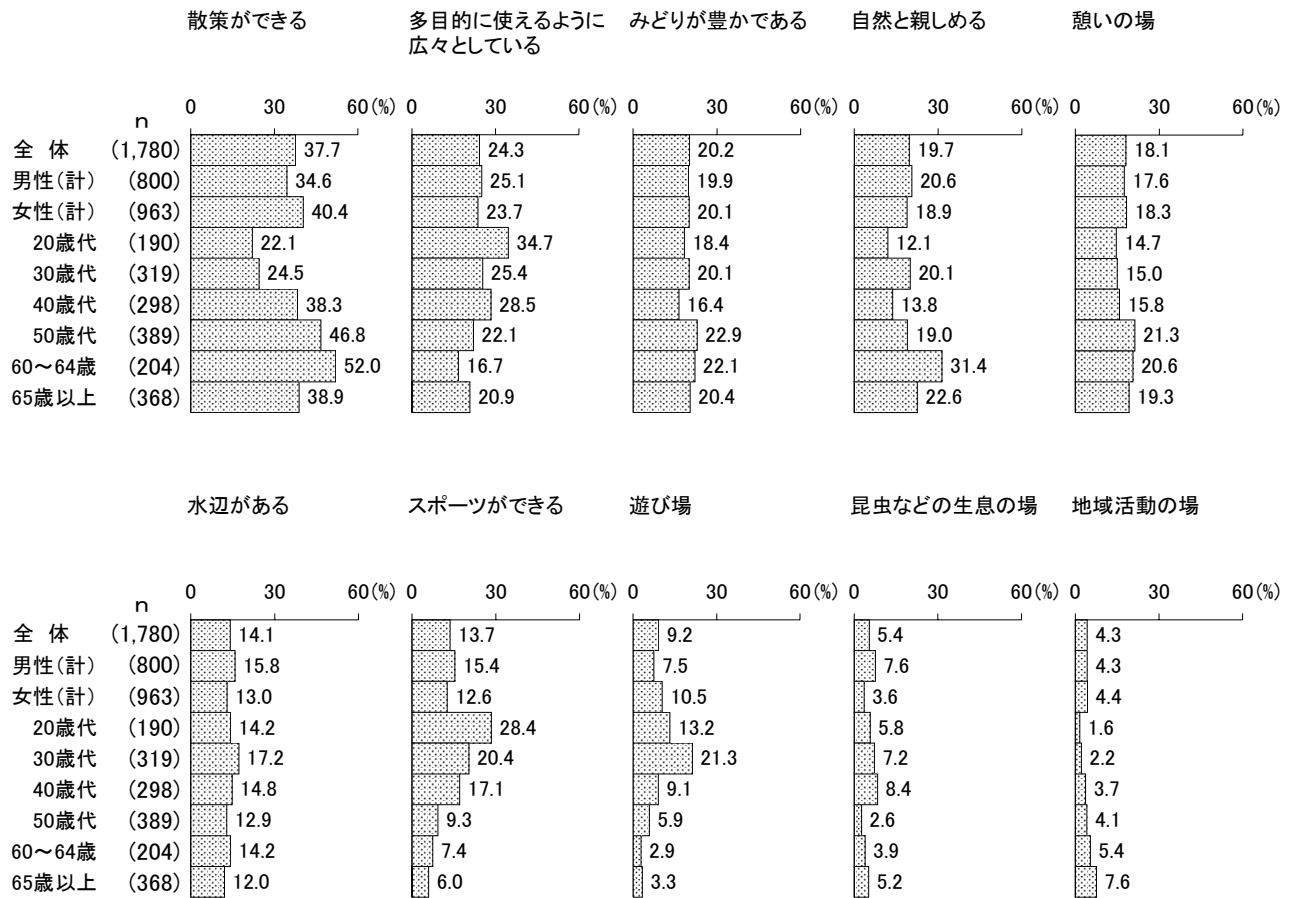
4-10 公園に対する希望

◇「散策ができる」が4割弱と突出



お住まい周辺にどのような公園があればよいか聞いたところ、「散策ができる」が4割弱（37.7%）と突出して高く、以下、「多目的に使えるように広々としている」（24.3%）、「みどりが豊かである」（20.2%）、「自然と親しめる」（19.7%）、「憩いの場」（18.1%）の順で続いている。（図4-10-1）

図 4-10-2 公園に対する希望－性別・年齢別（上位10項目）

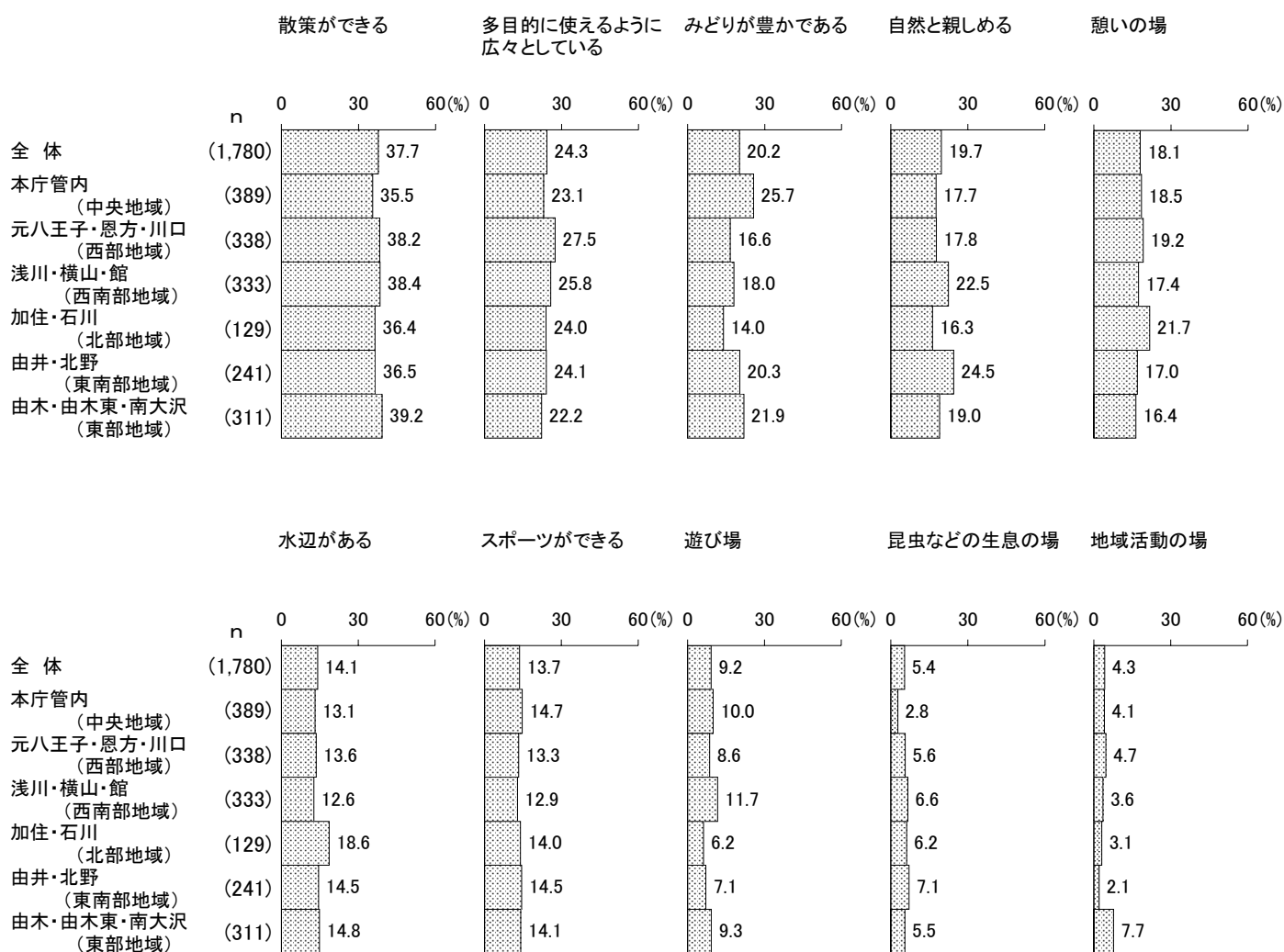


性別にみると、「散策ができる」は女性のほうが5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「散策ができる」は年齢が高くなるほど割合が増加し、「多目的に使えるように広々としている」「スポーツができる」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられる。

(図 4-10-2)

図 4-10-3 公園に対する希望－居住地域別（上位10項目）



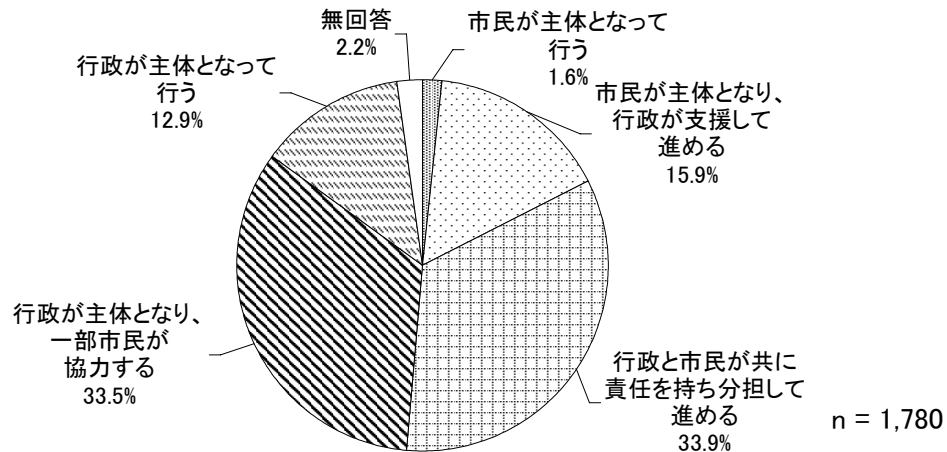
居住地域別にみると、「みどりが豊かである」は本庁管内（中央地域）で2割台半ば（25.7%）と比較的高くなっている。（図 4-10-3）

4-11 みどりの環境づくりを行う主体

◇「行政と市民が共に責任を持ち分担して進める」「行政が主体となり、一部市民が協力する」がともに3割強で拮抗

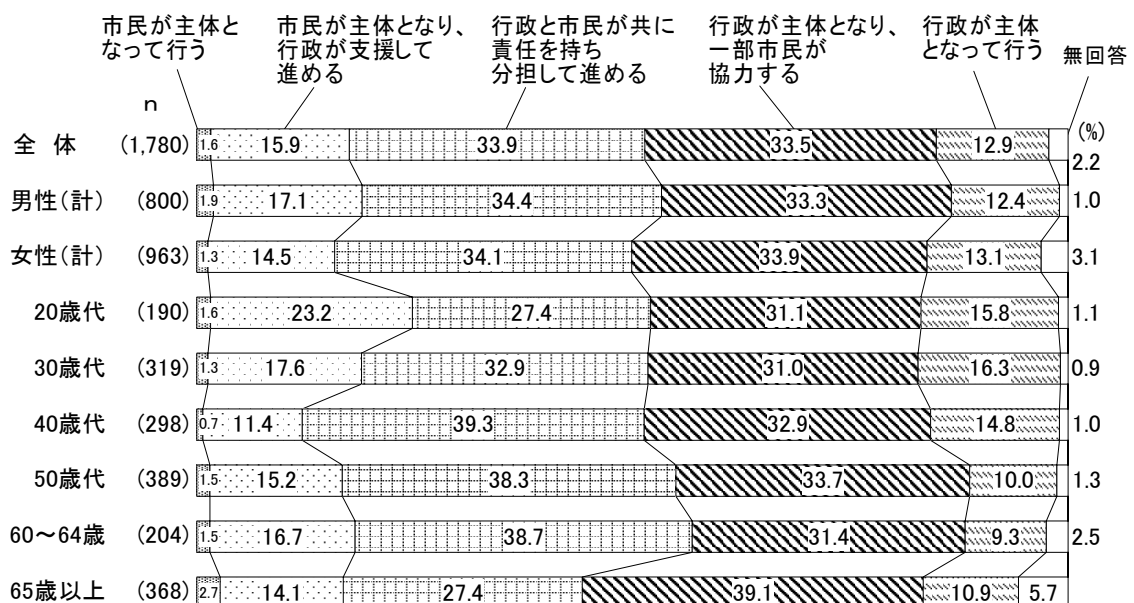
問11 今後、みどりの環境づくり（維持・管理なども含む）をどのように行えばよいと思いますか。（○は1つだけ）

図4-11-1



みどりの環境づくりを行う主体について聞いたところ、「行政と市民が共に責任を持ち分担して進める」が3割強（33.9%）、「行政が主体となり、一部市民が協力する」が3割強（33.5%）で拮抗している。以下は、「市民が主体となり、行政が支援して進める」（15.9%）、「行政が主体となって行う」（12.9%）、「市民が主体となって行う」（1.6%）の順となっている。（図4-11-1）

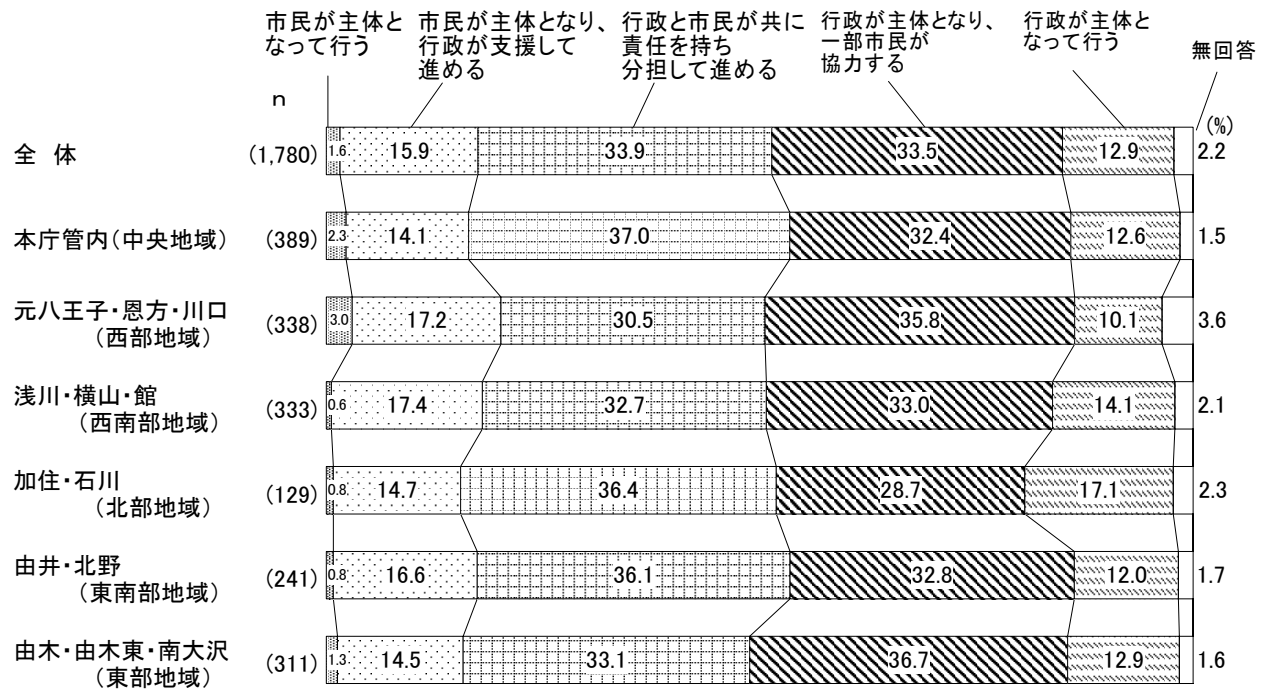
図4-11-2 みどりの環境づくりを行う主体—性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、20歳代で「市民が主体となり、行政が支援して進める」が23.2%と比較的高く、65歳以上で「行政が主体となり、一部市民が協力する」が39.1%と高くなっている。（図4-11-2）

図 4-11-3 みどりの環境づくりを行う主体—居住地域別



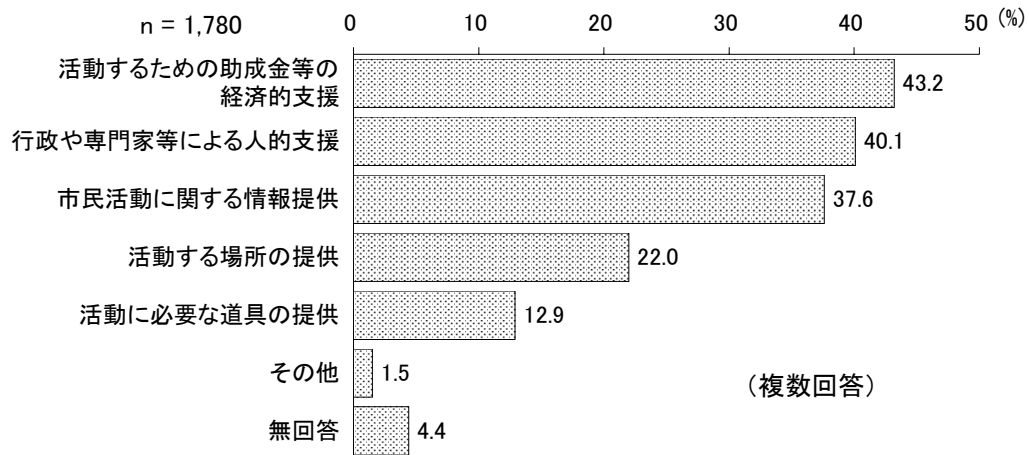
居住地域別にみると、加住・石川（北部地域）で「行政が主体となって行う」が2割弱（17.1%）と比較的高くなっている。（図 4-11-3）

4-12 みどりの環境づくりに関わる市民への支援

◇経済的支援、人的支援、情報提供がそれぞれ4割前後

問12 市民の方々がみどりの環境づくりに関わっていただくためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

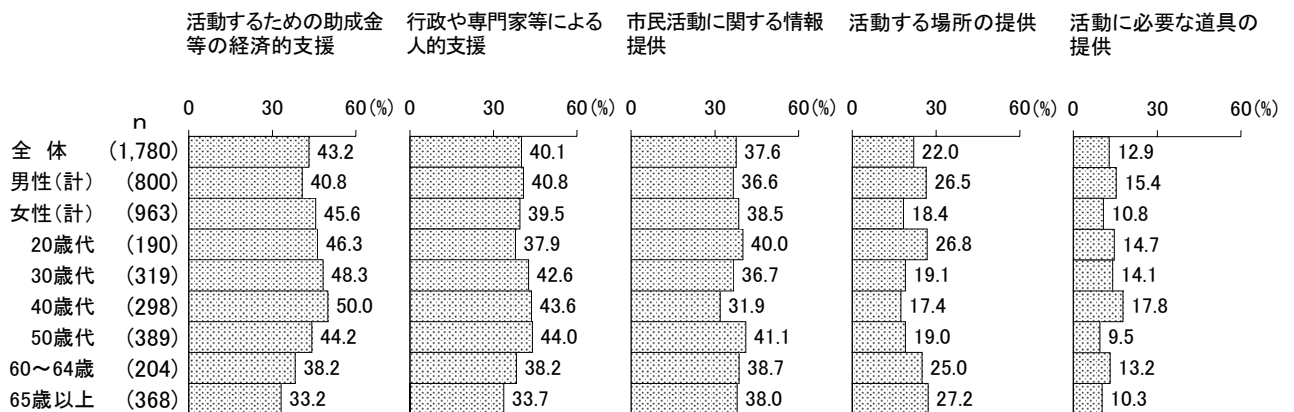
図4-12-1



みどりの環境づくりに関わる市民への支援について聞いたところ、「活動するための助成金等の経済的支援」が4割強（43.2%）で最も高く、以下、「行政や専門家等による人的支援」（40.1%）、「市民活動に関する情報提供」（37.6%）、「活動する場所の提供」（22.0%）の順で続いている。

(図4-12-1)

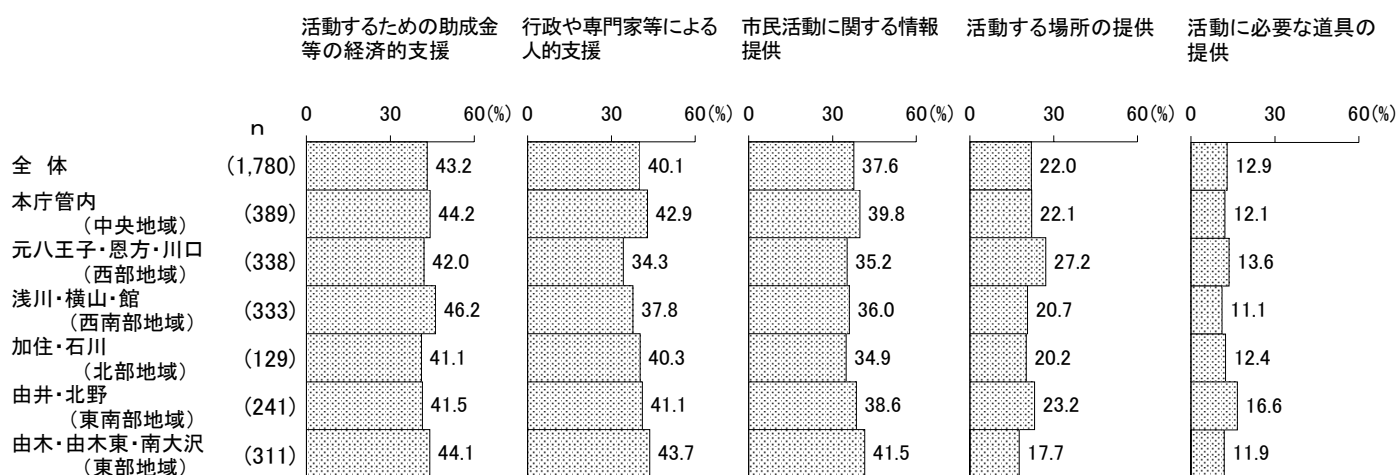
図4-12-2 みどりの環境づくりに関わる市民への支援—性別・年齢別



性別にみると、「活動する場所の提供」は男性のほうが8.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20歳代～40歳代で「活動するための助成金等の経済的支援」が4割台半ば～5割と高くなっている。(図4-12-2)

図 4-12-3 みどりの環境づくりに関わる市民への支援－居住地域別



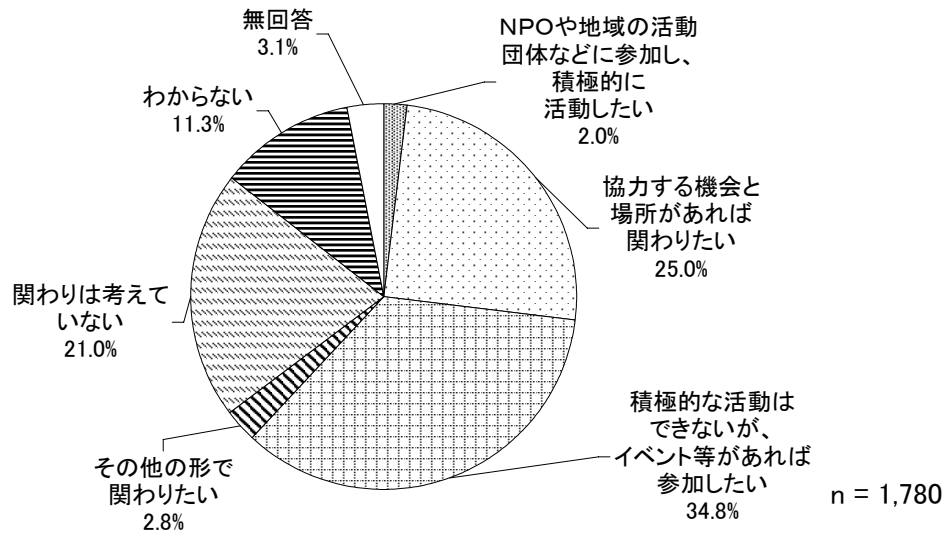
居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）で「活動する場所の提供」が3割弱（27.2%）と比較的高くなっている。（図 4-12-3）

4-13 みどりの環境づくりに関わる意向

◇『関わりたい』が6割台半ば

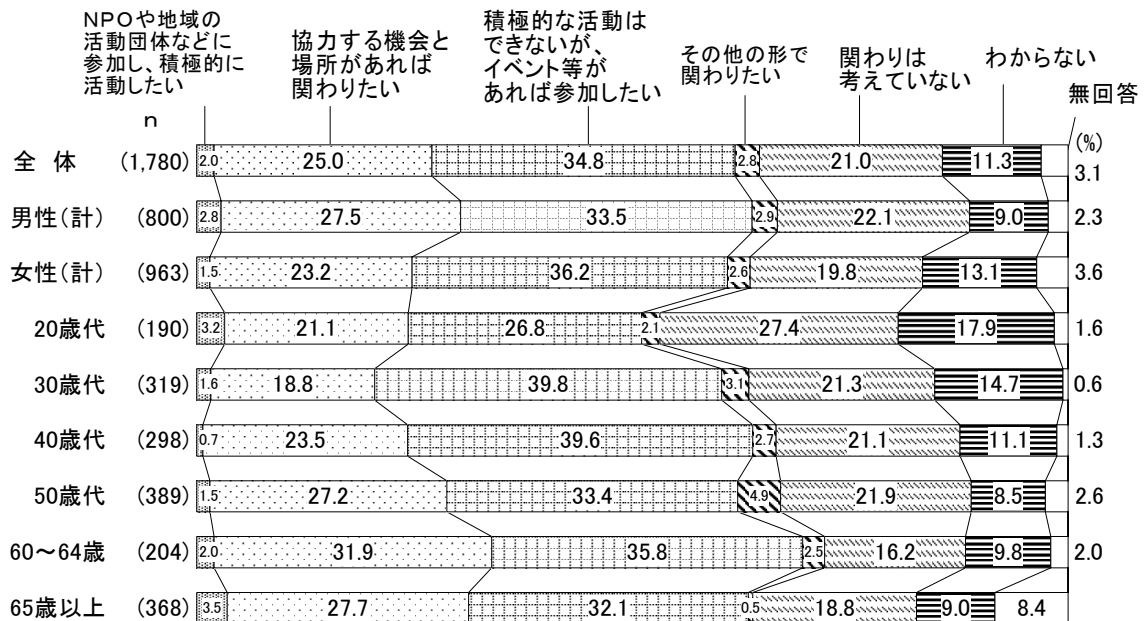
問13 みどりの環境づくりにどのように関わっていきたいと考えていますか。(○は1つだけ)

図4-13-1



みどりの環境づくりに関わる意向を聞いたところ、「積極的な活動はできないが、イベント等があれば参加したい」が3割台半ば（34.8%）で最も高く、以下、「協力する機会と場所があれば関わりたい」（25.0%）、「関わりは考えていない」（21.0%）、「その他の形で関わりたい」（2.8%）の順で続いている。何らかの形で『関わりたい』という回答は計64.6%である。（図4-13-1）

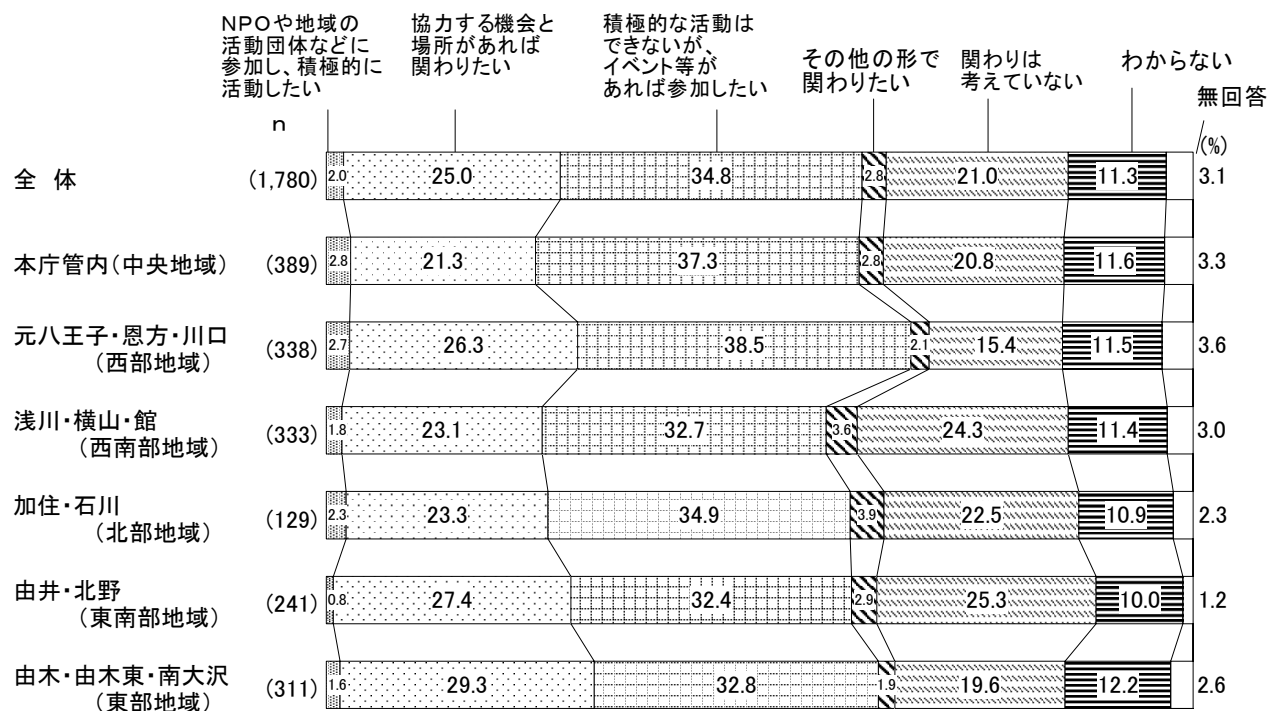
図4-13-2 みどりの環境づくりに関わる意向－性別・年齢別



性別にみると、「協力する機会と場所があれば関わりたい」は男性のほうが4.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳以上で「協力する機会と場所があれば関わりたい」が3割前後と高くなっている。（図4-13-2）

図 4-13-3 みどりの環境づくりに関わる意向－居住地域別



居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）で「関わりは考えていない」が15.4%と最も低く、みどりの環境づくりに関わる意向が高くなっている。（図 4-13-3）

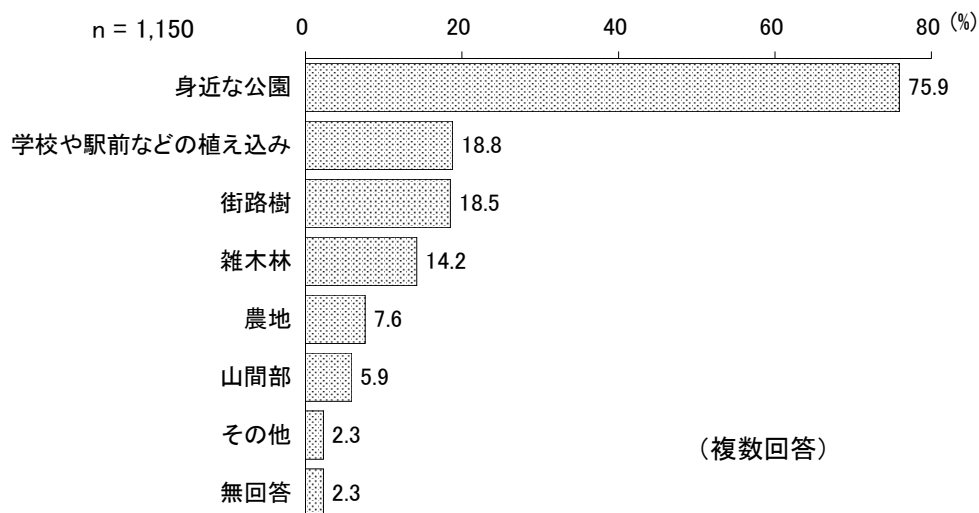
4-14 みどりの環境づくりに関わる場所

◇「身近な公園」が7割台半ばと突出

(問13でみどりの環境づくりに何らかの形で関わりたいとお答えの方に)

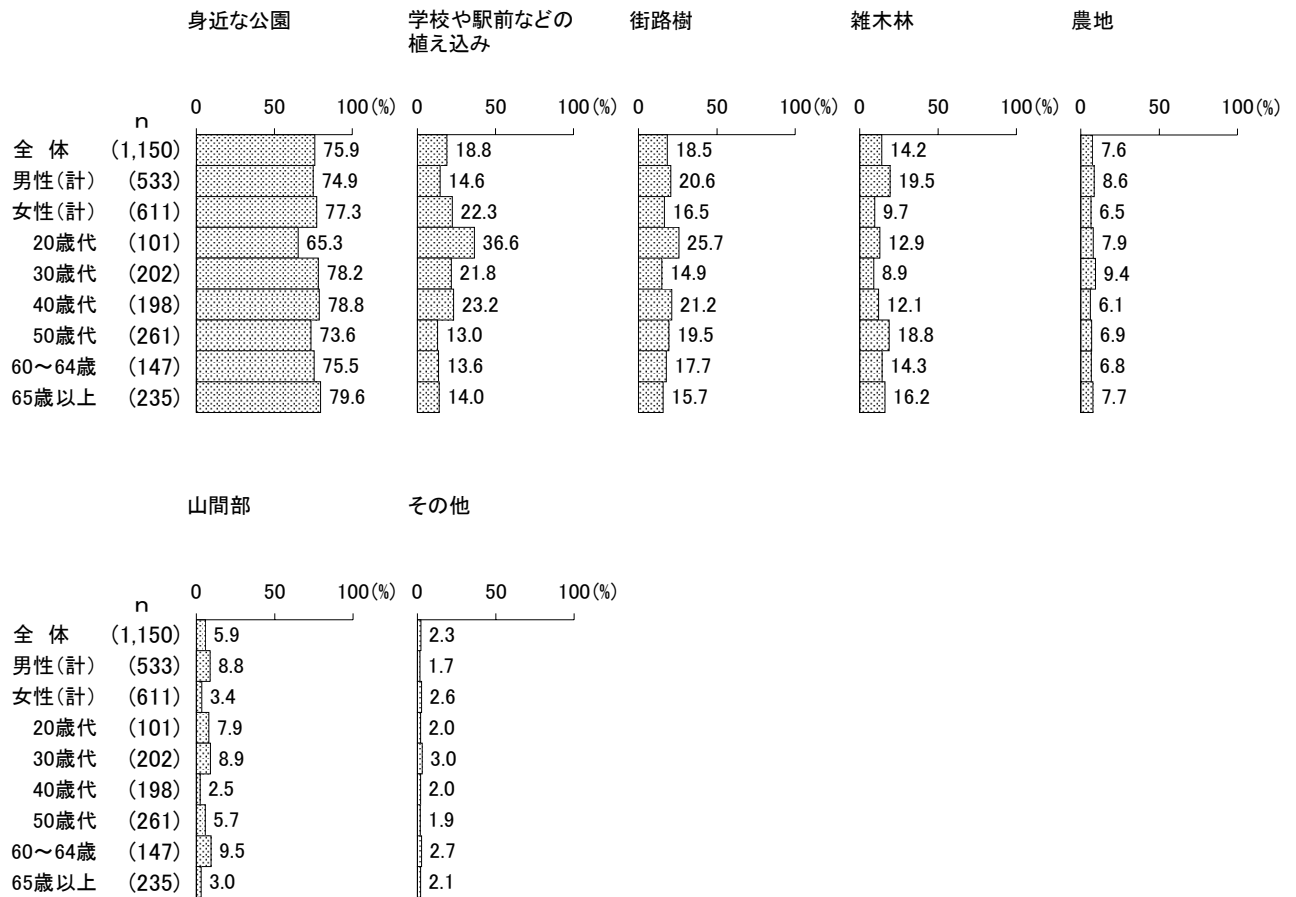
問13-1 参加したり、協力する場合、どこで活動したいと思いますか。(○は2つまで)

図4-14-1



みどりの環境づくりに何らかの形で関わりたいと回答した人(1,150人)に、みどりの環境づくりに関わりたい場所を聞いたところ、「身近な公園」が7割台半ば(75.9%)と突出して高く、以下、「学校や駅前などの植え込み」(18.8%)、「街路樹」(18.5%)、「雑木林」(14.2%)、「農地」(7.6%)、「山間部」(5.9%)の順が続いている。(図4-14-1)

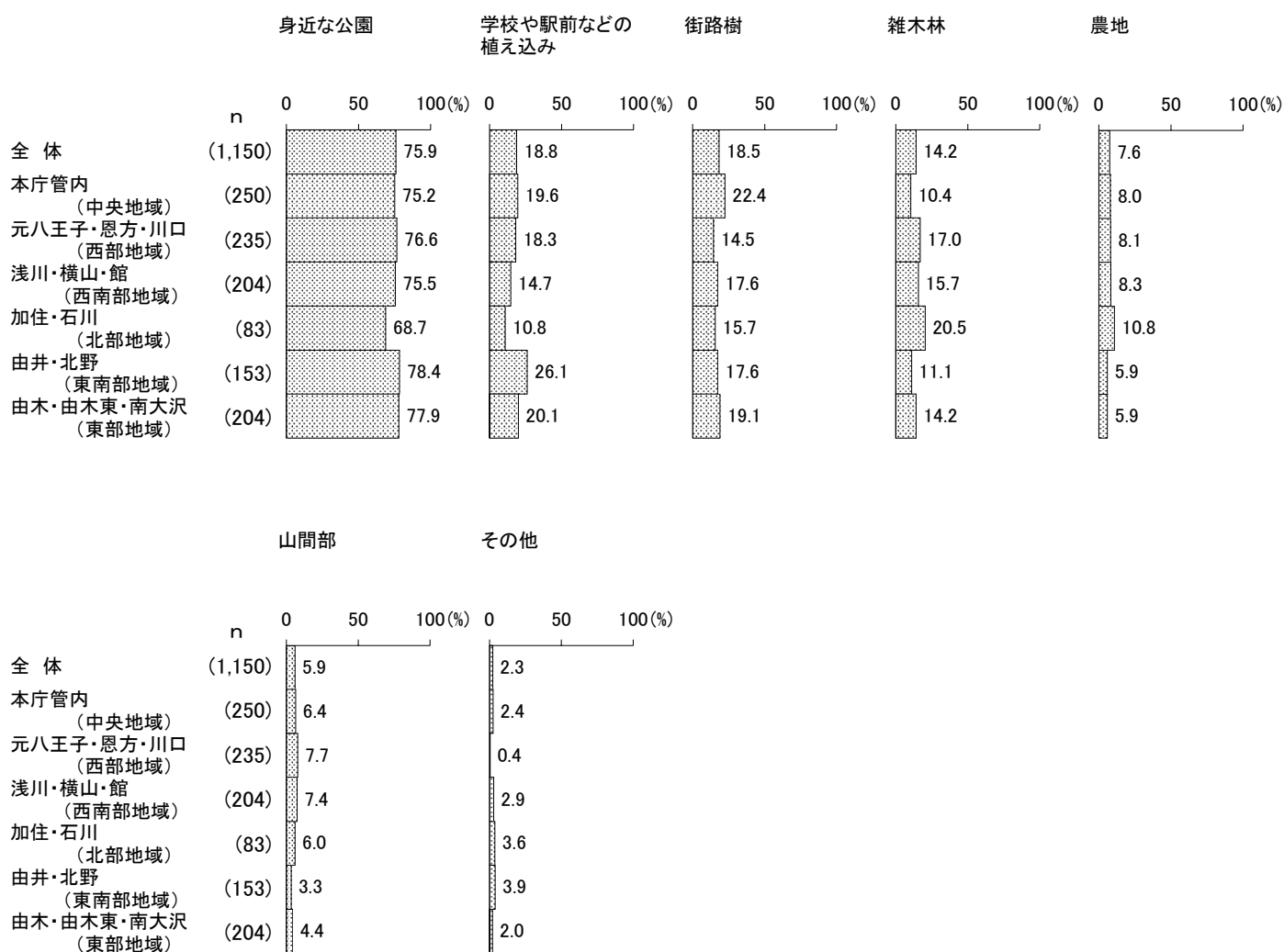
図 4-14-2 みどりの環境づくりに関わる場所－性別・年齢別



性別にみると、「学校や駅前などの植え込み」は女性のほうが7.7ポイント高く、「雑木林」は男性のほうが9.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「学校や駅前などの植え込み」は、20歳代で3割台半ば（36.6%）と高くなっている。（図 4-14-2）

図 4-14-3 みどりの環境づくりに関わる場所－居住地域別



居住地域別にみると、「学校や駅前などの植え込み」は由井・北野（東南部地域）で高く、「街路樹」は本庁管内（中央地域）で高く、「雑木林」は加住・石川（北部地域）で高くなっている。

(図 4-14-3)

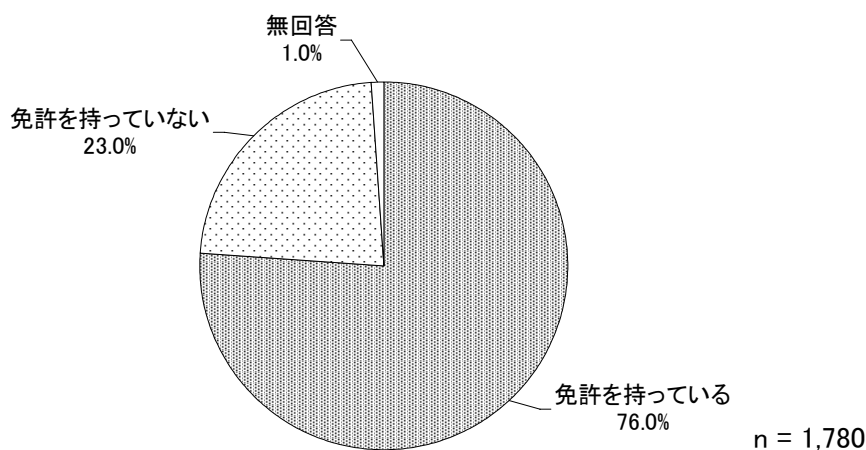
5. 道路整備に対する意識について

5-1 自動車運転免許の有無

◇76%が自動車運転免許所有

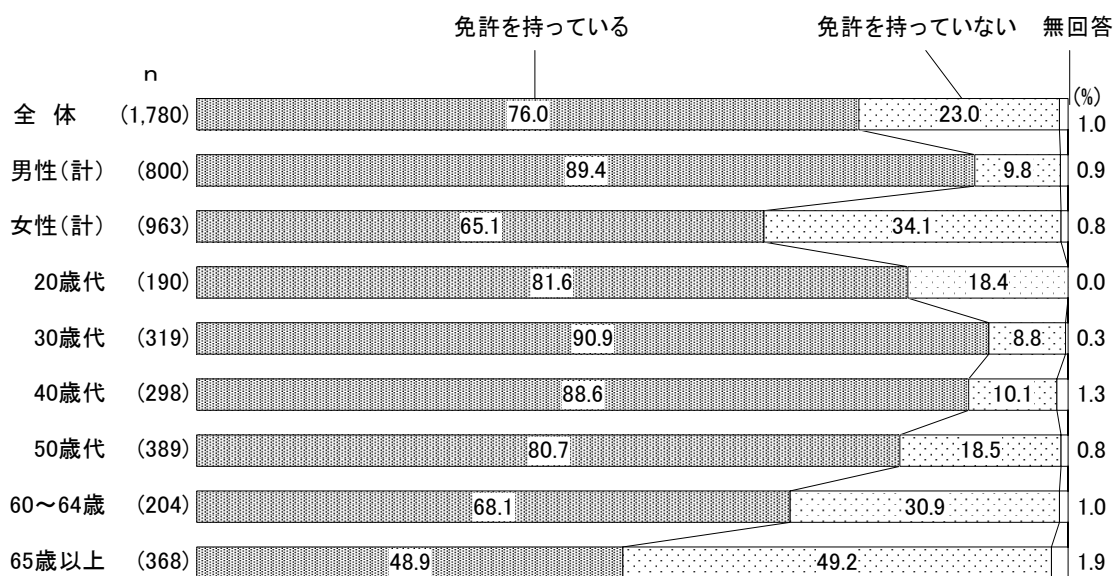
問15 あなたは、自動車運転免許を持っていますか。(○は1つだけ)

図5-1-1



自動車運転免許の有無を聞いたところ、「免許を持っている」が7割台半ば（76.0%）、「免許を持っていない」が2割強（23.0%）となっている。（図5-1-1）

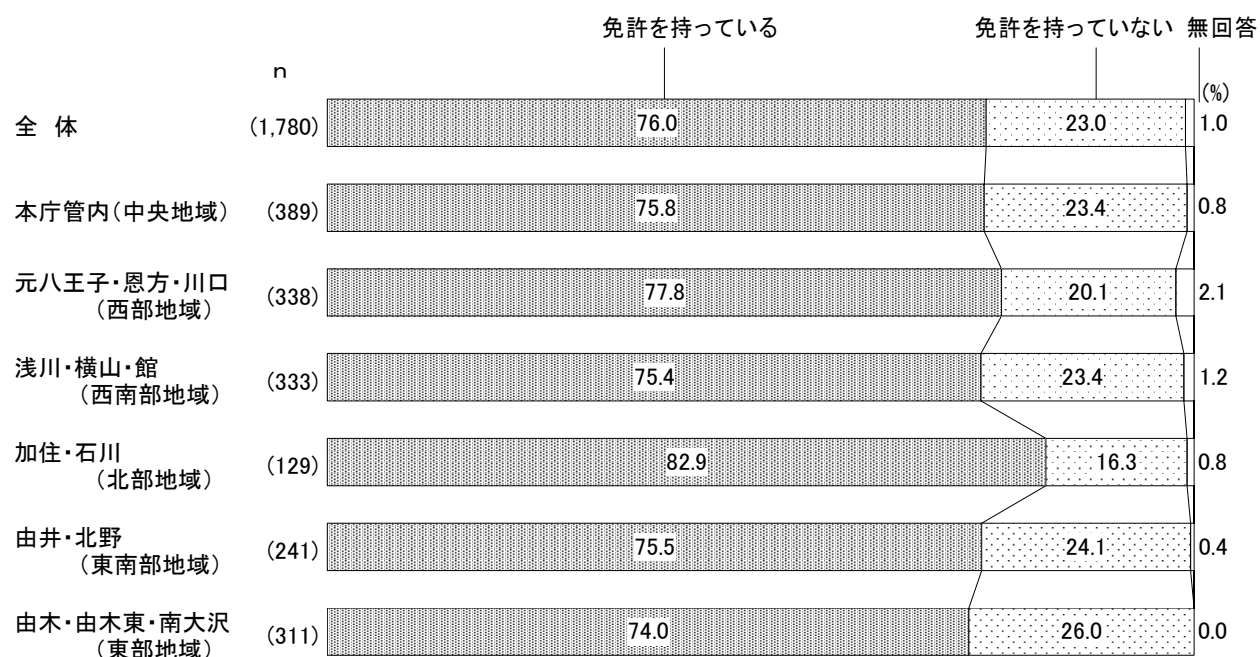
図5-1-2 自動車運転免許の有無－性別・年齢別



性別にみると、「免許を持っている」割合は男性のほうが24.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳代の90.9%をピークに年齢が高くなるほど「免許を持っている」割合が減少する傾向がみられる。（図5-1-2）

図 5－1－3 自動車運転免許の有無－居住地域別



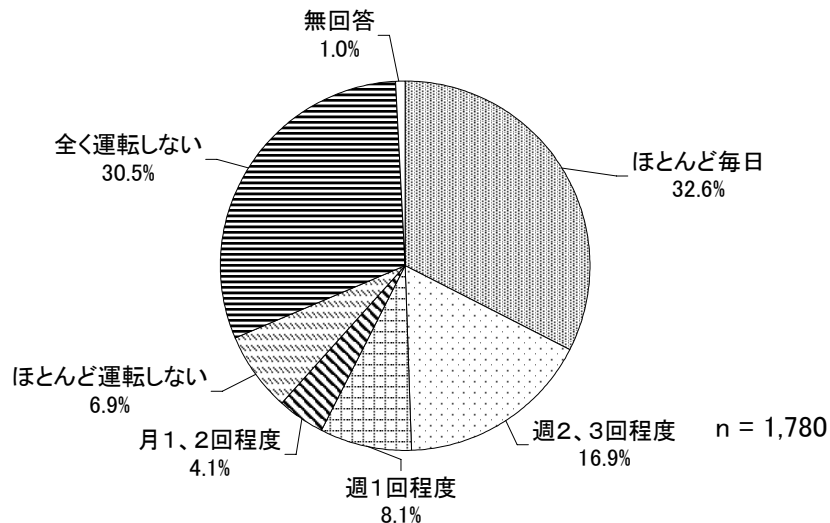
居住地域別にみると、「免許を持っている」割合は、加住・石川（北部地域）で8割強（82.9%）と最も高くなっている。（図 5－1－3）

5-2 自動車の運転頻度

◇「ほとんど毎日」「全く運転しない」がそれぞれ3割強

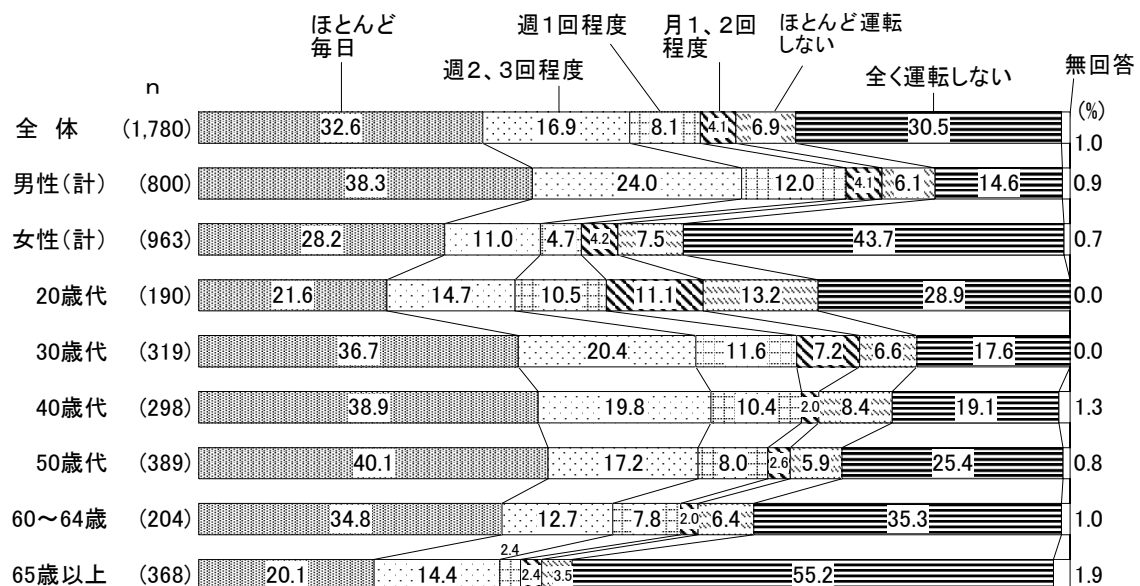
問16 あなたは、自動車を運転しますか。(○は1つだけ)

図5-2-1



自動車の運転頻度を聞いたところ、「ほとんど毎日」(32.6%)、「全く運転しない」(30.5%)が3割強で並んでいる。以下は、「週2、3回程度」(16.9%)、「週1回程度」(8.1%)、「ほとんど運転しない」(6.9%)の順で続いている。(図5-2-1)

図5-2-2 自動車の運転頻度－性別・年齢別

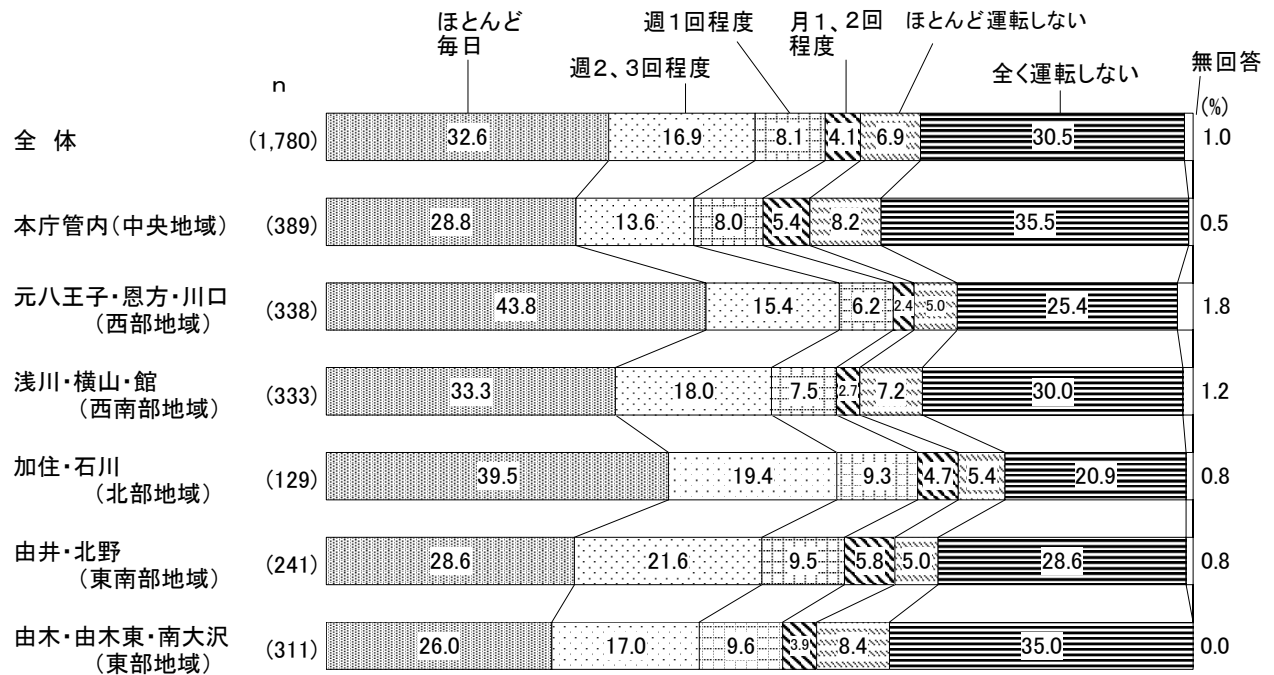


性別にみると、男性のほうが運転頻度が高い。

年齢別にみると、30歳代をピークに年齢が高くなるほど運転頻度が低くなる傾向がみられる。

(図5-2-2)

図 5－2－3 自動車の運転頻度－居住地域別



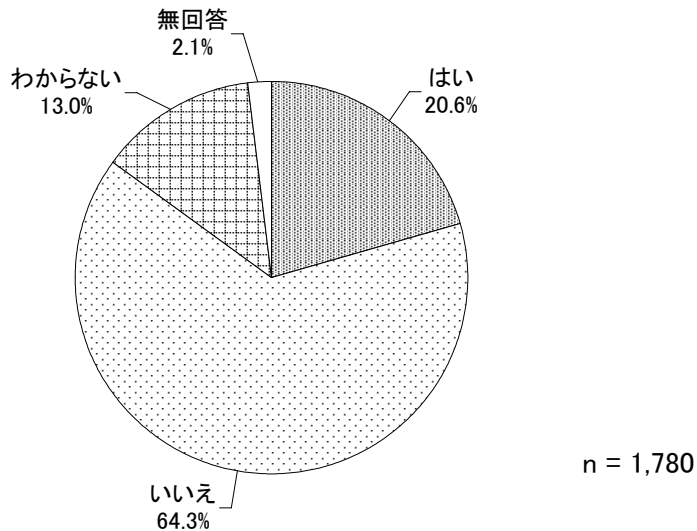
居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）、加住・石川（北部地域）で運転頻度が高くなっている。（図 5－2－3）

5－3 周辺道路の本数の不足

◇道路本数の不足を感じていない人が6割台半ば

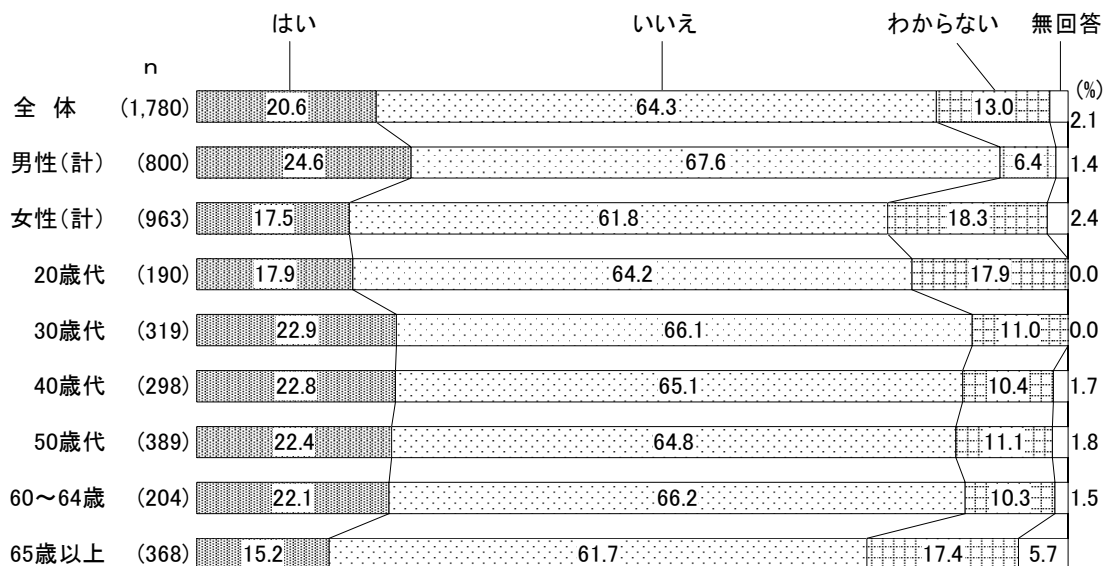
問17 お住まい周辺の道路の本数が足りないと感じていますか。(○は1つだけ)

図5－3－1



周辺道路の本数が足りないと感じるか聞いたところ、「いいえ」が6割台半ば（64.3%）、「はい」が20.6%、「わからない」が13.0%となっている。（図5－3－1）

図5－3－2 周辺道路の本数の不足－性別・年齢別

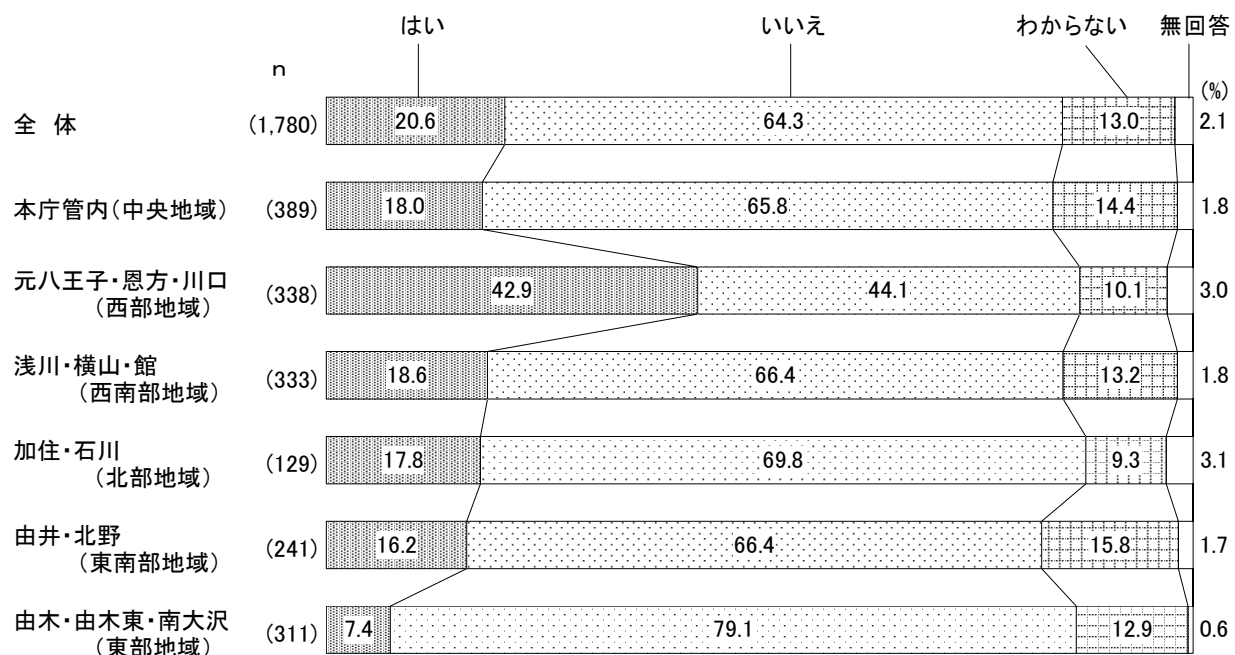


性別にみると、「はい」（不足を感じている）は男性のほうが7.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳代～64歳で「はい」（不足を感じている）が2割強と高くなっている。

（図5－3－2）

図 5－3－3 周辺道路の本数の不足－居住地域別



居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）で「はい」（不足を感じている）が４割強（４２．９％）と突出して高くなっている。（図５－３－３）

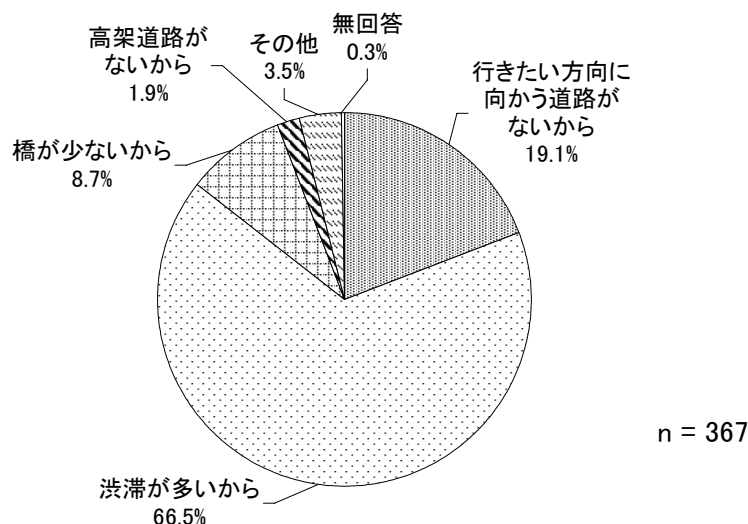
5-4 道路の本数が足りないと感じる理由

◇「渋滞が多いから」が6割台半ばと突出

(問17で「はい」とお答えの方に)

問17-1 道路の本数が足りないと感じている理由は、次のどれですか。(○は1つだけ)

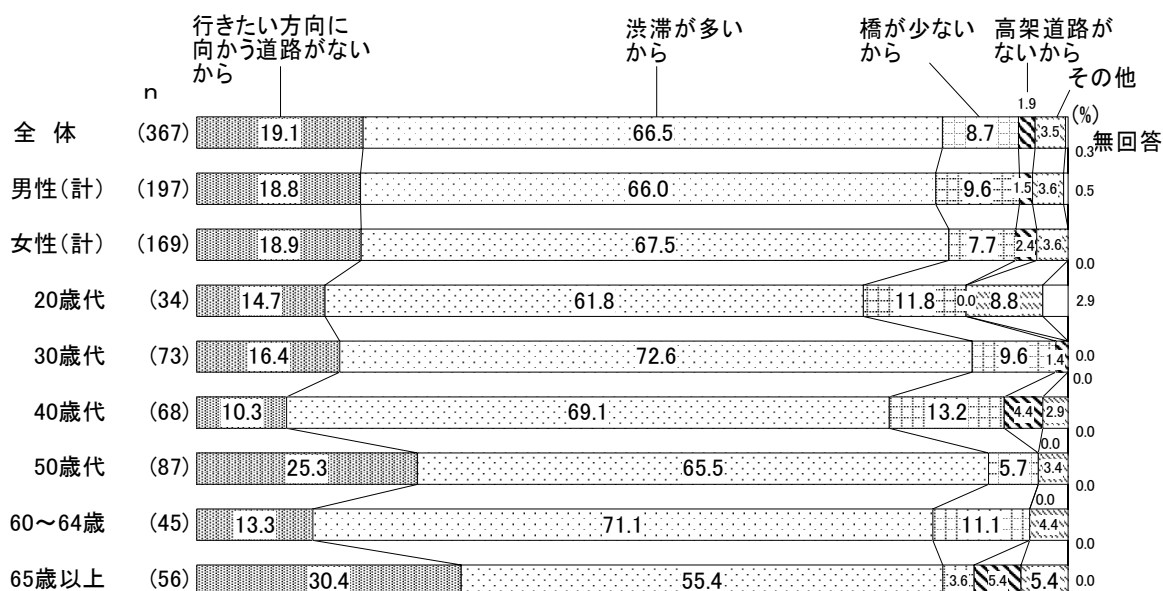
図5-4-1



周辺道路の本数が足りないと回答した人(367人)に、道路の本数が足りないと感じる理由を聞いたところ、「渋滞が多いから」が6割台半ば(66.5%)と突出して高く、以下、「行きたい方向に向かう道路がないから」(19.1%)、「橋が少ないから」(8.7%)、「高架道路がないから」(1.9%)の順となっている。

(図5-4-1)

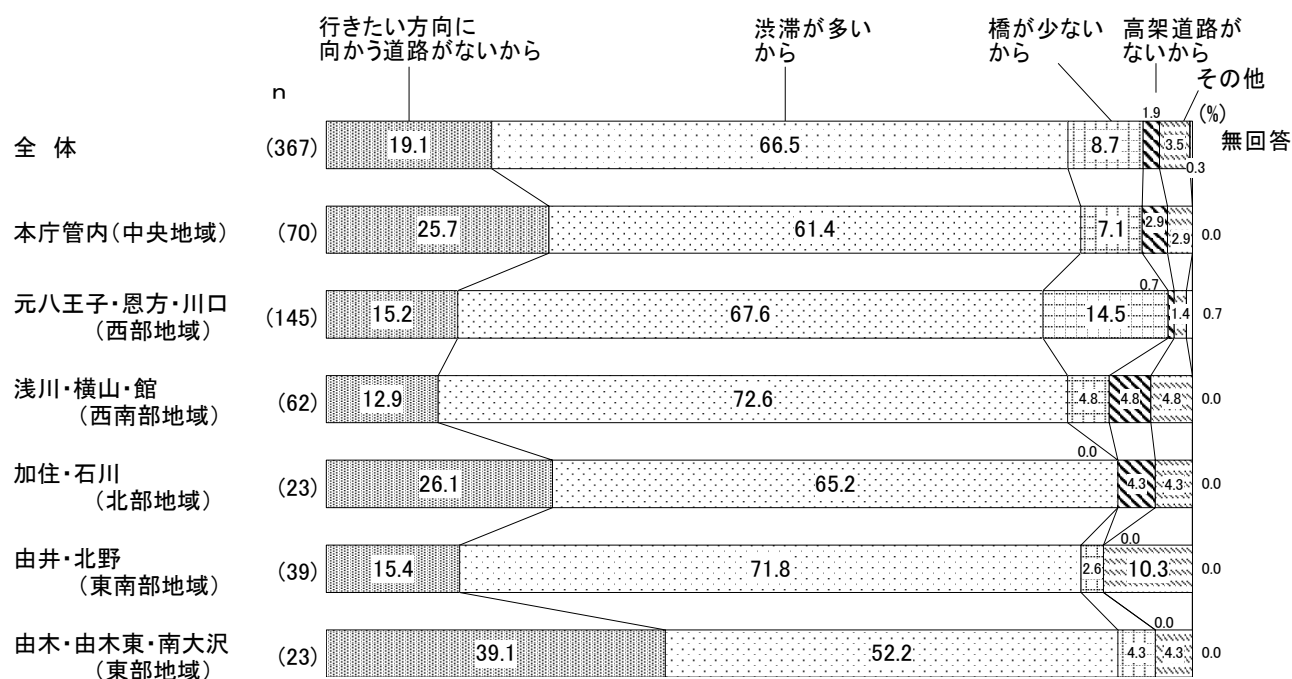
図5-4-2 道路の本数が足りないと感じる理由-性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、50歳代、65歳以上で「行きたい方向に向かう道路がないから」が3割前後と高くなっている。(図5-4-2)

図 5－4－3 道路の本数が足りないと感じる理由－居住地域別



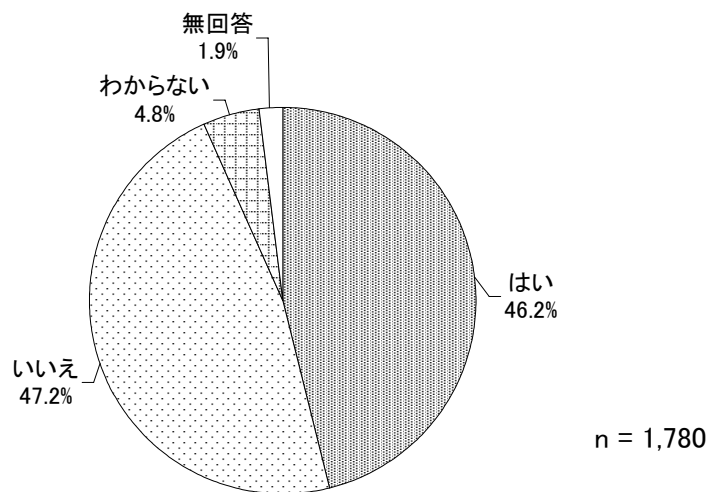
居住地域別にみると、「行きたい方向に向かう道路がないから」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約4割（39.1%）と高く、「橋が少ないから」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で1割台半ばと比較的高くなっている。（図 5－4－3）

5－5 周辺の道幅の狭さ

◇狭いと感じている人、感じていない人がほぼ同数

問18 お住まい周辺の道幅が狭いと感じていますか。(○は1つだけ)

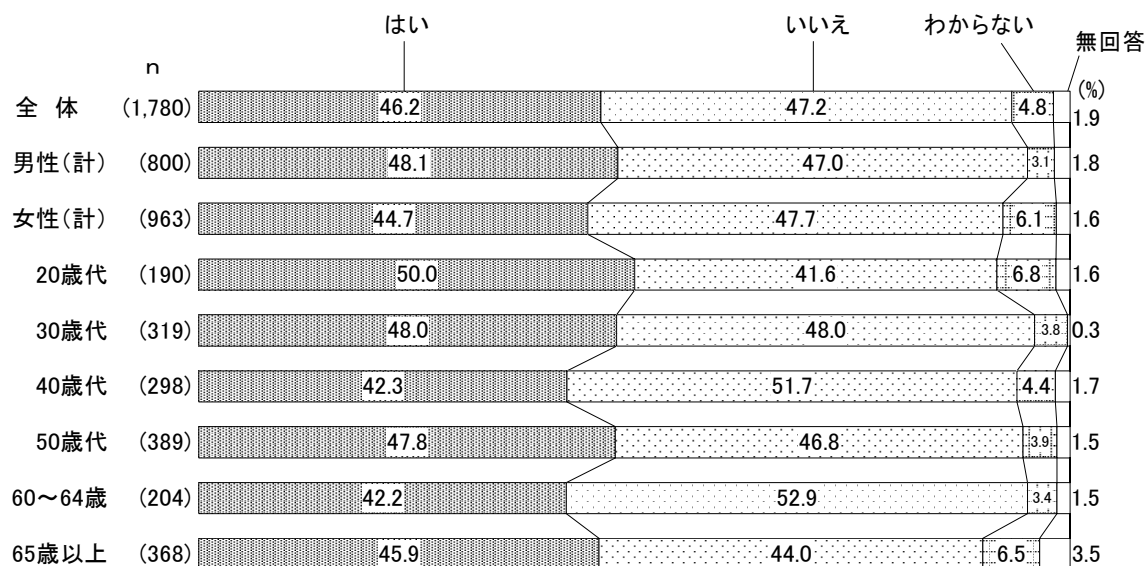
図5－5－1



周辺の道幅が狭いと感じるか聞いたところ、「いいえ」が47.2%、「はい」が46.2%と拮抗している。

(図5－5－1)

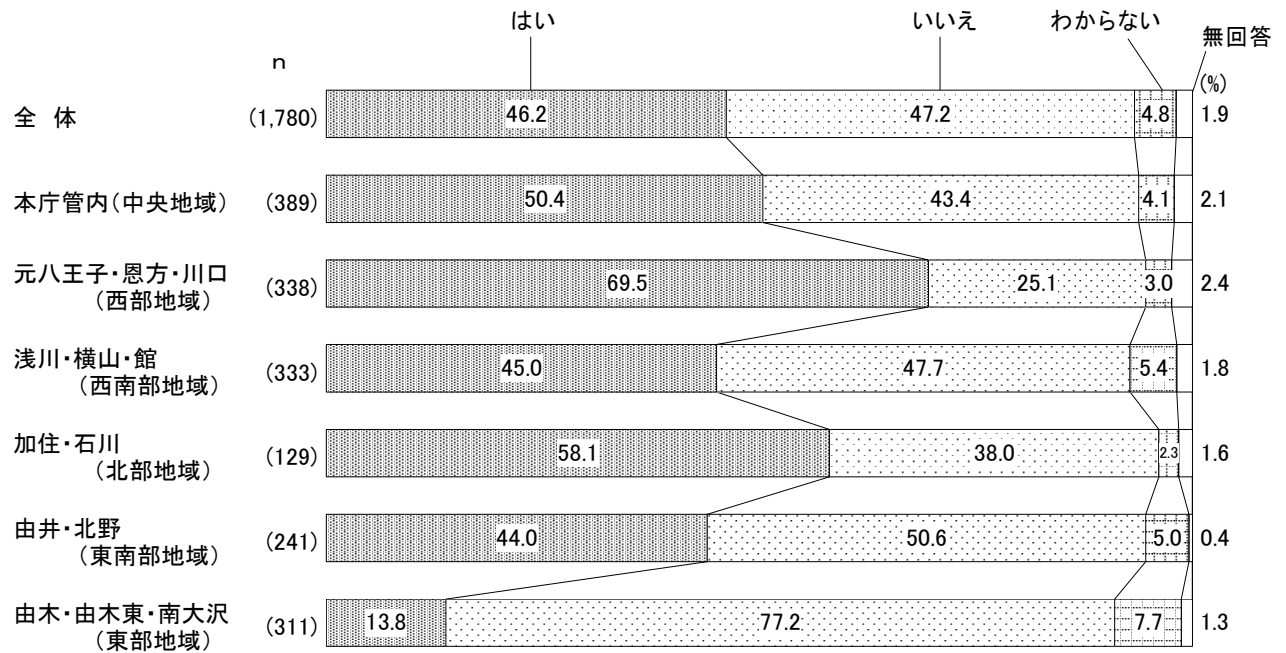
図5－5－2 周辺の道幅の狭さ－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、「はい」(狭いと感じる)は20歳代で5割と高くなっている。(図5－5－2)

図 5－5－3 周辺の道幅の狭さ－居住地域別



居住地域別にみると、「はい」（狭いと感じる）は元八王子・恩方・川口（西部地域）で約 7 割（69.5%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で13.8%と低く、地域により大きな差がみられる。（図 5－5－3）

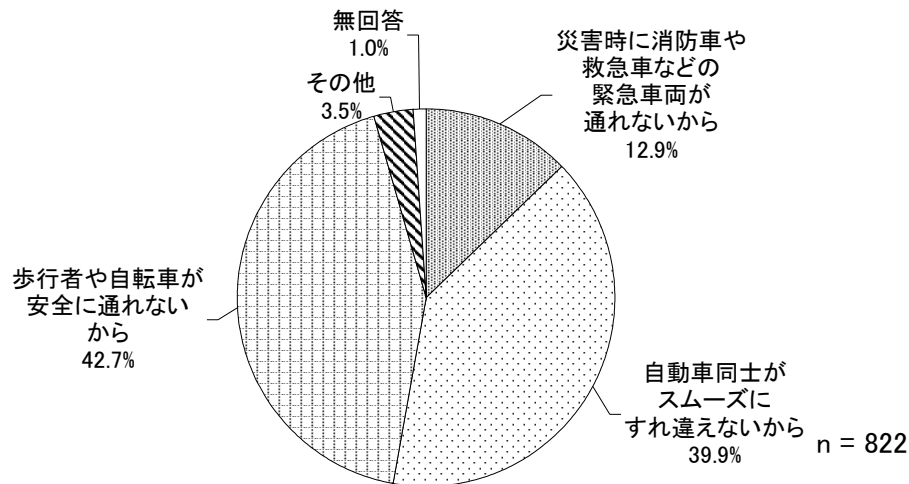
5-6 道幅が狭いと感じる理由

◇「歩行者や自転車が安全に通れないから」「自動車同士がスムーズにすれ違えないから」がそれぞれ4割前後

(問18で「はい」とお答えの方に)

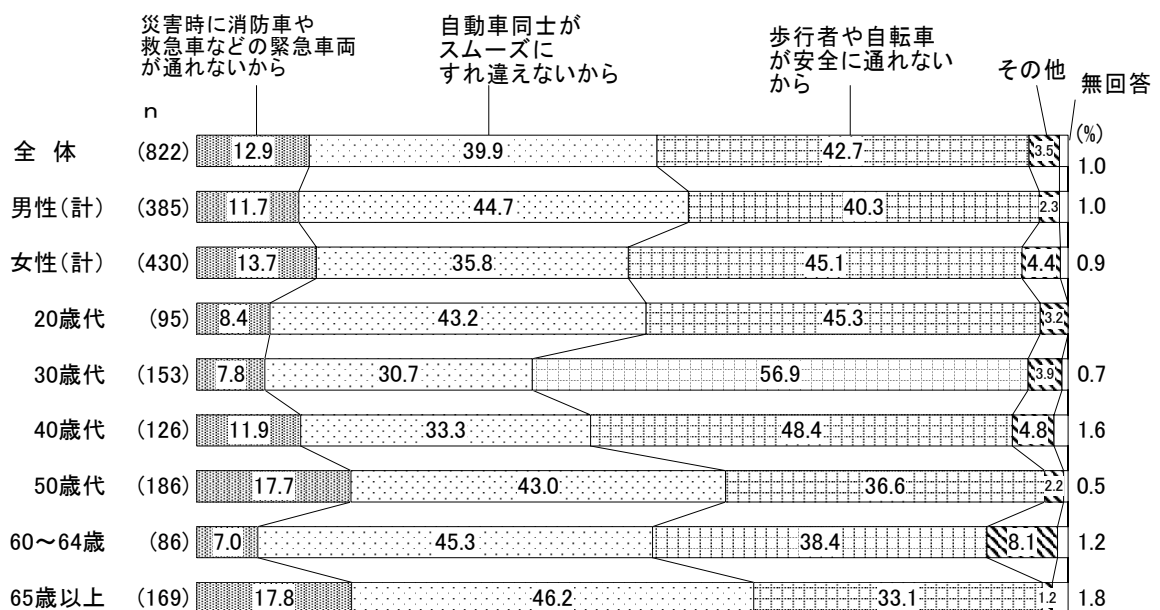
問18-1 道幅が狭いと感じている理由は、次のどれですか。(○は1つだけ)

図5-6-1



問18で道幅が狭いと感じると回答した人(822人)にその理由を聞いたところ、「歩行者や自転車が安全に通れないから」(42.7%)、「自動車同士がスムーズにすれ違えないから」(39.9%)の2項目が4割前後と高くなっている。(図5-6-1)

図5-6-2 道幅が狭いと感じる理由-性別・年齢別

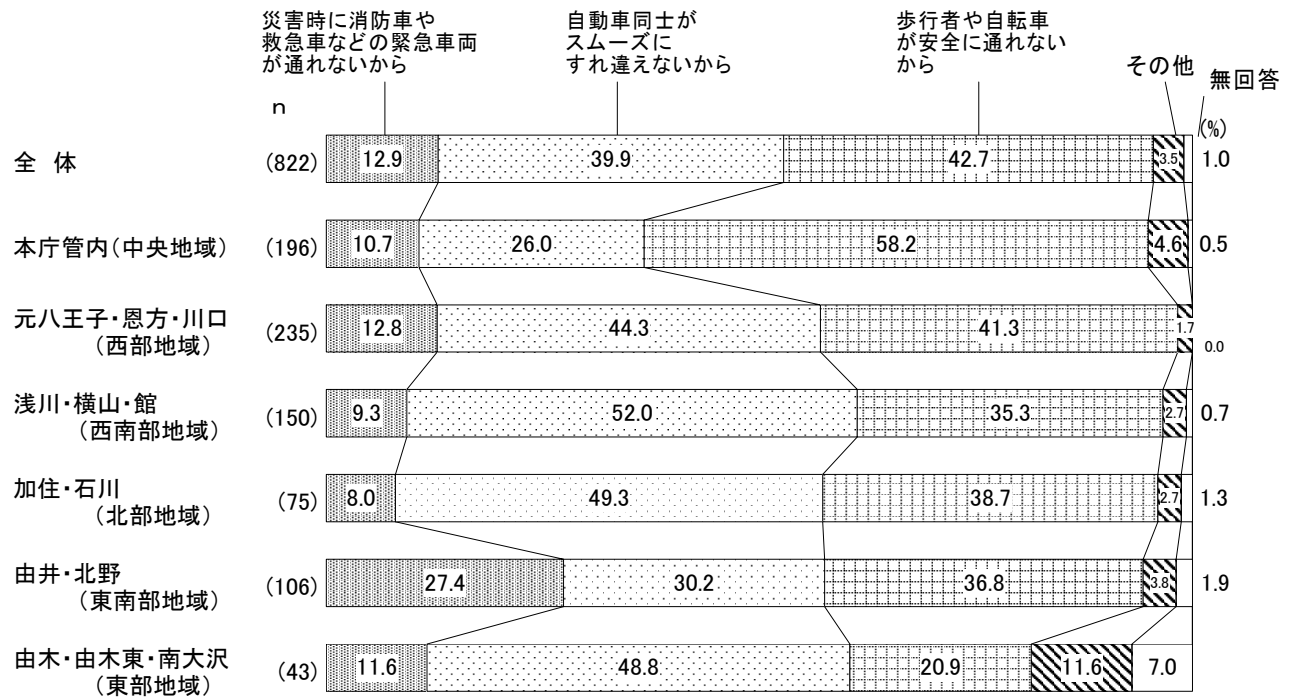


性別にみると、「自動車同士がスムーズにすれ違えないから」は男性のほうが8.9ポイント高い。

年齢別にみると、「歩行者や自転車が安全に通れないから」は30歳代で56.9%と高くなっている。

(図5-6-2)

図５－６－３ 道幅が狭いと感じる理由－居住地域別



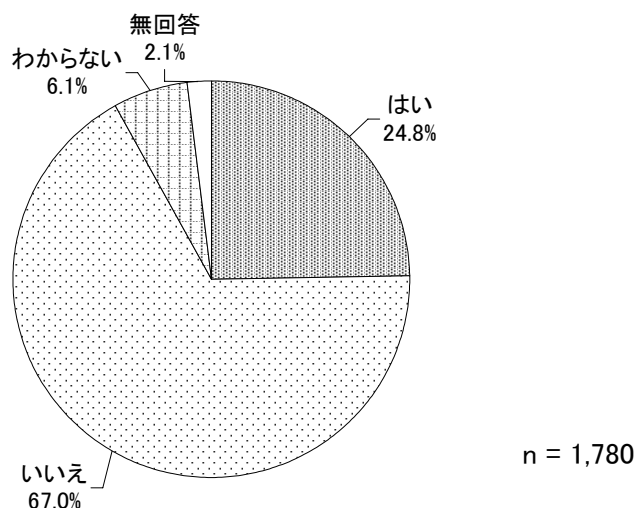
居住地域別にみると、「歩行者や自転車が安全に通れないから」は本庁管内（中央地域）で６割弱（58.2%）、「災害時に消防車や救急車などの緊急車両が通れないから」は由井・北野（東南部地域）で３割弱（27.4%）と、それぞれ突出して高くなっている。（図５－６－３）

5－7 周辺の道路の舗装の悪さ

◇道路の舗装が悪いと感じていない人が7割弱

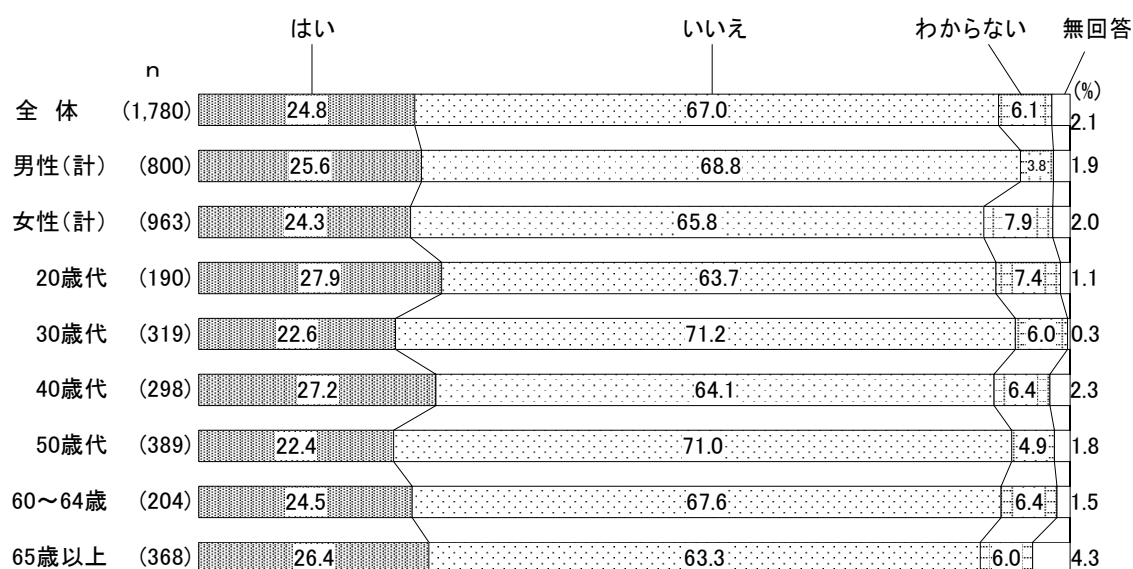
問19 お住まい周辺の道路の舗装が悪いと感じていますか。(○は1つだけ)

図5－7－1



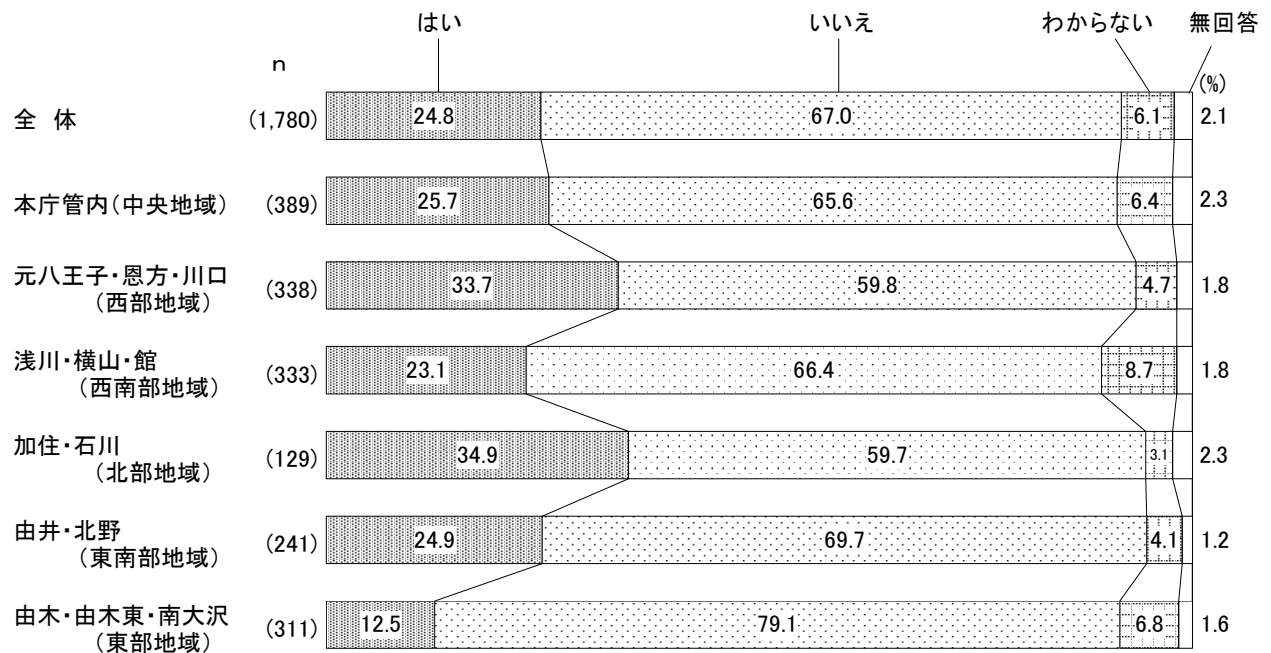
周辺の道路の舗装が悪いと感じるか聞いたところ、「いいえ」が7割弱（67.0%）で、「はい」（24.8%）を大きく上回っている。（図5－7－1）

図5－7－2 周辺の道路の舗装の悪さ－性別・年齢別



性別・年齢別には大きな差はみられない。（図5－7－2）

図 5－7－3 周辺の道路の舗装の悪さ－居住地域別



居住地域別にみると、「はい」（悪いと感じる）は元八王子・恩方・川口（西部地域）、加住・石川（北部地域）で3割台と高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で1割強と低く、地域により差がみられる。（図 5－7－3）

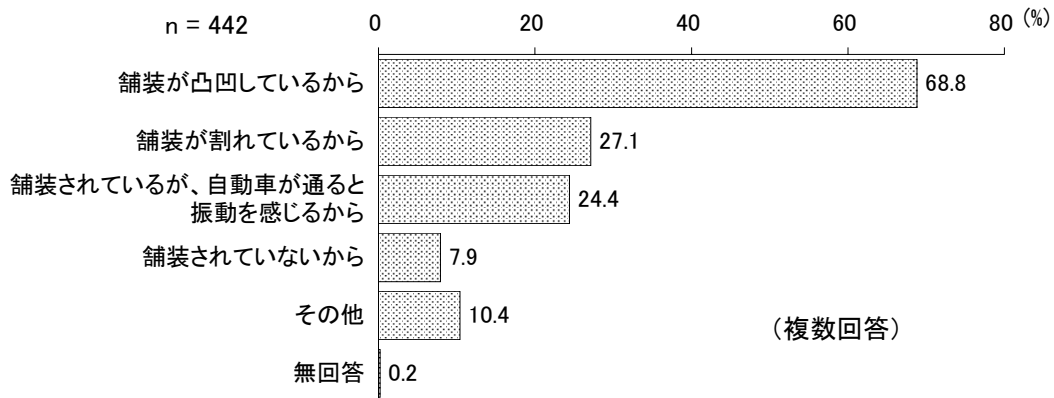
5－8 道路の舗装が悪いと感じる理由

◇「舗装が凸凹しているから」が7割弱と突出

(問19で「はい」とお答えの方に)

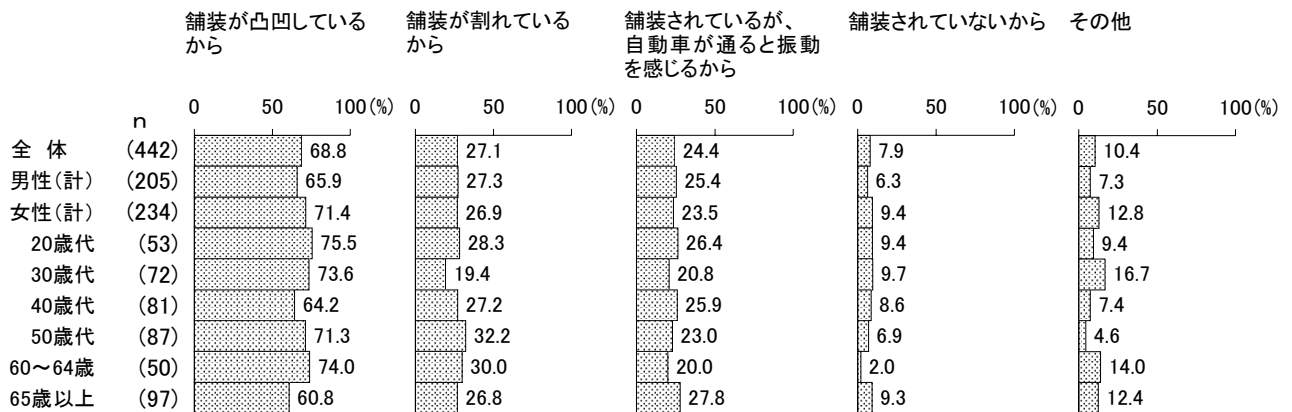
問19－1 道路の舗装が悪いと感じている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

図5－8－1



道路の舗装が悪いと感じると回答した人(442人)にその理由を聞いたところ、「舗装が凸凹しているから」が7割弱(68.8%)と突出して高く、以下、「舗装が割れているから」(27.1%)、「舗装されているが、自動車が通ると振動を感じるから」(24.4%)の順で続いている。(図5－8－1)

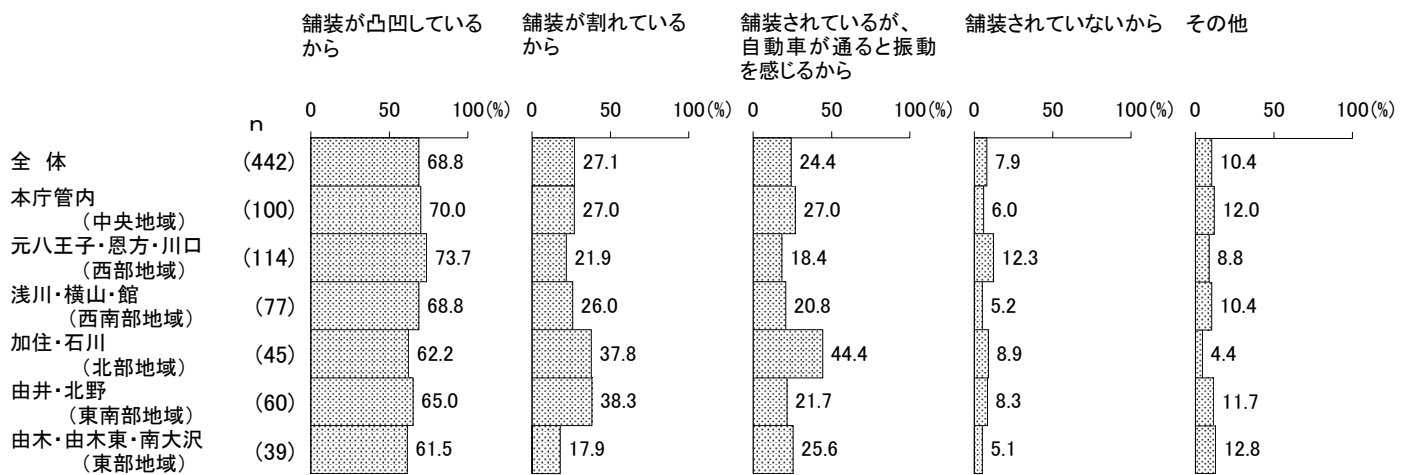
図5－8－2 道路の舗装が悪いと感じる理由－性別・年齢別



性別にみると、「舗装が凸凹しているから」は女性のほうが5.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「舗装が凸凹しているから」は40歳代と65歳以上を除き、いずれの年代も7割以上と高くなっている。(図5－8－2)

図５－８－３ 道路の舗装が悪いと感じる理由－居住地域別



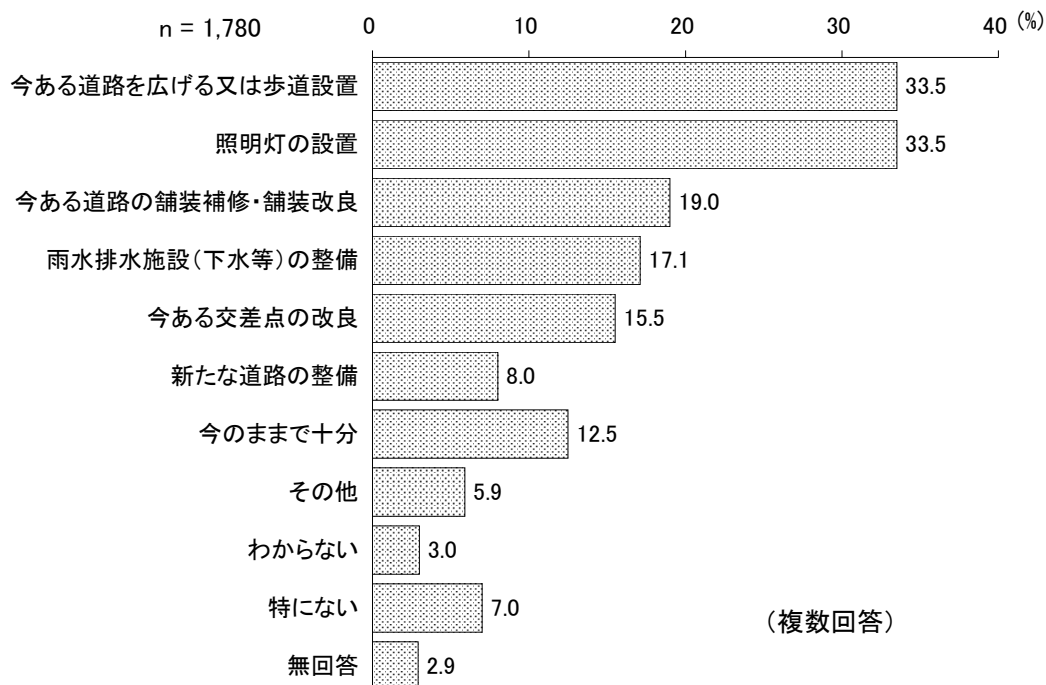
居住地域別にみると、「舗装が割れているから」は加住・石川（北部地域）、由井・北野（東南部地域）で４割弱と高く、「舗装されているが、自動車が通ると振動を感じるから」は加住・石川（北部地域）で４割台半ば（４４．４％）と突出して高くなっている。（図５－８－３）

5－9 周辺の道路に必要なもの

◇「今ある道路を広げる又は歩道設置」「照明灯の設置」が3割強

問20 今後、お住まい周辺の道路には何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

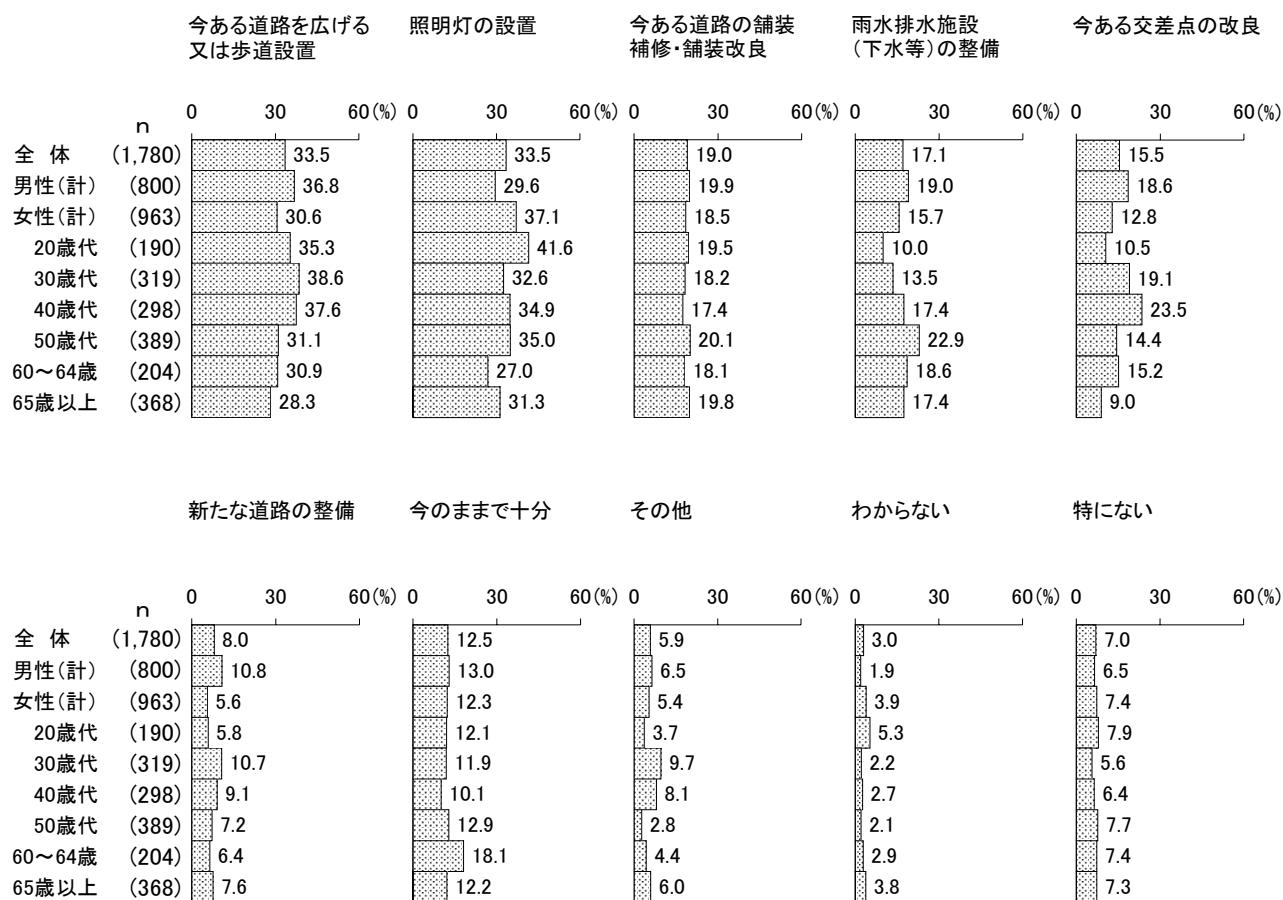
図5－9－1



住まい周辺の道路には何が必要か聞いたところ、「今ある道路を広げる又は歩道設置」「照明灯の設置」がともに3割強（33.5%）で並んでいる。以下は、「今ある道路の舗装補修・舗装改良」（19.0%）、「雨水排水施設（下水等）の整備」（17.1%）、「今ある交差点の改良」（15.5%）の順で続いている。

（図5－9－1）

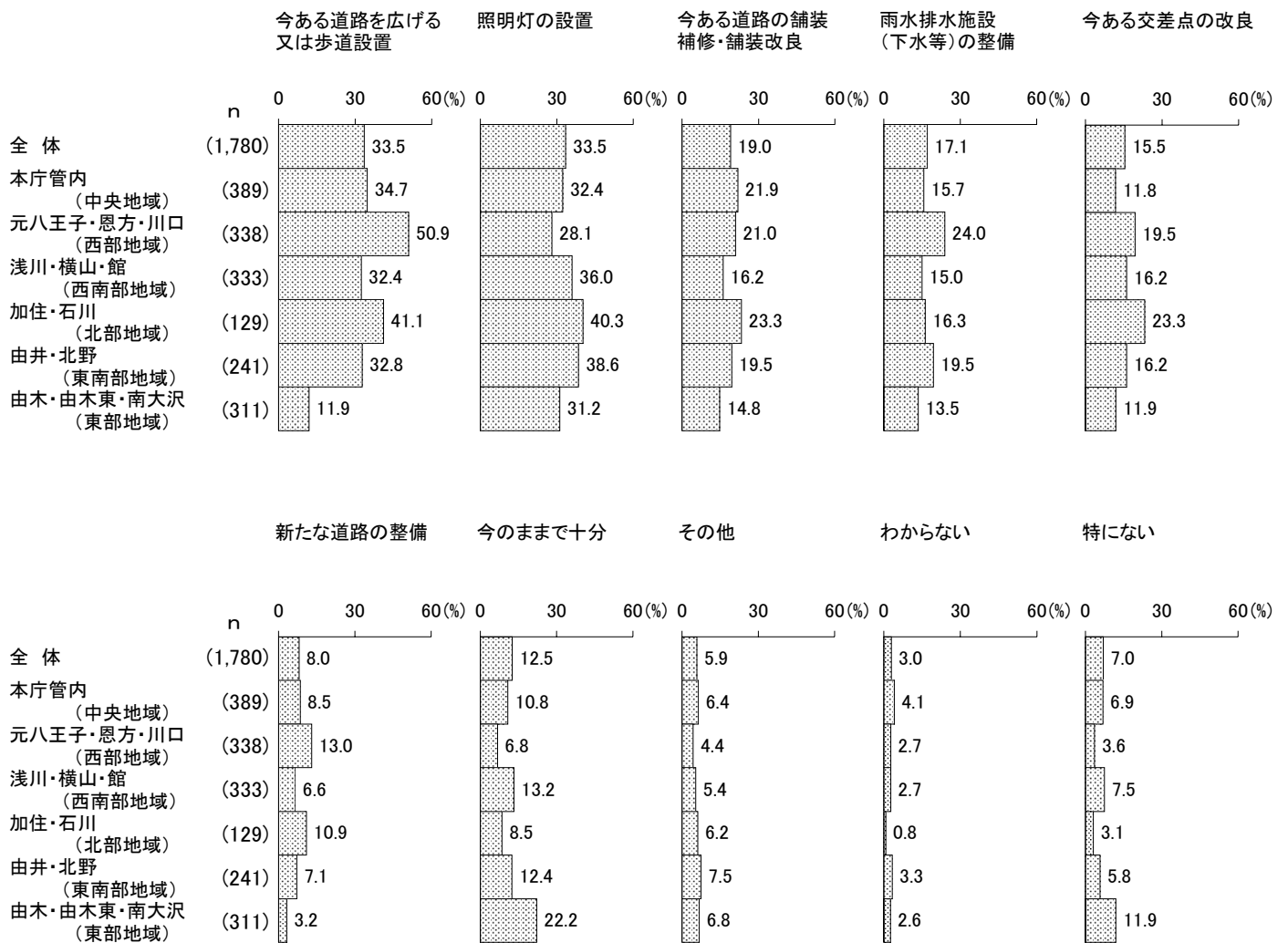
図 5－9－2 周辺の道路に必要なもの－性別・年齢別



性別にみると、「今ある道路を広げる又は歩道設置」「今ある交差点の改良」「新たな道路の整備」は男性のほうが5ポイント以上高く、「照明灯の設置」は女性のほうが7.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「今ある道路を広げる又は歩道設置」は20歳代～40歳代で3割台半ば～4割弱と高く、「照明灯の設置」は20歳代で4割強と高くなっている。(図5－9－2)

図５－９－３ 周辺の道路に必要なもの－居住地域別



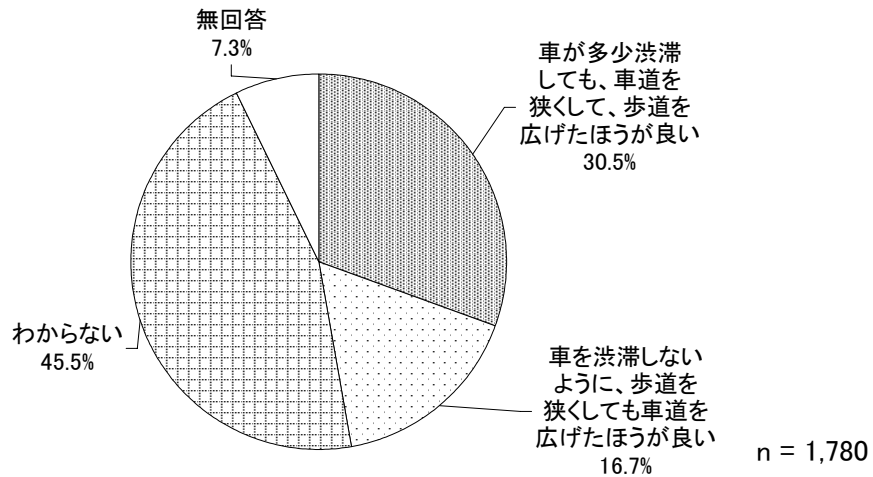
居住地域別にみると、「今ある道路を広げる又は歩道設置」「雨水排水施設（下水等）の整備」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で高く、「今ある交差点の改良」は元八王子・恩方・川口（西部地域）、加住・石川（北部地域）で高くなっている。（図５－９－３）

5-10 車道と歩道の関係について

◇歩道を広げたほうが良いという意見が上回る

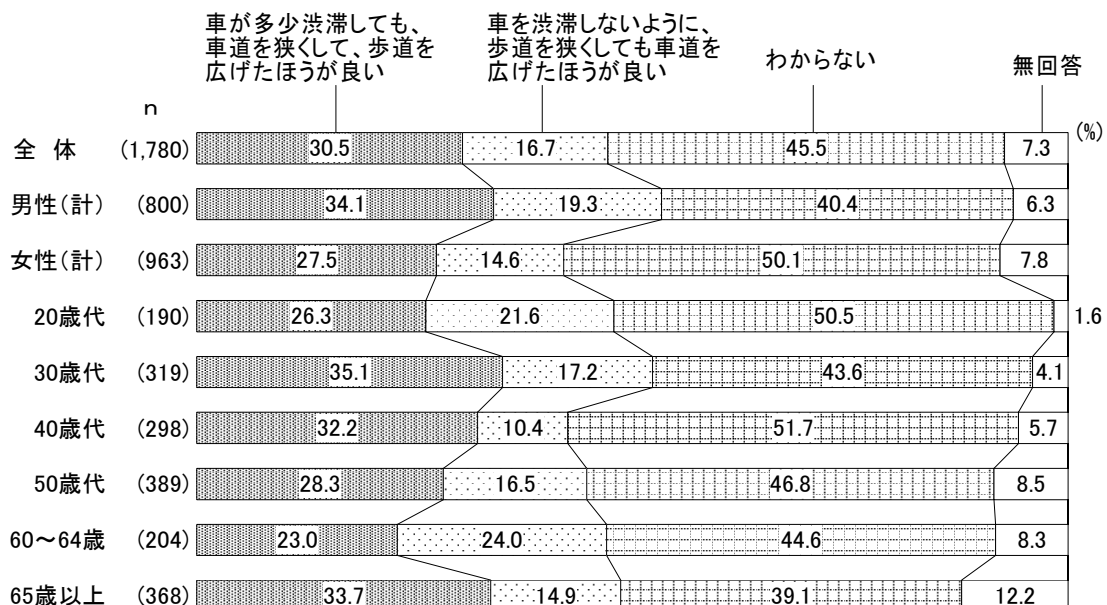
問21 車道と歩道の関係については、次のどちらを望みますか。(○は1つだけ)

図5-10-1



車道と歩道の関係について聞いたところ、「車が多少渋滞しても、車道を狭くして、歩道を広げたほうが良い」が約3割(30.5%)で、「車を渋滞しないように、歩道を狭くしても車道を広げたほうが良い」(16.7%)を大きく上回っている。また、「わからない」が45.5%を占める。(図5-10-1)

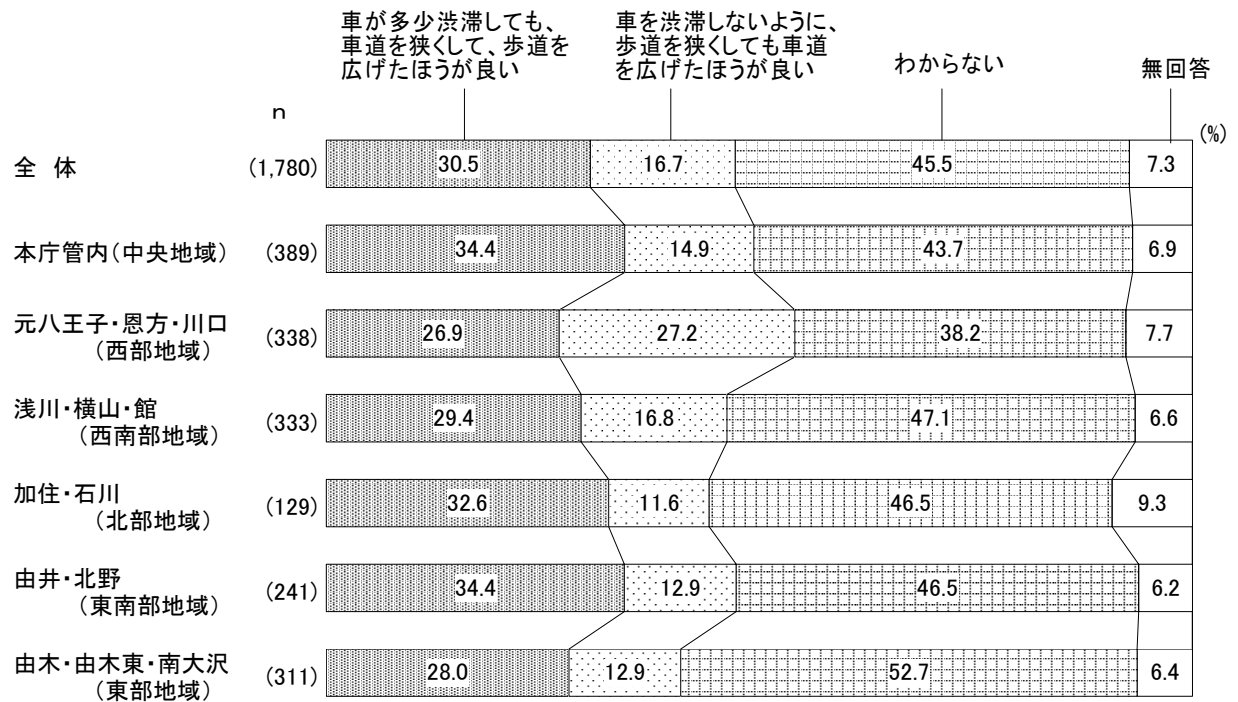
図5-10-2 車道と歩道の関係について－性別・年齢別



性別にみると、「車が多少渋滞しても、車道を狭くして、歩道を広げたほうが良い」は男性のほうが6.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「車を渋滞しないように、歩道を狭くしても車道を広げたほうが良い」は20歳代と60～64歳で2割台と高くなっている。(図5-10-2)

図5-10-3 車道と歩道の関係について－居住地域別



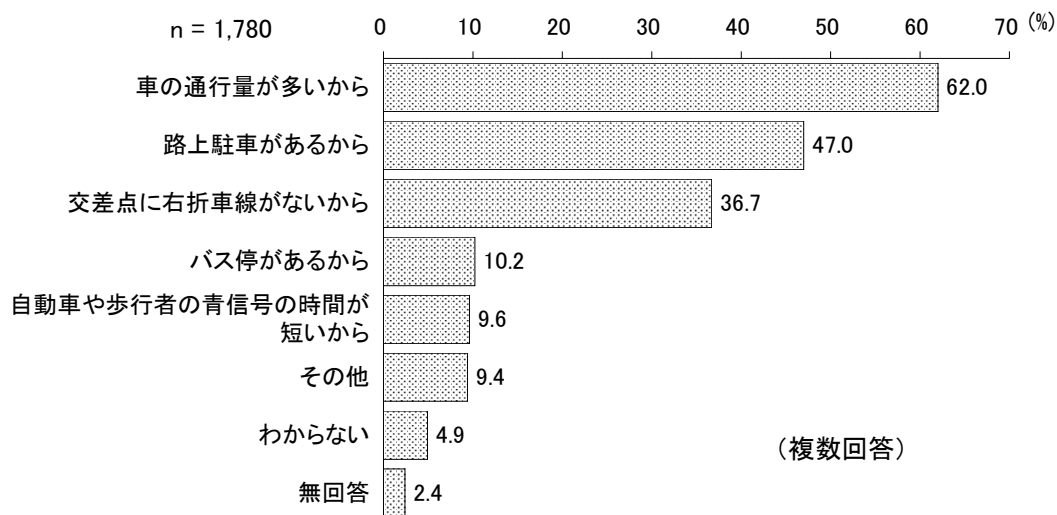
居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）で「車を渋滞しないように、歩道を狭くしても車道を広げたほうが良い」が3割弱（27.2%）と突出して高くなっている。（図5-10-3）

5-11 渋滞が発生する原因

◇「車の通行量が多いから」「路上駐車があるから」「交差点に右折車線がないから」の順

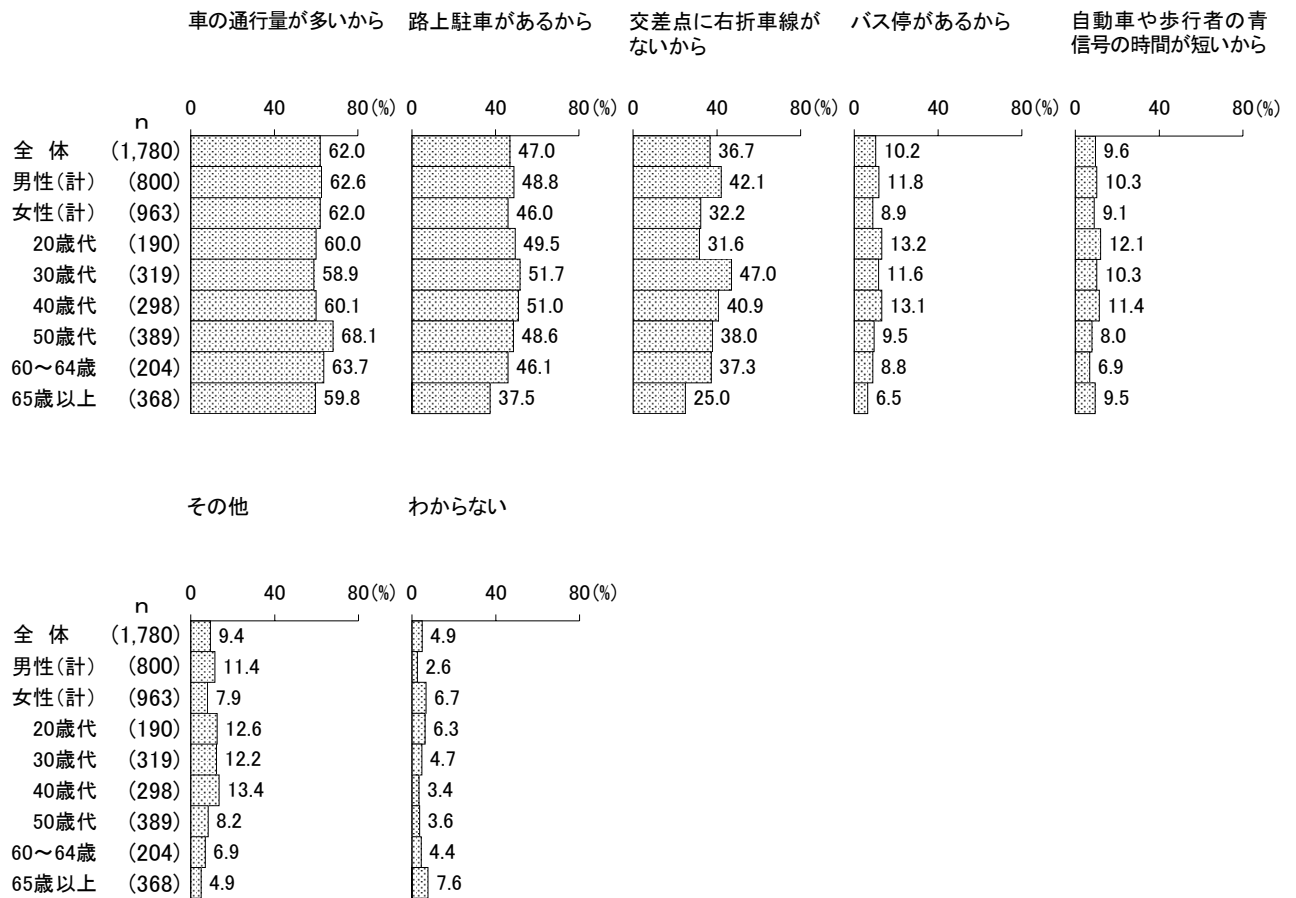
問22 渋滞が発生する道路の原因は何だと思いますか。(○はいくつでも)

図5-11-1



渋滞が発生する原因を聞いたところ、「車の通行量が多いから」が6割強(62.0%)で最も高く、以下、「路上駐車があるから」(47.0%)、「交差点に右折車線がないから」(36.7%)、「バス停があるから」(10.2%)の順が続いている。(図5-11-1)

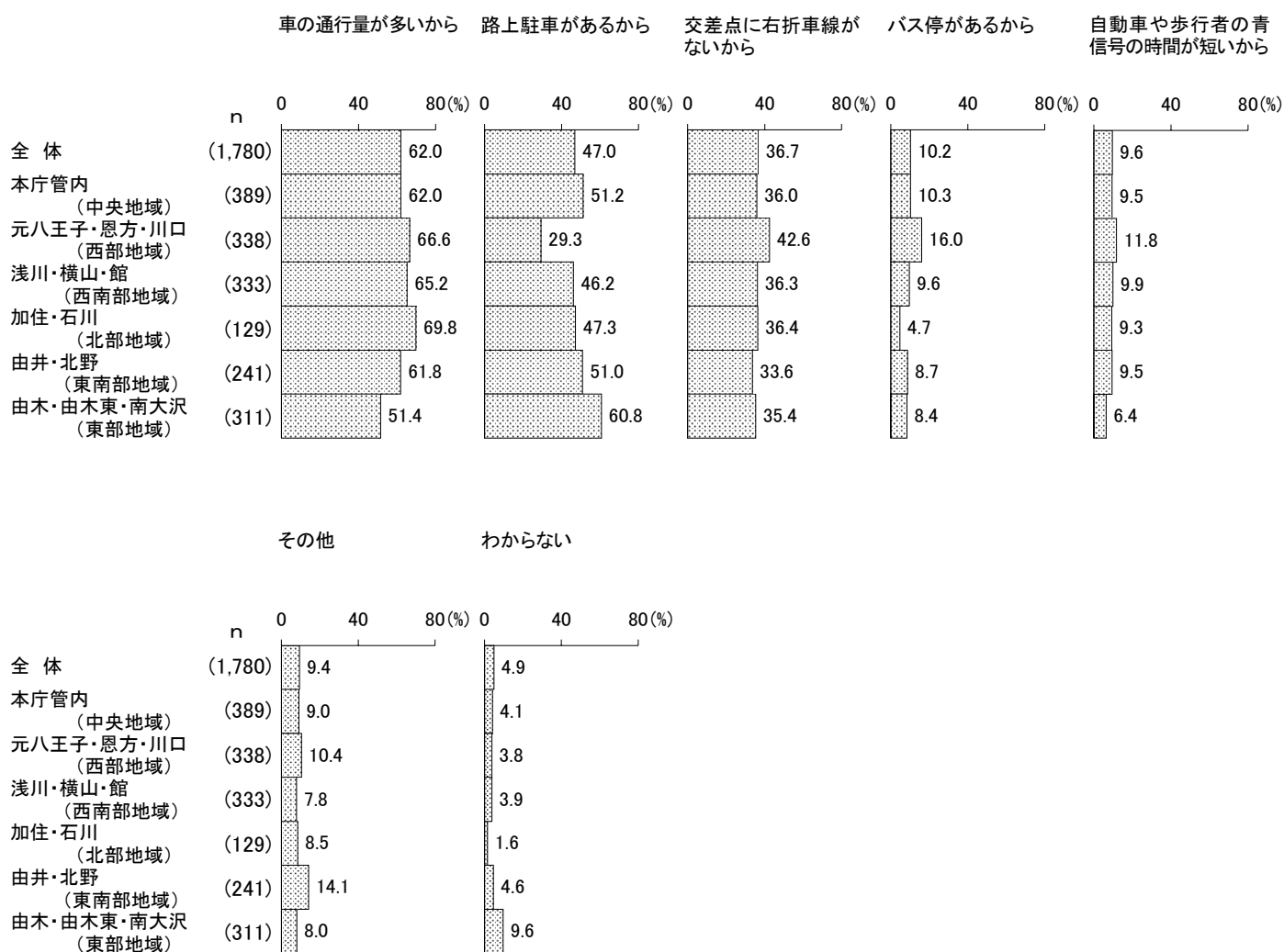
図 5-11-2 渋滞が発生する原因－性別・年齢別



性別にみると、「交差点に右折車線がないから」は男性のほうが9.9ポイント高い。

年齢別にみると、「路上駐車があるから」「交差点に右折車線がないから」は30歳代をピークに年齢が高くなるほど割合が減少する傾向がみられる。(図 5-11-2)

図 5-11-3 渋滞が発生する原因－居住地域別



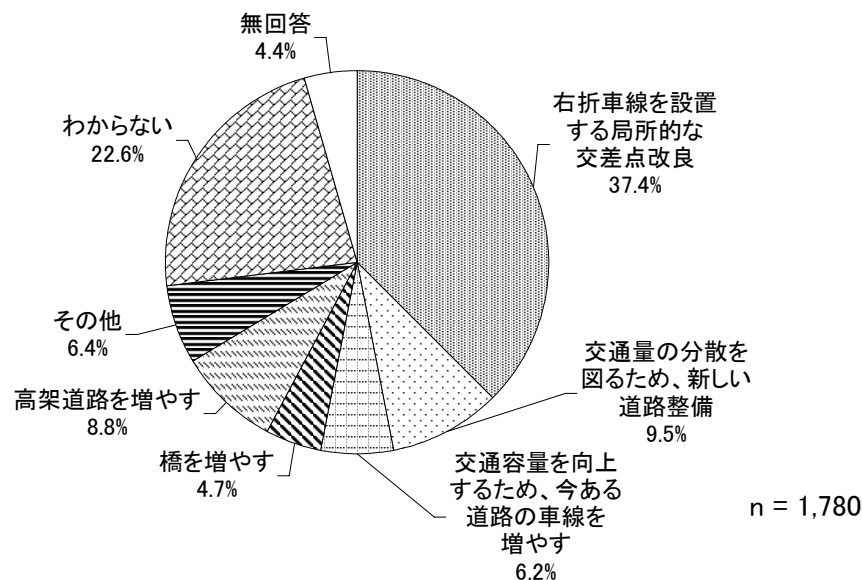
居住地域別にみると、「路上駐車があるから」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約 6 割（60.8%）と高く、「バス停があるから」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で 1 割台半ば（16.0%）と比較的高くなっている。（図 5-11-3）

5-12 今後進めてほしい渋滞解消対策

◇「右折車線を設置する局所的な交差点改良」が4割弱と突出

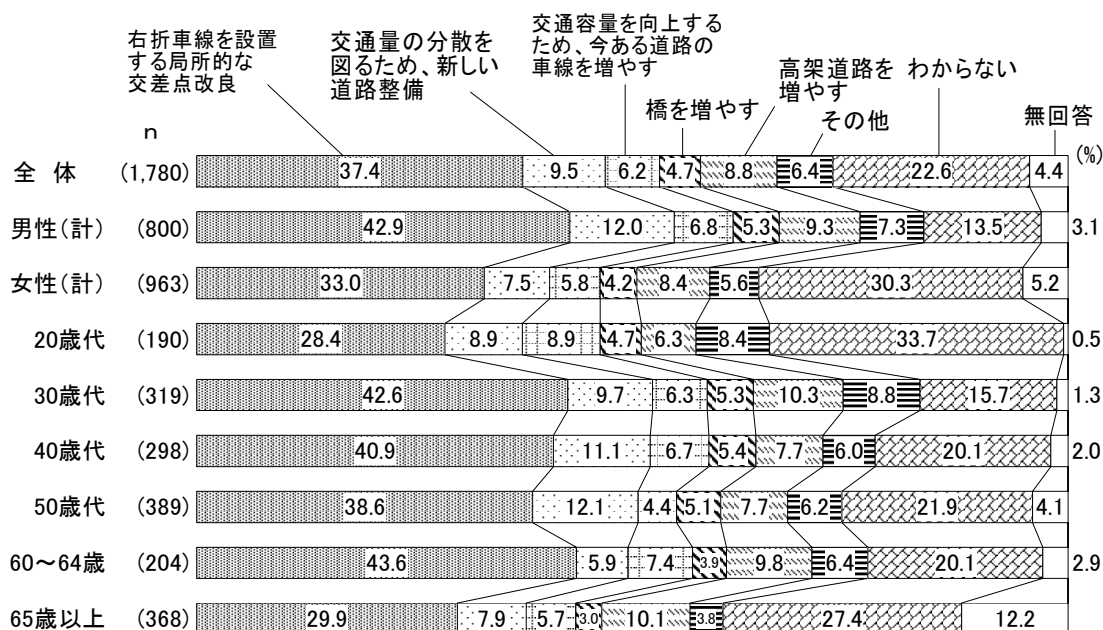
問23 渋滞を解消するため、今後、最も進めてほしい対策はどれですか。(○は1つだけ)

図5-12-1



今後進めてほしい渋滞解消対策を聞いたところ、「右折車線を設置する局所的な交差点改良」が4割弱 (37.4%) と突出して高く、以下、「交通量の分散を図るため、新しい道路整備」(9.5%)、「高架道路を増やす」(8.8%)、「交通容量を向上するため、今ある道路の車線を増やす」(6.2%) の順で続いている。(図5-12-1)

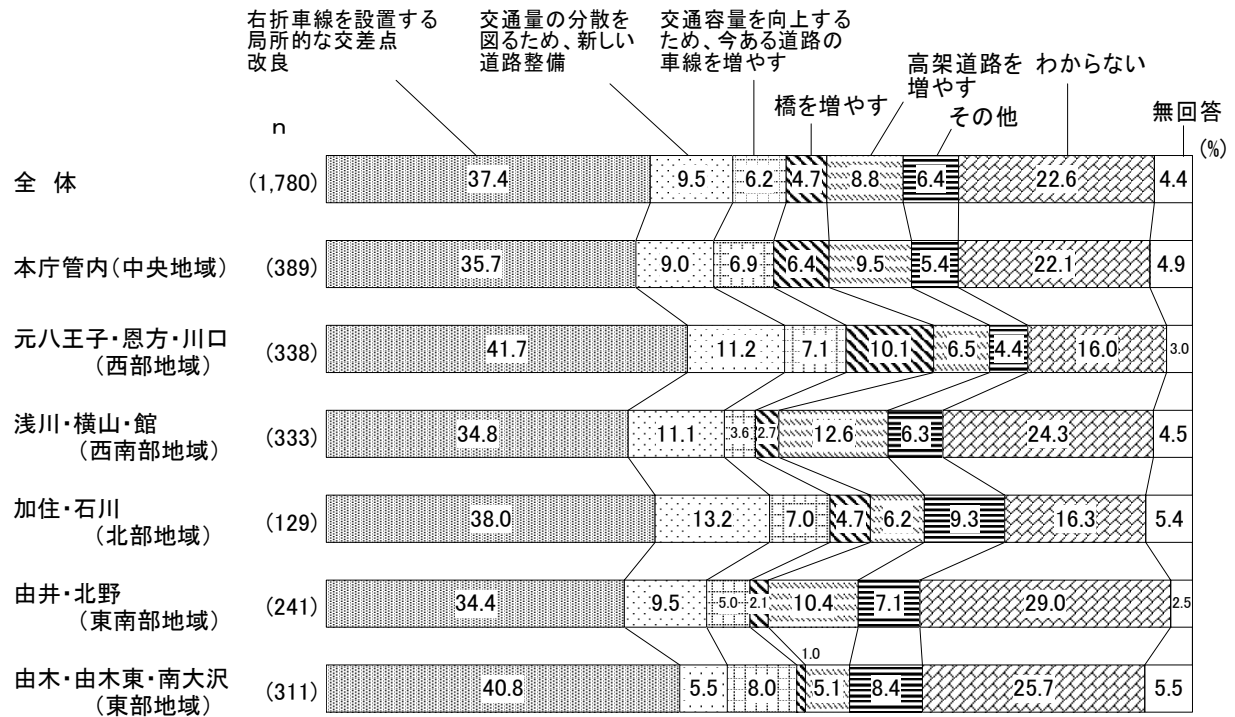
図5-12-2 今後進めてほしい渋滞解消対策—性別・年齢別



性別にみると、「右折車線を設置する局所的な交差点改良」は男性のほうが9.9ポイント高い。

年齢別にみると、「右折車線を設置する局所的な交差点改良」は30歳代~64歳で4割前後と高くなっている。(図5-12-2)

図5-12-3 今後進めてほしい渋滞解消対策－居住地域別



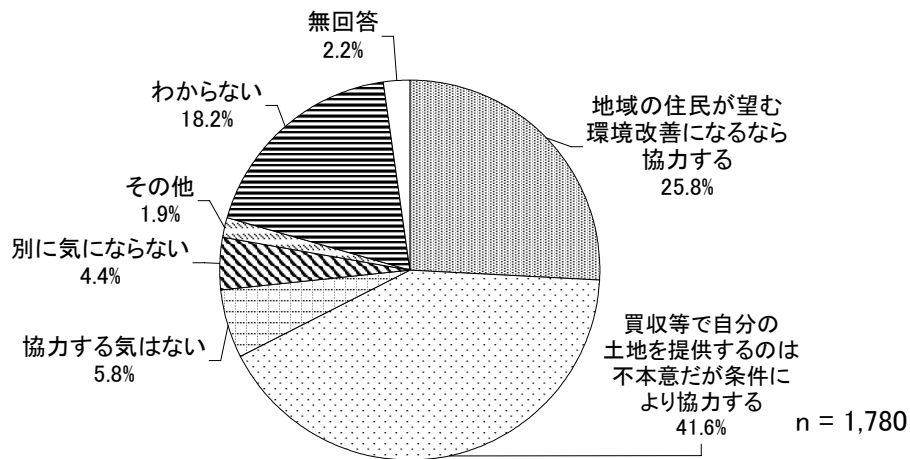
居住地域別にみると、「右折車線を設置する局所的な交差点改良」は元八王子・恩方・川口（西部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割以上と高くなっている。（図5-12-3）

5-13 道路拡幅のための用地買収区域に入ったときの対応

◇協力する人が7割弱

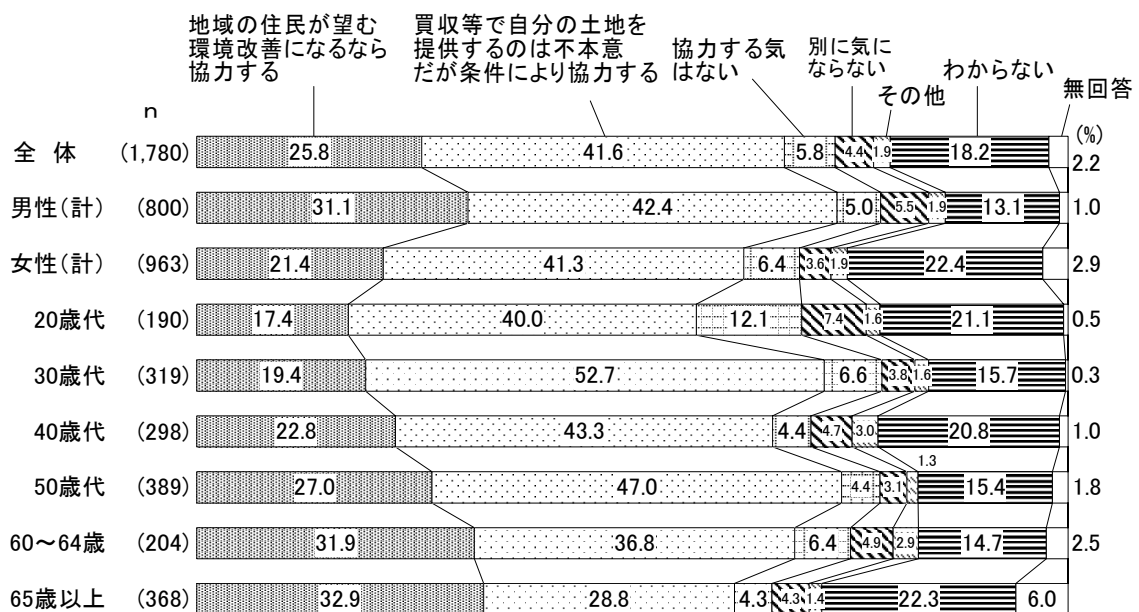
問24 あなたのお住まい周辺が道路拡幅のため、用地買収区域に入っていたとしたら、どう考えますか。(○は1つだけ)

図5-13-1



道路拡幅のための用地買収区域に入っていたらどうするか聞いたところ、「買収等で自分の土地を提供するのは不本意だが条件により協力する」が4割強（41.6%）で最も高く、これに「地域の住民が望む環境改善になるなら協力する」（25.8%）を合わせて7割弱（67.4%）が『協力する』と回答している。（図5-13-1）

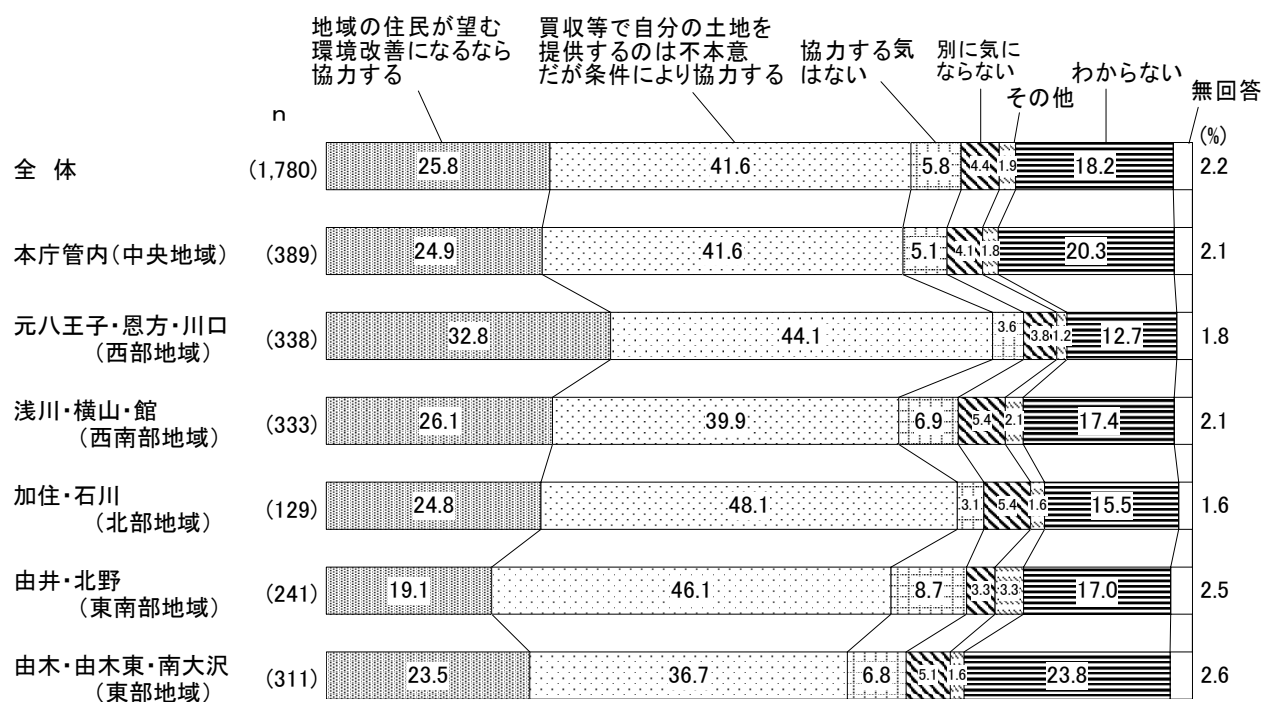
図5-13-2 道路拡幅のための用地買収区域に入ったときの対応—性別・年齢別



性別にみると、『協力する』は男性のほうが10.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「地域の住民が望む環境改善になるなら協力する」の割合が増加する傾向がみられる。（図5-13-2）

図5-13-3 道路拡幅のための用地買収区域に入ったときの対応—居住地域別



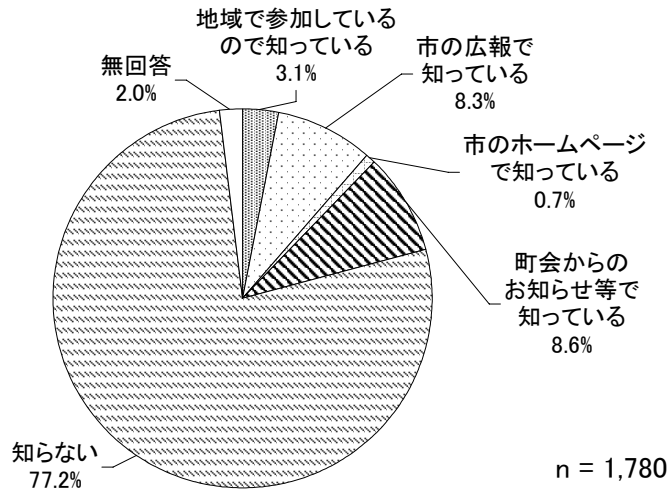
居住地域別にみると、『協力する』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で7割台半ば（76.9%）と最も高くなっている。（図5-13-3）

5-14 道路アドプト制度の周知度

◇「知らない」が大多数

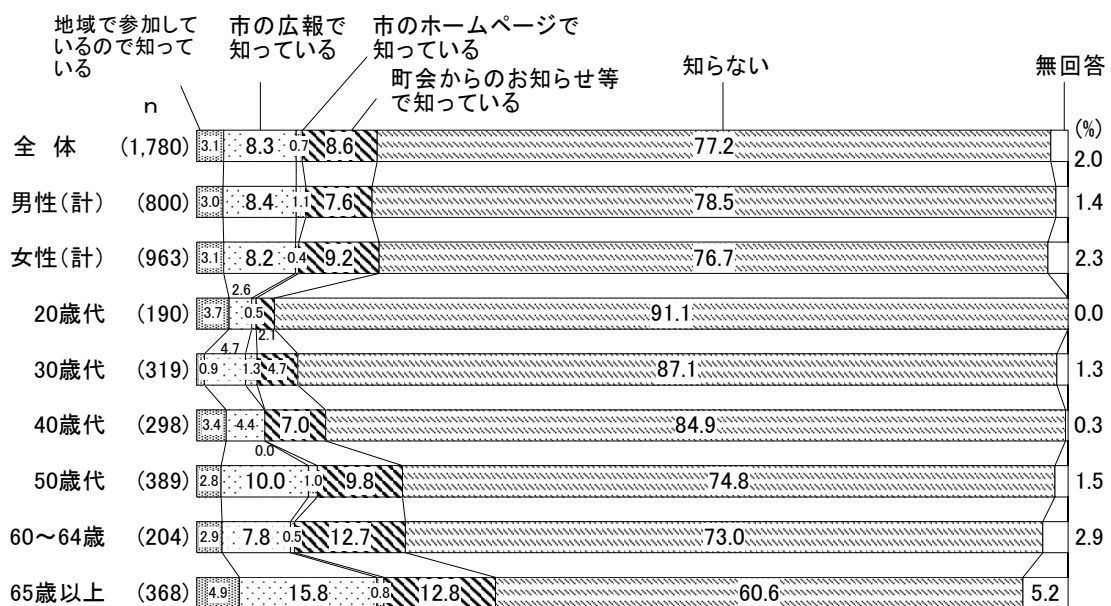
問25 市では、美化意識の向上と地域コミュニティを活性化する市民活動の一つとして「道路アドプト制度」があることを知っていますか。(○は1つだけ)

図5-14-1



道路アドプト制度の周知度を聞いたところ、「知らない」が8割弱（77.2%）と大多数を占める。以下は、「町会からのお知らせ等で知っている」（8.6%）、「市の広報で知っている」（8.3%）、「地域で参加しているので知っている」（3.1%）の順で続いている。（図5-14-1）

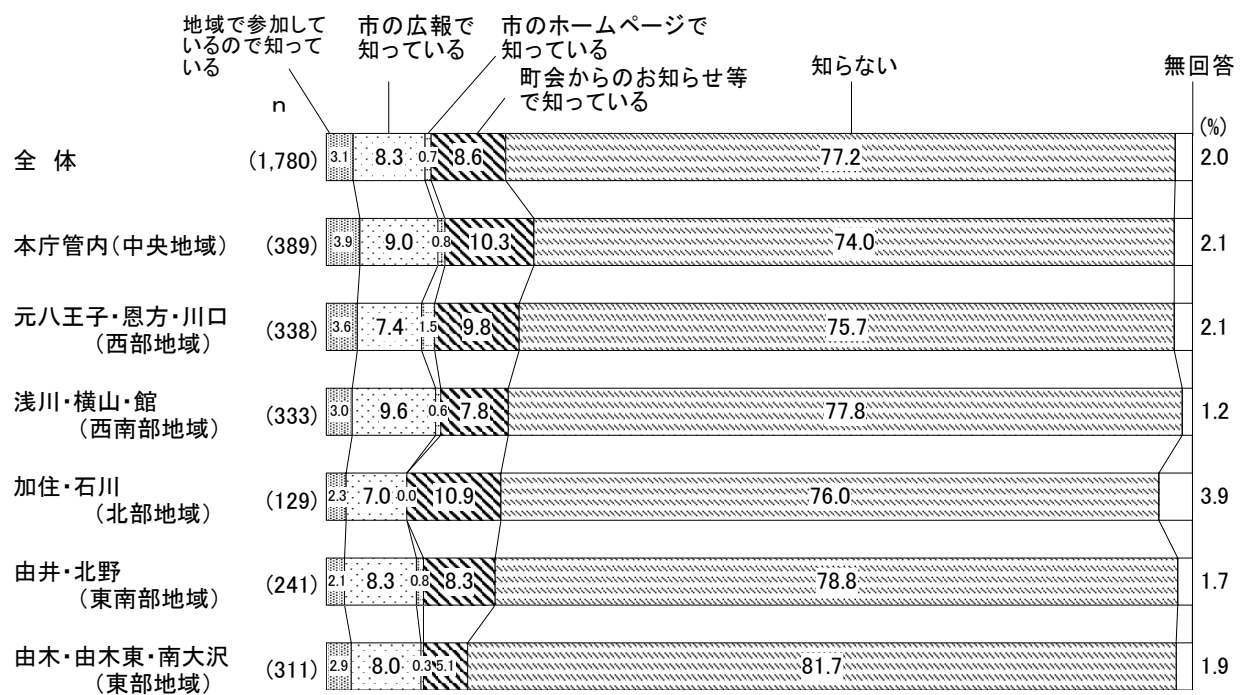
図5-14-2 道路アドプト制度の周知度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど周知度が高くなる傾向がみられる。（図5-14-2）

図5-14-3 道路アドプト制度の周知度－居住地域別



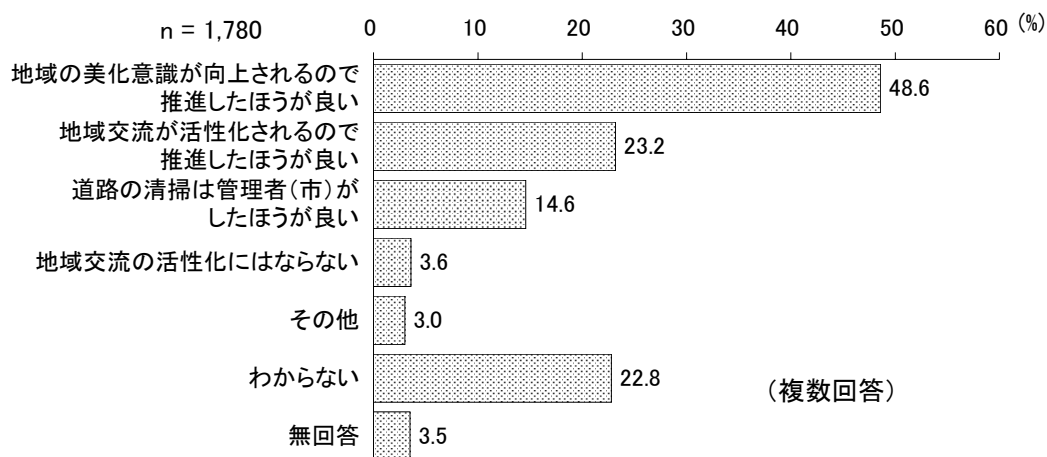
居住地域別にみると、周知度は本庁管内（中央地域）で2割台半ば（24.0%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で1割台半ば（16.3%）と最も低くなっている。（図5-14-3）

5-15 道路アドプト制度に対する評価

◇「地域の美化意識が向上されるので推進したほうが良い」が5割弱

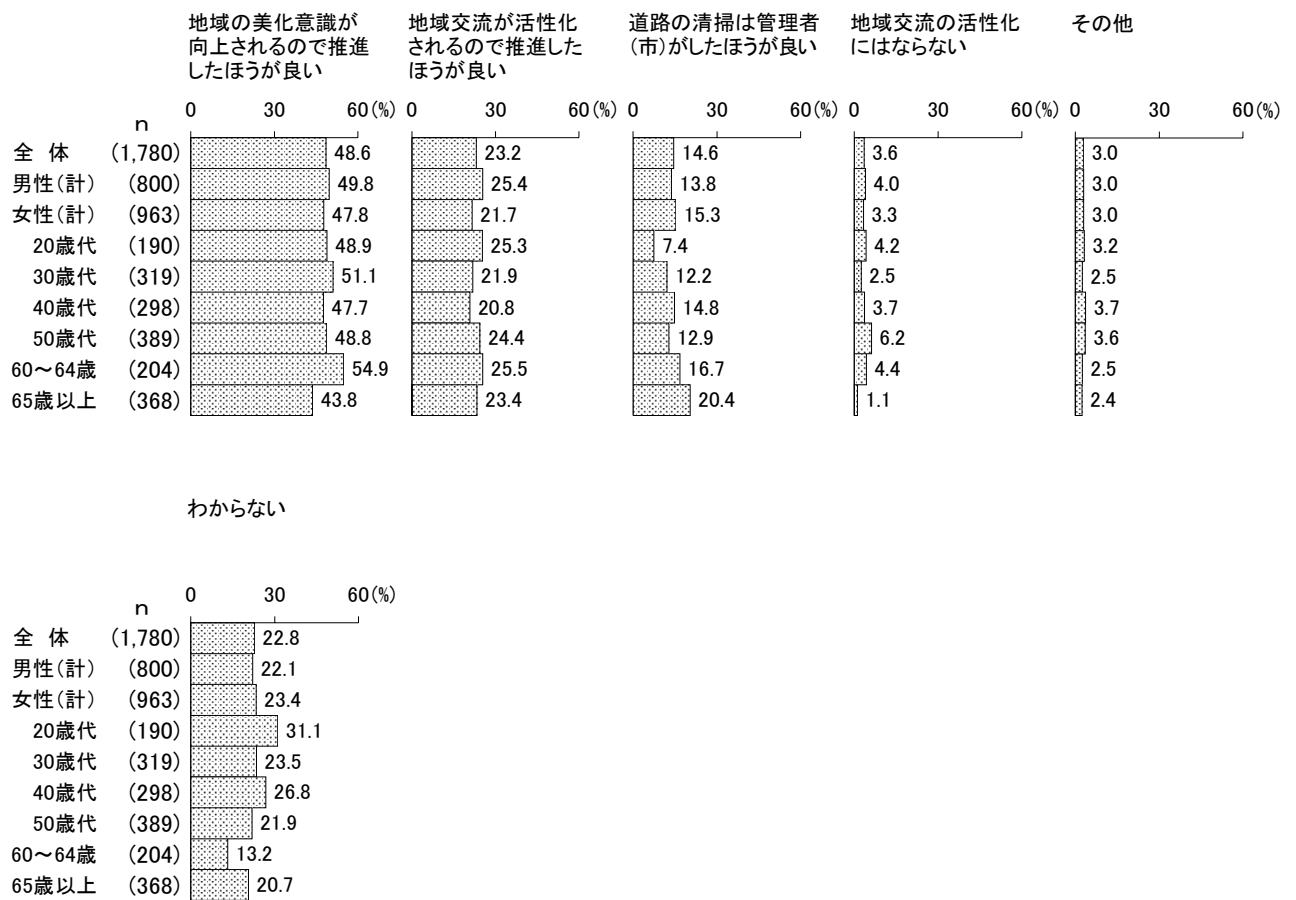
問26 道路アドプト制度についてどう思いますか。(○はいくつでも)

図5-15-1



道路アドプト制度に対する評価を聞いたところ、「地域の美化意識が向上されるので推進したほうが良い」が5割弱（48.6%）で最も高く、以下、「地域交流が活性化されるので推進したほうが良い」（23.2%）、「道路の清掃は管理者（市）がしたほうが良い」（14.6%）、「地域交流の活性化にはならない」（3.6%）の順で続いている。（図5-15-1）

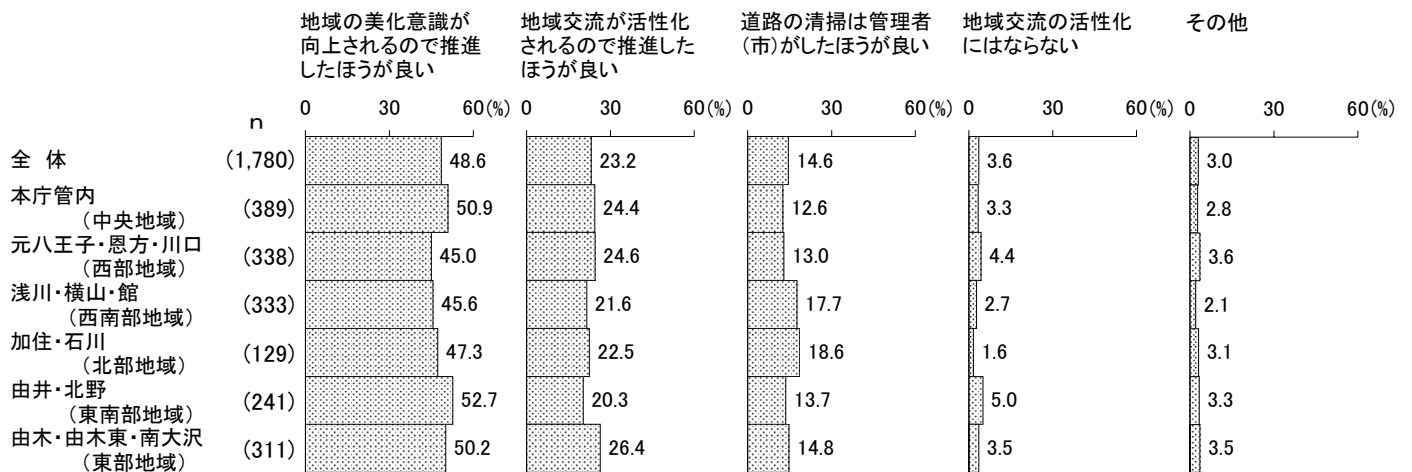
図5-15-2 道路アドプト制度に対する評価—性別・年齢別



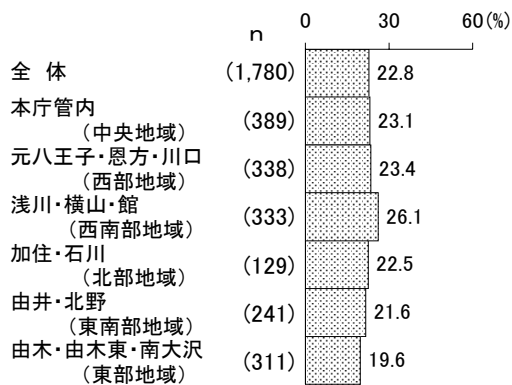
性別にみると、「地域交流が活性化されるので推進したほうが良い」は男性のほうが3.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「地域の美化意識が向上されるので推進したほうが良い」は30歳代と60～64歳で5割以上と高くなっている。「道路の清掃は管理者（市）がしたほうが良い」は、概ね年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられる。（図5-15-2）

図 5-15-3 道路アドプト制度に対する評価—居住地域別



わからない



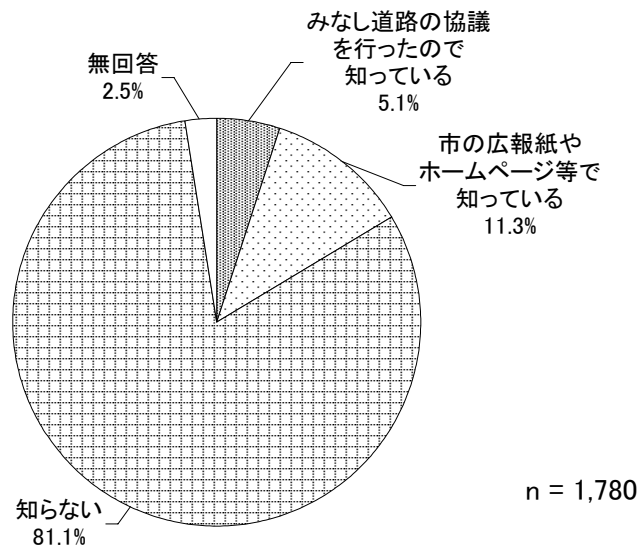
居住地域別にみると、「道路の清掃は管理者（市）がしたほうが良い」は浅川・横山・館（西南部地域）、加住・石川（北部地域）で2割弱と比較的高くなっている。（図 5-15-3）

5-16 みなし道路の周知度

◇「知らない」が大多数

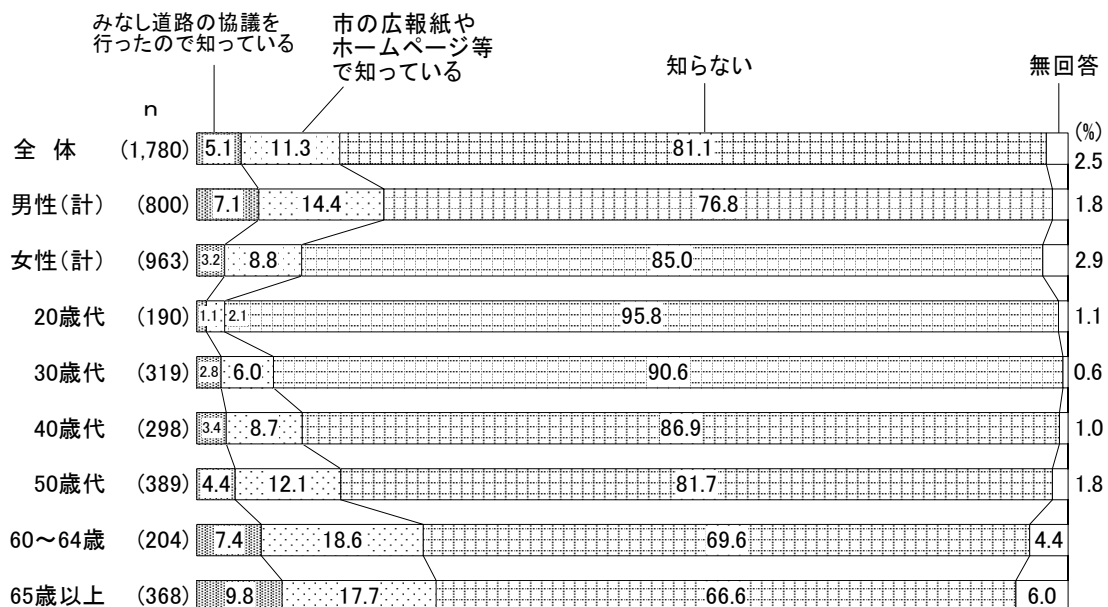
問27 市では、平成17年10月から建物の新築・改築の際に生じる後退義務（セットバック）を活用して、みなし道路の整備を行っていることを知っていますか。（○は1つだけ）

図5-16-1



みなし道路の周知度を聞いたところ、「知らない」が8割強（81.1%）と大多数を占め、以下、「市の広報紙やホームページ等で知っている」（11.3%）、「みなし道路の協議を行ったので知っている」（5.1%）の順となっている。（図5-16-1）

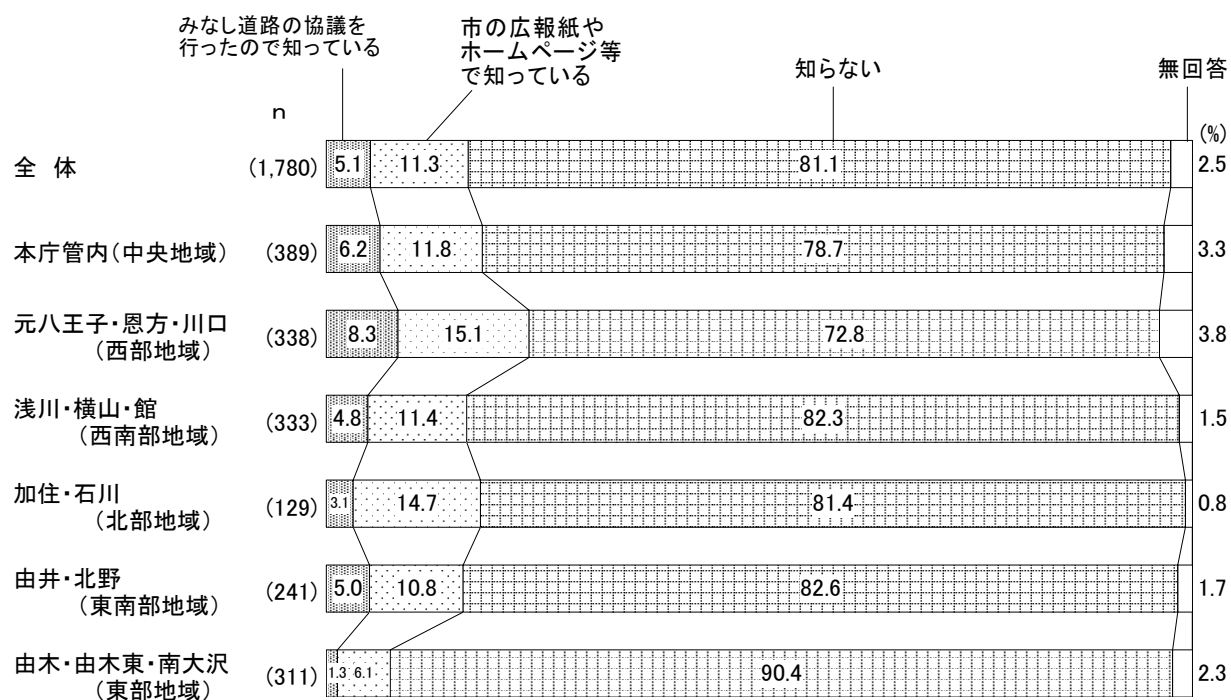
図5-16-2 みなし道路の周知度－性別・年齢別



性別にみると、周知度は男性のほうが9.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど周知度が高くなる傾向がみられる。（図5-16-2）

図 5-16-3 みなし道路の周知度－居住地域別



居住地域別にみると、周知度は元八王子・恩方・川口（西部地域）で2割強（23.4%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で1割弱（7.4%）と最も低くなっている。（図 5-16-3）